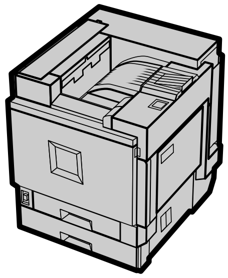
RICOH

IPSiO CX8200/8200M/7200

セットアップガイド



ご使用の前に必ずこの「セットアップガイド」をお読みの上、正しくお使いください。
本書をすぐに利用できるように保管してください。

■ はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
この使用説明書は、製品の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。ご使用の前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず使用説明書＜保守・運用編＞『安全上のご注意』をお読みください。

株式会社リコー

■ 複製、印刷が禁止されているもの

- 本機を使って、何を複製、印刷してもよいとは限りません。法律により罰せられることもありますので、ご注意ください。
- 1. 複製、印刷することが禁止されているもの
- （見本と書かれているものでも複製、印刷できない場合があります。）

* 紙幣、貨幣、銀行券、国債証券、地方債券など
* 日本や外国の郵便切手、印紙

☛（関係法律）
- 紙幣類似証券取締法
- 通貨及証券模造取締法
- 郵便切手類模造等取締法
- 印紙等模造取締法
- （刑法 第１４８条 第１６２条）

- 2. 不正に複製、印刷することが禁止されているもの

* 外国の紙幣、貨幣、銀行券
* 株券、手形、小切手などの有価証券
* 国や地方公共団体などの発行するパスポート、免許証、許可証、身分証明書などの文書または図画
* 個人、民間会社などの発行する定期券、回数券、通行券、食券など、権利や事実を証明する文書または図画

☛（関係法律）
- 刑法 第１４９条 第１５５条 第１５９条 第１６２条
- 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律

- 3. 著作権法で保護されているもの

* 著作権法により保護されている著作物（書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画および写真など）を複製、印刷することは、個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で使用する目的で複製、印刷する場合を除き、禁止されています。

目次

マークについて

本書で使われているマークには次のような意味があります。

⚠警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。冒頭にまとめて記載していますので、必ずお読みください。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。冒頭にまとめて記載していますので、必ずお読みください。

※以上は、安全上のご注意についての説明です。

重要

誤って操作をすると、紙づまり、データ消失などの原因になることがあります。必ず、お読みください。

操作の前に

操作をする前に知っておいていただきたいこと、あらかじめ準備していただきたいことなどを説明しています。

補足

操作するときに気を付けることや、操作を誤ったときの対処方法などを説明しています。

制限

数値の制限や組み合わせできない機能、機能が使用できない状態を説明しています。

参照

参照先を示します。

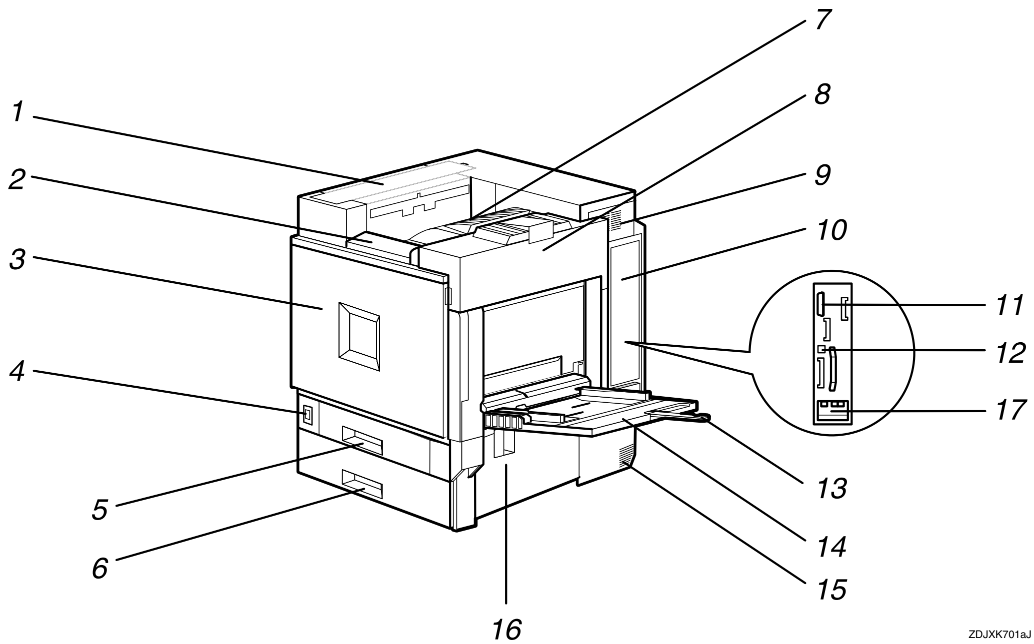
[　]

画面のキーの名称を示します。

【　】

操作部（画面を除く）のキーの名称を示します。

全体



1. **4ピンプリントポスト接続部カバー**

4ピンプリントポストを取り付けるときに取り外します。

2. **操作パネル**

キーを使用してプリンターを操作したり、ディスプレイで動作状態を確認します。

⇒ P.7 「操作パネル」

3. **本体前カバー**

現像ユニットや感光体ユニットを交換するときに開けます。本体前カバーに専用ねじ回しが格納されています。

4. **電源スイッチ**

プリンターの電源をOn/Stand byの状態にします。

5. **給紙トレイ1（標準）**

用紙をセットします。普通紙で最大550枚までセットできます。A4▯ 専用の給紙トレイです。

6. **給紙トレイ2（標準）**

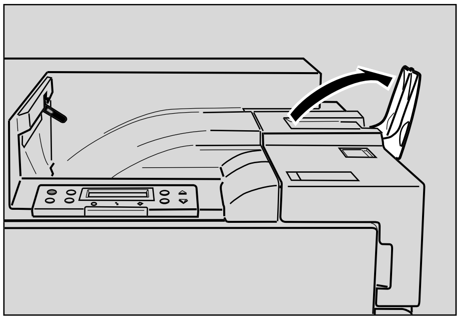
用紙をセットします。普通紙で最大550枚までセットできます。

7. **本体排紙トレイ**

印刷された用紙が､印刷面を下にして排紙されます。

補足

❒ 印刷されたA3や11×17の用紙が本体排紙トレイから落下する場合は、フェンスを起こしてください。



ZGBH010N

8. **本体右上カバー**

トナーをセットするときに開けます。

9. **排気口**

機械内部の温度上昇を防ぐために空気を排出します。物を立て掛けたりして、排気口をふさがないでください。機械内部の温度が上昇すると、故障の原因になります。

10. **コントローラーボード**

SDRAMモジュールや拡張エミュレーションモジュール、拡張1394ボード、拡張USB2.0ボード、拡張無線LANボード、ワイヤレスインターフェースボード、アカウント拡張モジュール、拡張HDDを取り付けるときに、このボードを引き出します。

パラレルインターフェースケーブルやイーサネットケーブルなどを各コネクターに接続します。

11. **パラレルインターフェースコネクター**

プリンターとパソコンに接続するパラレルインターフェースケーブルを接続します。

12. **イーサネットケーブルコネクター**

プリンターとネットワークを接続するイーサネットケーブルを接続します。

13. **用紙支持板**

A4▱より大きい用紙を手差しトレイにセットするときに、この支持板を引き出します。

14. **手差しトレイ**

普通紙のほかに、厚紙、OHPフィルムや不定形サイズの用紙などに印刷するときに使用します。普通紙で最大100枚までセットできます。

15. **吸気口**

機械内部の温度上昇を防ぐために空気を取り入れます。物を立て掛けたりして、吸気口をふさがないでください。機械内部の温度が上昇すると、故障の原因になります。

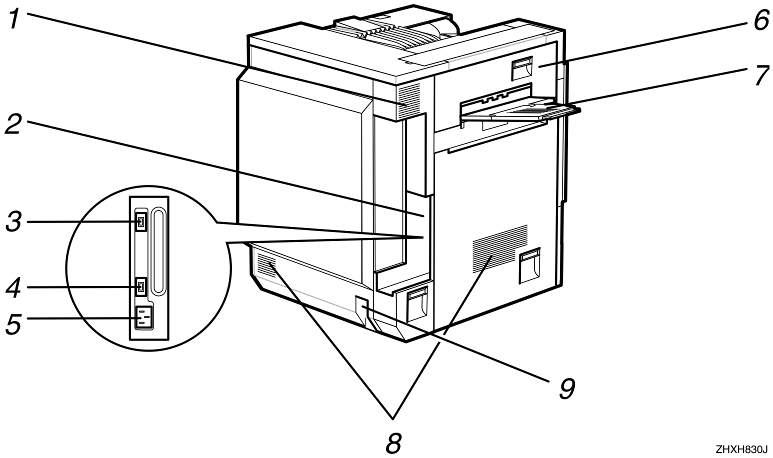
16. **本体右下カバー**

つまった用紙を取り除くときに開けます。

17. **CSS回線接続端子（IPSiO CX8200Mの場合）**

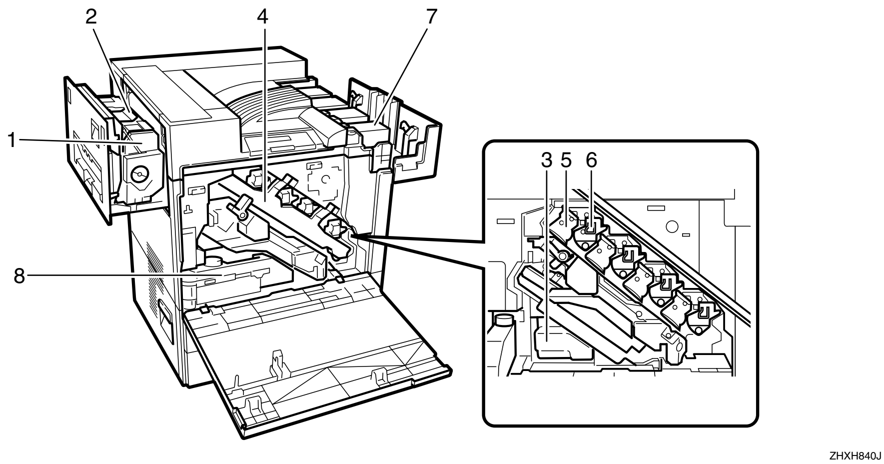
使用説明書＜保守・運用編＞「カウンター検針について」を参照してください。

背面



1. **排気口/防じんフィルター**
   機械内部の温度上昇を防ぐために空気を排出します。物を立て掛けたりして、排気口をふさがないでください。機械内部の温度が上昇すると、故障の原因になります。内部の防じんフィルターを交換するときには、排気口の防じんフィルターを取り外します。
2. **コネクター**
   プリンター本体の電源ケーブルや、各オプションからのケーブルを接続します。
3. **両面印刷ユニット用コネクター**
   両面反転ユニットのケーブルを接続します。
4. **4ピンプリントポスト/2000枚フィニッシャー用コネクター**
   4ビンプリントポストまたは2000枚フィニッシャーのケーブルを接続します。
5. **本体電源コネクター**
   プリンター本体の電源ケーブルを接続します。電源ケーブルの片方は、コンセントに差し込みます。
6. **本体左上カバー**
   つまった用紙を取り除くときや、定着ユニットを交換するときに開けます。
7. **本体左上排紙トレイ**
   印刷された用紙が、印刷された面を上にして排紙されます。
8. **吸気口**
   機械内部の温度上昇を防ぐために空気を取り入れます。物を立て掛けたりして、吸気口をふさがないでください。機械内部の温度が上昇すると、故障の原因になります。
9. **除湿／結露防止ヒータースイッチ**
   温度の変化により機械内部に結露が生じたり、湿度が高く給紙ユニットの用紙が吸湿すると、適正な印刷品質が得られないことがあります。除湿／結露防止ヒーターはこれを防止します。湿度が高いとき、低温期はスイッチを「On」にします。

内部



1. **定着ユニット**

トナーを用紙に定着させるためのユニットです。

2. **定着オイルユニット**

定着ユニットに取り付けるオイルユニットです。

3. **廃トナーボトル**

印刷時に排出されるトナーを回収するボトルです。

4. **中カバー**

感光体ユニット、現像ユニットを交換するときに開けます。

5. **感光体ユニット**

ブラック用の感光体ユニットが1本、カラー用の感光体ユニットが、イエロー、シアン、マゼンタ各1本セットされています。

6. **現像ユニット**

ブラック用の現像ユニットが1本、カラー用の現像ユニットが、イエロー、シアン、マゼンタ各1本セットされています。

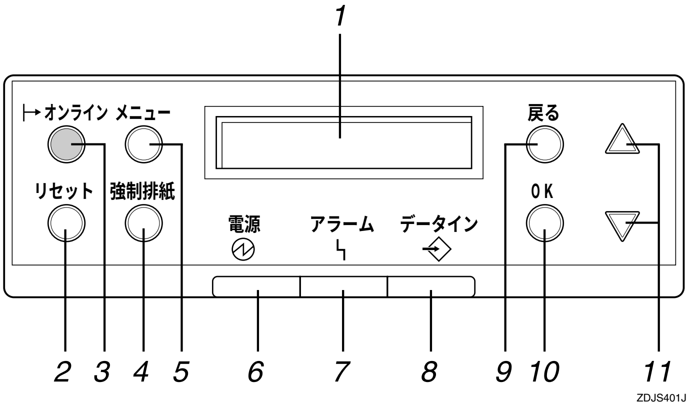
7. **トナーカートリッジ**

プリンター本体奥から、マゼンタトナーカートリッジ (M)、シアントナーカートリッジ(C)、イエロートナーカートリッジ (Y)、ブラックトナーカートリッジ(K)の順番にセットします。

8. **廃オイルボトル**

印刷時に排出されるオイルを回収するボトルです。

操作パネル



1. **ディスプレイ**

プリンターの状態やエラーメッセージが表示されます。

2. **【リセット】キー**

印刷中または受信中のデータを取り消します。

3. **オンラインランプ/【オンライン】キー**

ランプの点灯状態によって、プリンターが「オンライン状態」か「オフライン状態」かが表示されます。キーを押すと、オンラインとオフラインが切り替わります。

オンライン状態はパソコンからデータを受信できる状態で、ランプは点灯します。

オフライン状態はパソコンからデータを受信できない状態で、ランプは消灯します。

各項目の設定中に**【オンライン】**キーを押すと、通常の画面に戻ります。

4. **【強制排紙】キー**

オフライン状態のときはプリンター内に残っているデータを強制的に印刷します。

オンライン状態のときに送られたデータの用紙サイズや用紙種類が、実際にセットされている用紙サイズや用紙種類と合わなかった場合に強制的に印刷することができます。

5. **【メニュー】キー**

プリンターに関する設定を操作パネルで行うときに、始めにこのキーを押して、メニューに入ります。

6. **電源ランプ**

電源が入ってるときに点灯します。ただし、省エネモードになっているときは消灯します。

7. **アラームランプ**

エラーが発生しているときに点灯します。ディスプレイでエラーの内容を確認して対処してください。

8. **データインランプ**

パソコンから送られたデータを受信しているときは点滅します。印刷待ちのデータがあるときは点灯します。

9. **【戻る】キー**

設定を有効にせずにメニューの上位の階層に戻したいときや、メニューから通常の表示に戻したいときに押します。

10. **【OK】キー**

設定や設定値を確定したり、メニューの下位の階層に移動します。

11. **【▲】、【▼】スクロールキー**

表示画面をスクロールしたり、設定値を増減します。キーを押し続けると表示を早くスクロールしたり、数値を10単位で増減することができます。

2. 本体の設置と接続

本章に記載されている本体の設置と接続作業はIPSiO CX8200/7200をご使用のお客様が対象となります。IPSiO CX8200M（M-PaC保守契約機）の本体の設置と接続作業は、販売担当者またはサービス担当者が行います。

設置環境、電源・アースを確認する

⚠警告

- 機械は電源コンセントにできるだけ近い位置に設置し、異常時に電源プラグを容易に外せるようにしてください。

⚠警告

- アース接続してください。アース接続がされないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。アース接続がコンセントのアース端子にできない場合は、接地工事を販売店またはサービス実施店に相談してください。

⚠注意

- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になります。
- 延長コードの使用は避けてください。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重い物を載せたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災や感電の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

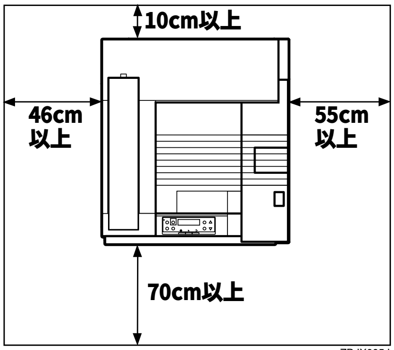
⚠注意

- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

設置環境を確認する

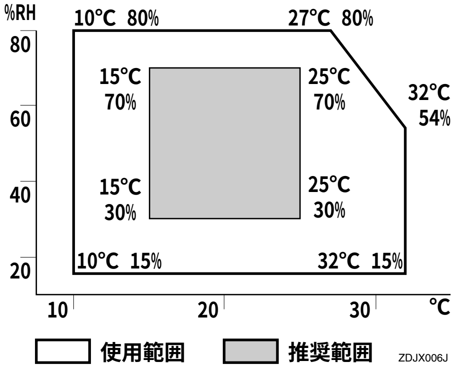
設置環境については、次のことを守ってください。

- 本機は、水平でがたつきのない場所を選んで設置してください。
- 用紙の補給、消耗品の交換、紙づまりの処置などをスムーズに行うために、本機の周辺に目安として図のようなスペースを確保してください。



ZDJX005J

- 温度や湿度が以下の使用範囲におさまる場所に設置してご使用ください。



- 設置する台の水平度：前後左右5mm以下
- 故障の原因になりますので、次のような場所には置かないでください。
    - 直射日光の当たる所
    - エアコンや暖房機などの温風・ふくしゃ熱が直接当たる所
    - 通気性、換気の悪い所。また、ほこりの多い所
    - ラジオ、テレビ、その他のエレクトロニクス機器に近い所
    - 加湿器に近い所

電源・アースを確認する

本機の電源については、次のことを守ってください。

- 100V、12A以上、50/60Hzの電源をご使用ください。
- 本機のアース端子は必ずアース対象物に接続してください。アース対象物は次のとおりです。
    - コンセントのアース端子
    - 接地工事（D種）を行っているアース線

同梱品を確認する

1 同梱品がそろっていることを確認します。

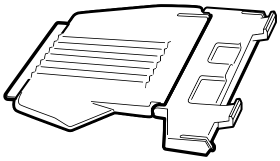
不足品や不具合があった場合は、本機を購入された販売店までご連絡ください。

❖ 使用説明書、CD-ROM

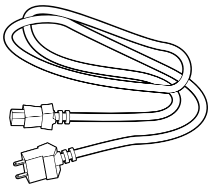
- ☐ 使用説明書の紹介
- ☑ セットアップガイド（本書）
- ☐ 使用説明書＜保守・運用編＞
- ☐ CD-ROM「プリンタードライバー＆ユーティリティー /使用説明書」1枚

❖ 部品

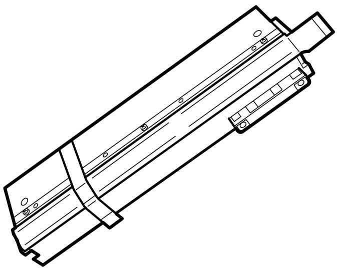
- ☐ 排紙トレイ



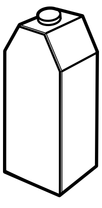
- ☐ 電源ケーブル



- ☐ 定着オイルユニット

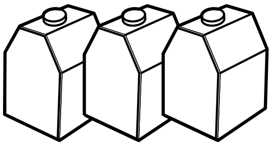


- ☐ブラック トナー (K)

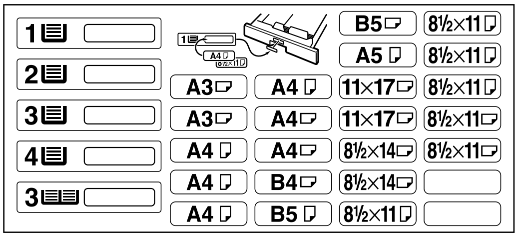


2

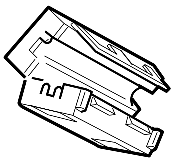
❏ マゼンタトナー (M)、シアントナー (C)、イエロートナー (Y)



❏ 給紙トレイシール

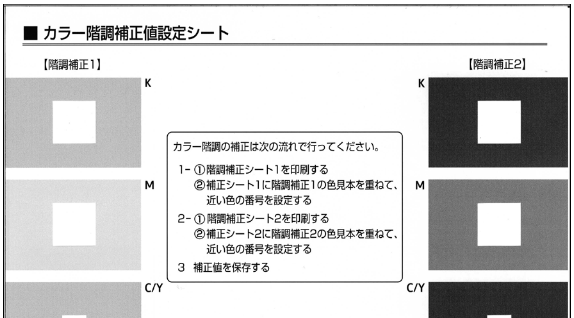


❏ Ethernet インターフェースケーブル用コア



インターフェースケーブルは同梱されていません。ご使用になるパソコンに合わせて、別途ご用意ください。インターフェースケーブルについては、使用説明書＜システム設定編＞「付録」を参照してください。

❏ カラー階調補正値設定シート


■ カラー階調補正値設定シート

【階調補正1】 【階調補正2】

K M C/Y

カラー階調の補正は次の流れで行ってください。

1- ①階調補正シート1を印刷する
②補正シート1に階調補正1の色見本を重ねて、近い色の番号を設定する

2- ①階調補正シート2を印刷する
②補正シート2に階調補正2の色見本を重ねて、近い色の番号を設定する

3 補正値を保存する

G0808802

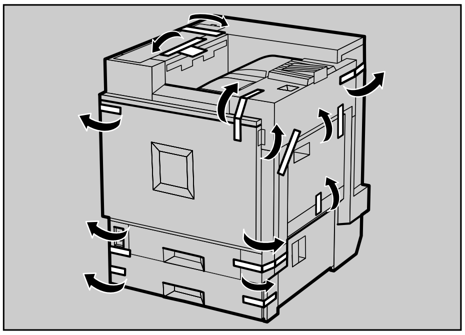
カラー階調補正値設定シートは、本書の最初のページにはさまれています。このシートはカラー階調補正をする際の色見本として使用しますので、変色や色あせを防止するため、光のあたらない場所で保管してください。シートの使い方については、使用説明書＜保守・運用編＞を参照してください。

❖ その他

品　　　名	IPSiO CX8200/7200	IPSiO CX8200M
□保守契約書	○	同梱されていません
□お客様登録はがき、（仮）保証書	○	同梱されていません
□リコー製品サービス窓口一覧	○	同梱されていません
□M-PaCシール	同梱されていません	○
□開梱品質チェックシート	同梱されていません	○
□マイバンク＆QA登録票	○	○
□IPSiOコールセンターシール	○	○
□リコープリンタードライバーフロッピーディスク版申し込みについて	○	○

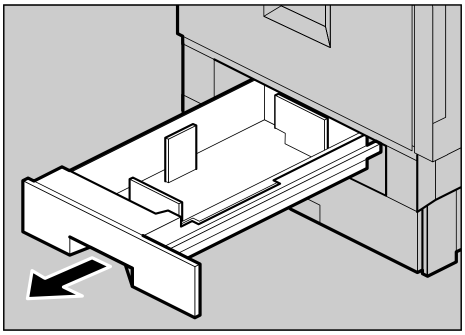
固定材/現像ユニットのテープを取り除く

1 プリンター本体についている固定用テープをすべて取り除きます。本体排紙部にテープでとめられているダンボールも取り除きます。



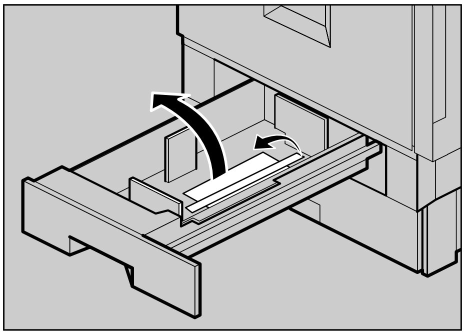
ZDJHK001J

2 給紙トレイ1（標準）を開けます。



ZDJH003J

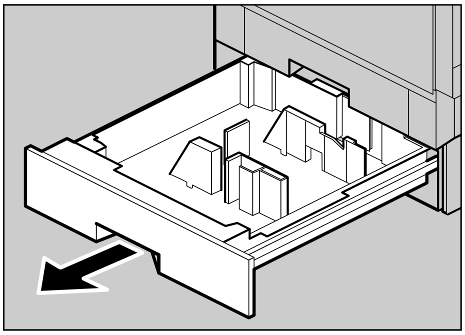
3 固定用テープ1本と用紙を1枚取り除きます。



ZDJH004J

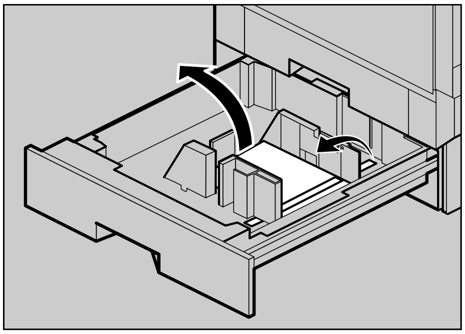
4 給紙トレイ1（標準）をゆっくりと閉めます。

5 給紙トレイ2（標準）を開けます。



ZDJH305J

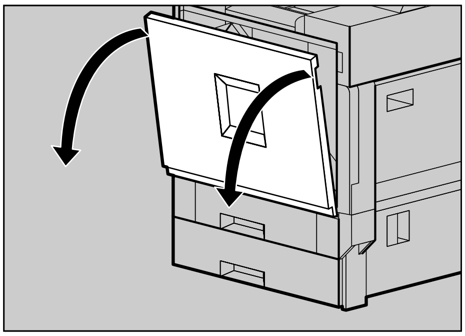
6 固定用テープ1本と用紙を1枚取り除きます。



ZDJH006J

7 給紙トレイ2（標準）をゆっくりと閉めます。

8 プリンター本体の前カバーの左右 2 個所を引いて、ゆっくりと開けます。

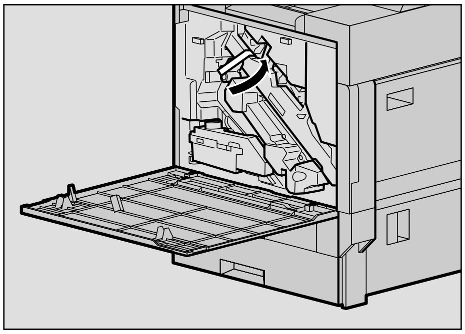


ZDJH007J

⚠注意

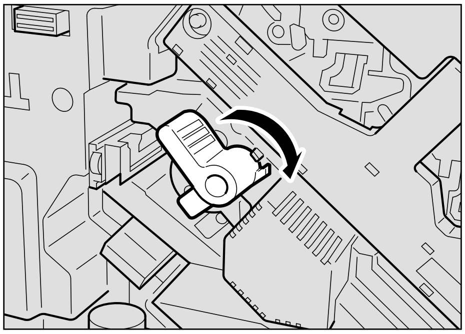
- プリンター本体の前カバーの上にはものを載せないでください。

9 固定用テープを取り除きます。



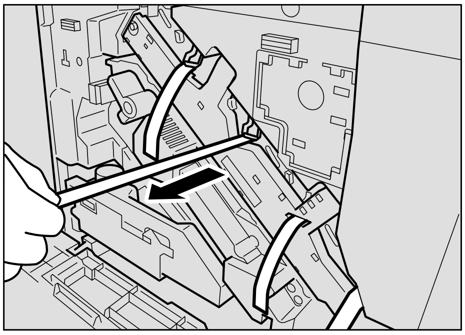
ZHXHK110J

10 緑色のレバーを反時計回りに回します。



ZHXH420J

11 現像ユニットから出ている 4 本のテープを水平にゆっくりと引き抜きます。



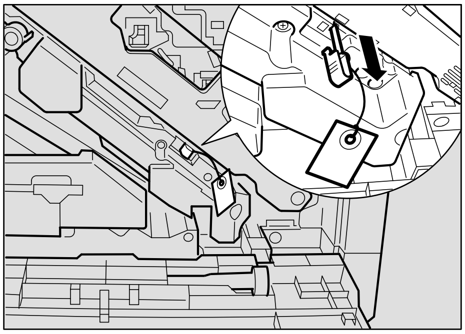
ZHXH130J

重要

- テープは必ず 4 本すべて引き抜いてください。テープを引き抜かないで動作させると、故障の原因になります。
- はがしたテープは汚れています。手や衣服などに触れないように注意してください。

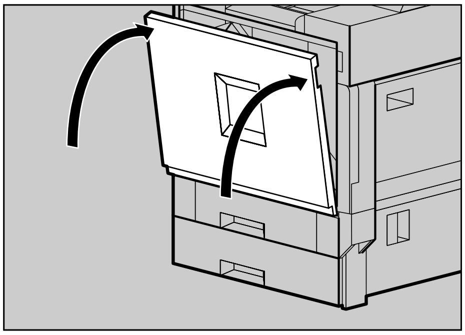
12 赤い札のついた転写ユニットの固定ピンを取り外します。つまんで引き抜きます。

固定ピンは図の位置にセットされています。



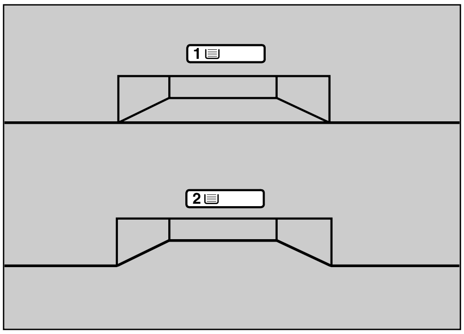
ZHXH131J

13 プリンター本体の前カバーの左右 2 個所を押して、ゆっくりと閉めます。



ZDJH041J

14 給紙トレイシール「1」「2」を、給紙トレイ前面に貼り付けます。



ZDJP129J

2

定着オイルユニットを取り付ける

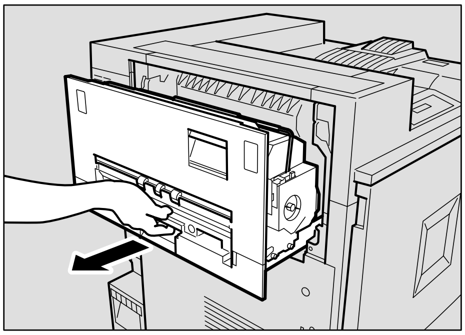
⚠注意



- 定着オイルユニットに火気を近づけないでください。発火して火災ややけどの原因になります。

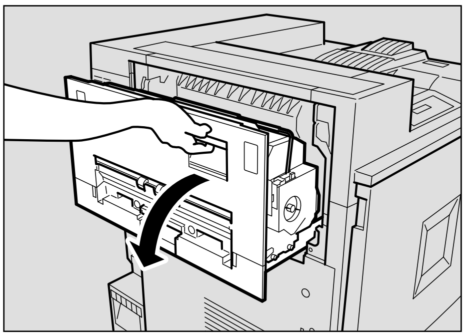
定着オイルユニットを定着ユニットに取り付けます。

1 プリンター本体の左上カバー下部の取っ手を持ち、ゆっくりと引き出します。



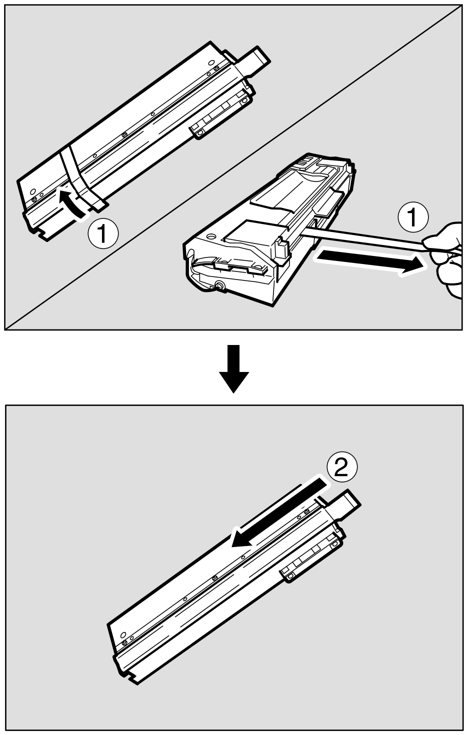
ZHXH010J

2 プリンター本体の左上カバー上部の取っ手を持ち、ゆっくりと開けます。



ZHXH020J

3 定着オイルユニットを袋から取り出します。最初にテープ（①）を先端の緑色の部分をつまんでゆっくりはがします。はがした後、イラスト右部のように定着オイルユニットを置き、テープをゆっくり引き抜きます。次にテープ（②）の先端部をつまんでゆっくりはがします。



ZHXHK041J

補足

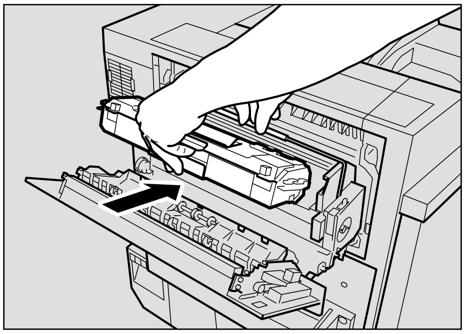
- ❒ テープ（①）は、はがしてから水平に引き抜いてください。

重要

- ❒ テープは必ずすべてはがしてください。テープをはがさずにセットすると、故障の原因になります。
- ❒ 必ずテープ（①）、テープ（②）の順番にはがしてください。順番を間違えると、オイル漏れの原因になります。
- ❒ 定着オイルユニットは水平な場所に置いてください。立てかけたりすると、オイル漏れの原因になります。

- テープをはがした後のオイル供給部（黒のフェルト部）と、はがしたテープにはオイルが付着しています。手や衣服などに触れないように注意してください。

4 図のように定着オイルユニットを持ち、もう一方の手で定着ユニットの緑色の取っ手を押さえて、矢印の方向にゆっくりと奥まで水平に差し込みます。

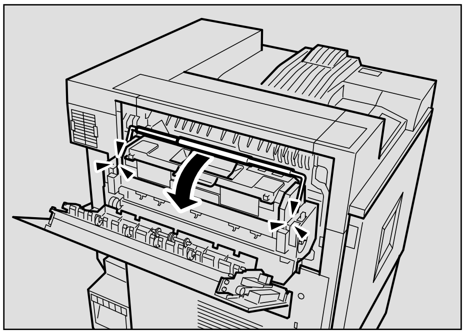


ZHXH060J

重要

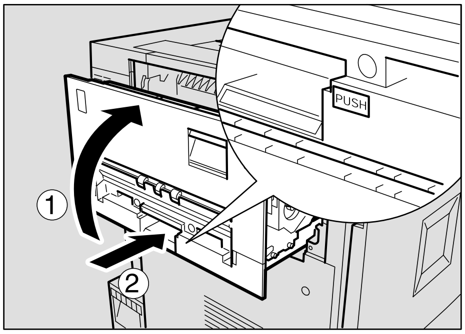
- 定着オイルユニットの上部にある金属部分にオイルが付着しないように注意してください。
- 定着オイルユニットは突き当たるまでしっかりと差し込んでください。

5 定着ユニットの取っ手を持ち、矢印の方向にカチッと音がするまで静かに倒します。



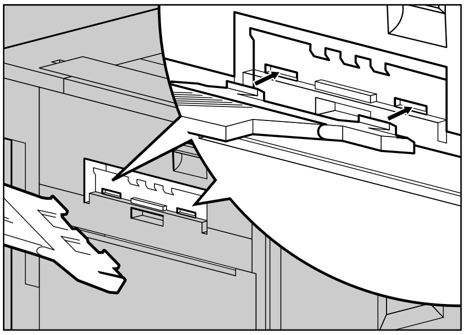
ZHXH070J

6 プリンター本体の左上カバーを閉め（①）、下部の取っ手の横に貼られている「PUSH」の部分を押して、ガチッと音がするまで押し込みます（②）。



ZHXH082J

7 排紙トレイをプリンター本体に取り付けます。排紙トレイのフックを本体のスリットに差し込み、ゆっくりと倒します。



ZDJH010J

2

トナーをセットする

⚠警告



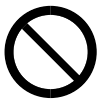
- トナー（使用済みトナーを含む）、トナーの入った容器を火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。使用済みのトナーは、トナー粉が飛び散らないように袋に入れて保管してください。保管したトナーは、販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。なお、お客様で処理される場合は、一般のプラスチック廃棄物と同様に処理してください。

⚠注意



- 機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周囲には触れないでください。やけどの原因になります。

⚠注意



- トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器は、子供の手に触れないようにしてください。

⚠注意

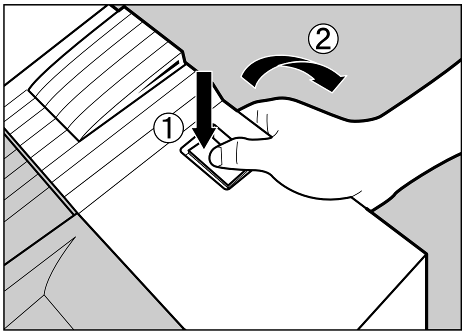
- トナー等の消耗品や部品は、リコー指定の製品により安全性を評価しています。安全にご使用いただくため、リコー指定のトナー、消耗品または交換部品をご使用ください。部品の交換はサービス実施店に相談してください。

補足

❒ 1本のトナーの印刷可能ページ数は、目安としてブラックが約20,000ページ、カラーが約10,000ページです。この印刷可能ページ数は、A4▯5%チャートを印刷した場合の目安です。実際の印刷可能ページ数は、印刷する用紙の種類・サイズ、印刷内容、環境条件によって異なります。トナーは時間の経過とともに劣化するため、使用期間によっては、上記ページ数より早く交換が必要になる場合があります。

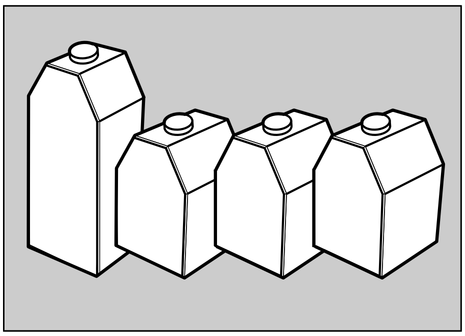
❒ トナー（消耗品）は保証対象外です。ただし、ご購入になった時点で不具合があった場合は購入された販売店まで連絡してください。

1 **プリンター本体の右上カバーを開けます。**



ZDJT006J

2 **トナーカートリッジを箱から取り出します。**

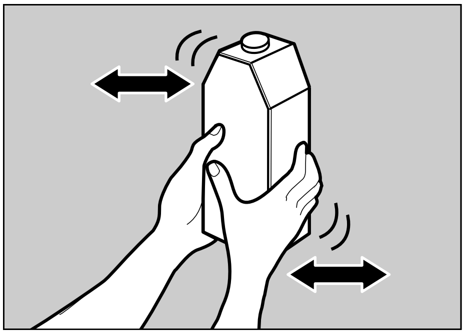


ZDJT202J

補足

❒ ブラック(K)のトナーカートリッジは、ほかのトナーカートリッジよりもトナーの容量が大きいものを使用しています。

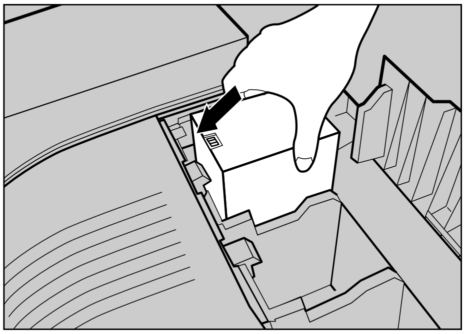
3 トナーカートリッジを、左右に5、6回振ります。



ZDJT203J

4 トナーカートリッジの金属製の接点を前方にして持ち、矢印の方向に軽く押しながら垂直に差し込みます。

奥から、マゼンタ(M)、シアン(C)、イエロー(Y)、ブラック (K) のトナーカートリッジをセットします。

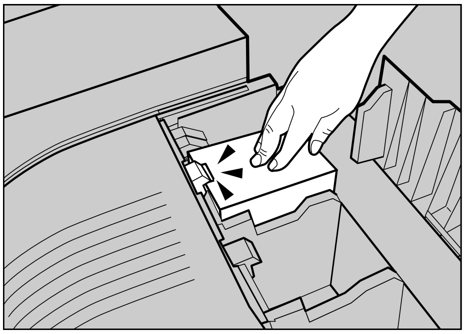


ZDJT004J

重要

- ❒ 金属製の接点に指を触れないように注意してください。

5 トナーカートリッジの金属製の接点にフックが掛かるまで、ゆっくりと奥まで差し込みます。



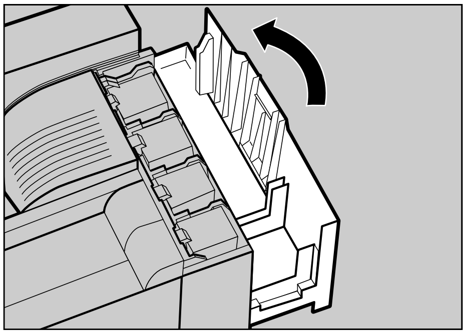
ZDJT005J

重要

- ❒ トナーカートリッジを何度も抜き差ししないでください。トナーがこぼれる場合があります。

6 手順 3 ～ 5 と同じ方法で、残り 3 色のトナーカートリッジをセットします。

7 プリンター本体の右上カバーを閉めます。



ZDJH042J

用紙をセットする

給紙トレイ（標準）、給紙テーブル（オプション）に用紙をセットする

用紙を給紙トレイにセットします。用紙をセットしないと、この使用説明書で行うセットアップは正常に終了しません。

工場出荷時、各給紙トレイは、以下に示す用紙をセットできるように設定されています。

❖ **工場出荷時の各給紙トレイの設定**

- 給紙トレイ1（標準）：A4 専用
- 給紙トレイ2（標準）：B5
- 500枚給紙テーブル（オプション）：A3
- 1000枚給紙テーブル（オプション）：A3
- 2000枚給紙テーブル（オプション）：A4

参照

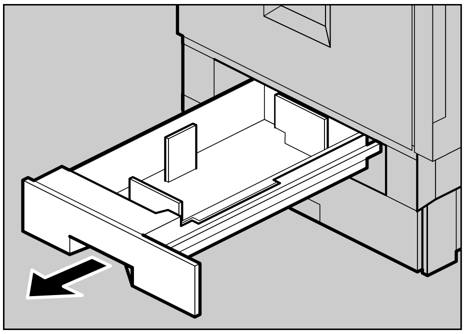
セットできる用紙の種類とサイズについては、使用説明書＜保守・運用編＞「用紙について」を参照してください。

給紙トレイ1（標準）に用紙をセットするとき

重要

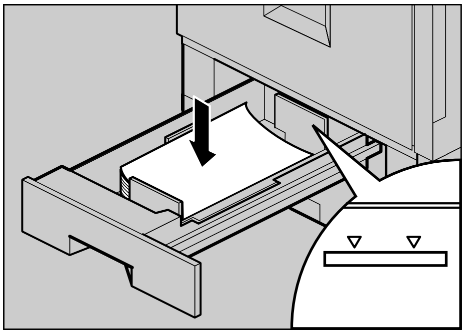
❒ 給紙トレイ1（標準）は、A4 専用の給紙トレイです。常にA4の用紙をセットしてください。

1 **給紙トレイを止まるまでゆっくりと引き出します。**



ZDJH003J

2 **印刷する面を下にして、A4 の用紙をそろえてセットします。**



ZDJY001J

重要

❒ セットする用紙の量は、給紙トレイ内に示された上限表示を超えないようにしてください。

3 **給紙トレイをゆっくりと奥まで押し込みます。**

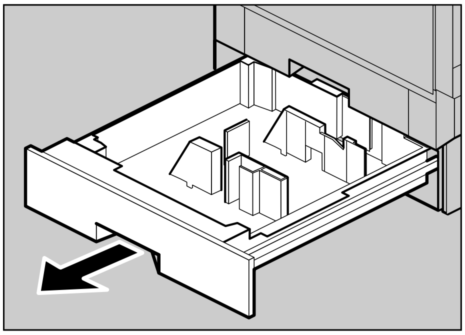
給紙トレイ2（標準）、500枚給紙テーブル（オプション）、1000枚給紙テーブル（オプション）に用紙をセットするとき

給紙トレイ2（標準）、500枚給紙テーブル（オプション）、1000枚給紙テーブル（オプション）には、サイドフェンス、エンドフェンスの位置を変更して、いろいろなサイズの用紙をセットすることができます。

以下の用紙をセットする場合は、サイドフェンス、エンドフェンスを動かす必要はありません。

- 給紙トレイ2（標準）：B5▭
- 500枚給紙テーブル（オプション）：A3▭
- 1000枚給紙テーブル（オプション）：A3▭

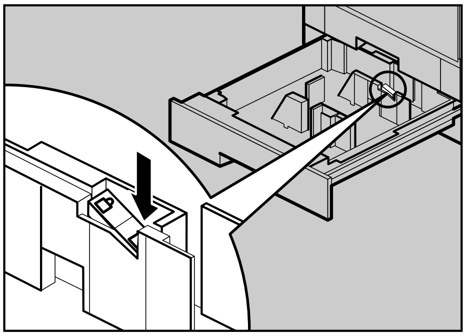
1 給紙トレイを止まるまで引き出します。



ZDJH305J

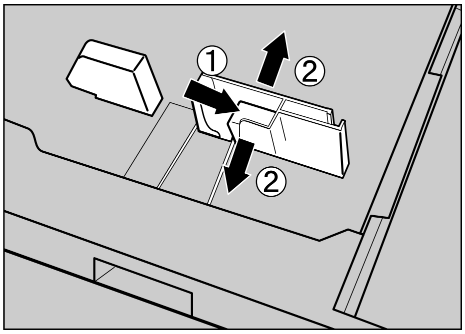
2 用紙のサイズや方向の変更でサイドフェンスを移動するときは、以下の手順で行ってください。

❶ サイドフェンスのロックを解除します。



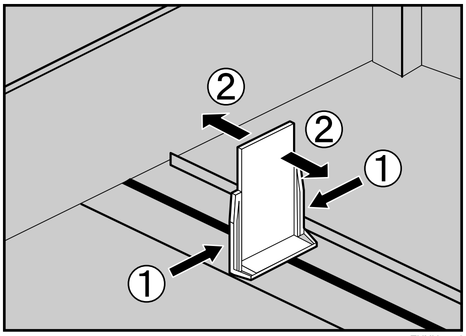
ZDJY950J

❷ 緑色のレバーを押しながら（①）、矢印の方向に動かして、サイドフェンスの位置を変更し、サイドフェンスをロックします（②）。



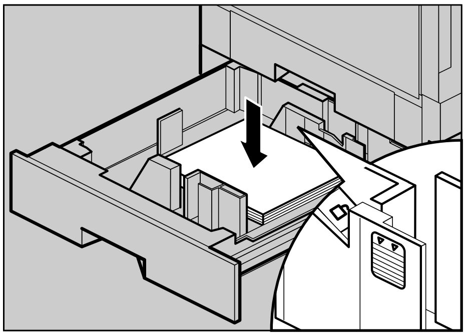
ZDJY802J

3 用紙のサイズや方向の変更でエンドフェンスを移動するときは、エンドフェンスの両端をつまんで（①）、矢印の方向に動かしてエンドフェンスの位置を変更します（②）。



ZHXH760J

4 印刷する面を下にして、用紙をそろえてセットします。



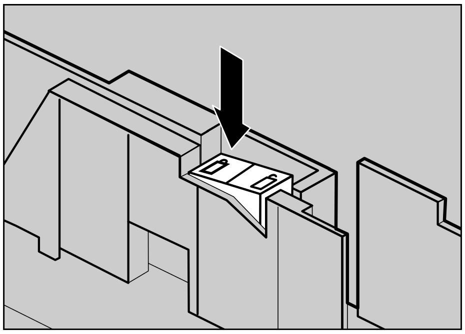
ZDJY901J

重要

- ❒ セットする用紙の量は、給紙トレイ内に示された上限表示を超えないようにしてください。

2

5 用紙が固定されたことを確認してから、サイドフェンスをロックします。



ZDJY007J

6 給紙トレイをゆっくりと奥まで押し込みます。

重要

- ❒ トレイを勢いよく押し込むと、トレイのサイドフェンスの位置がずれることがあります。

自動検知されないサイズの用紙をセットしたとき

自動検知されないサイズの用紙をセットしたときは、操作パネルで用紙サイズを設定する必要があります。設定の方法については、使用説明書<保守・運用編>「用紙について」を参照してください。

補足

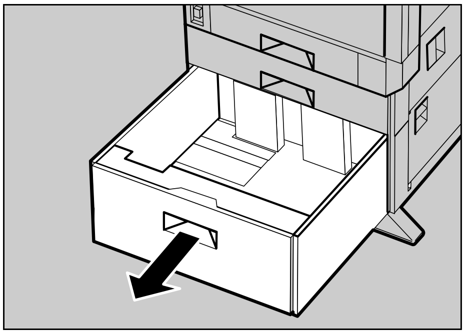
- ❒ 給紙トレイ2（標準）、500枚給紙テーブル（オプション）、1000枚給紙テーブル（オプション）で自動検知されないサイズの用紙は以下のとおりです。
  - B5▭
  - Legal（8$^1/_2$×14）▭
  - Letter（8$^1/_2$×11）▭

2000枚給紙テーブル（オプション）に用紙をセットするとき

重要

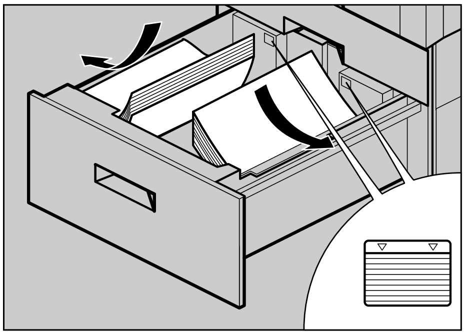
- ❒ 2000枚給紙テーブル（オプション）の工場出荷時の設定は、A4▯です。
- ❒ 2000枚給紙テーブル（オプション）にLetter（11×8$^1/_2$）▯の用紙をセットするときは、販売担当者に連絡してください。

1 給紙トレイを止まるまでゆっくりと引き出します。



ZDJY008J

2 印刷する面を下にして、用紙をそろえて左右にセットします。片側1000枚が上限です。



ZDJY009J

重要

- ❒ 用紙はきちんとそろえて、左右の壁に確実に押し当ててください。きちんとセットされていないと紙づまりの原因になります。
- ❒ セットする用紙の量は、給紙トレイ内に示された上限表示を超えないようにしてください。

3 給紙トレイをゆっくりと奥まで押し込みます。

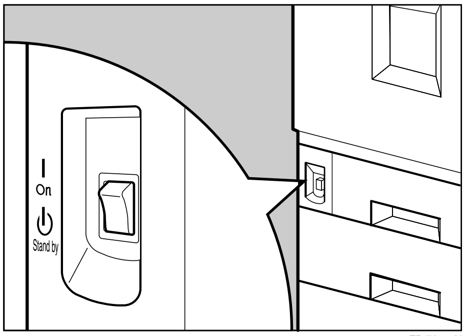
電源を入れる

⚠警告



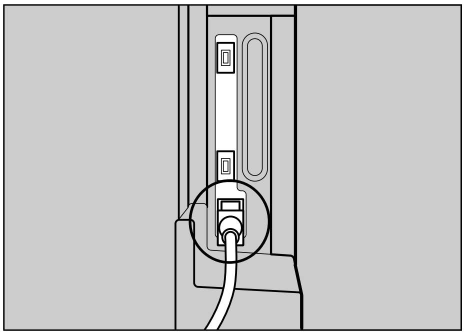
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

1 電源が「⏻ Standby」側になっていることを確認します。



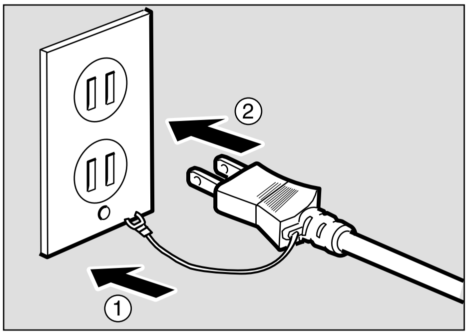
ZDJH029N

2 電源ケーブルを、プリンター本体背面の電源コネクターに接続します。



ZDJH030J

3 アース線を接続し（①）、次に電源プラグをコンセントに差し込みます（②）。



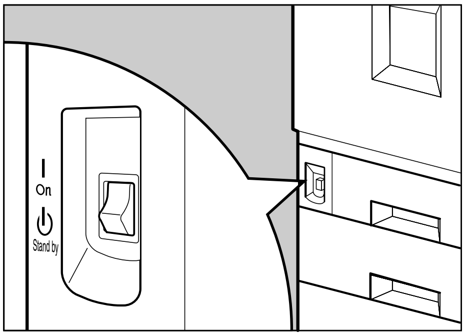
ZDJX003J

重要

- ❒ 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。
- ❒ 電源プラグを差し込んだり抜いたりするときは、プリンターの電源スイッチを切ってから行ってください。

4 電源スイッチを「❙ On」側にします。

操作パネルの電源ランプが点灯します。



ZDJH031N

2

テスト印刷する

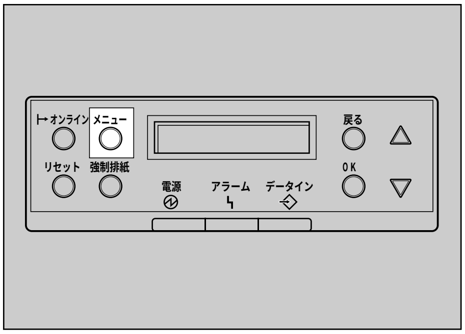
プリンターが正常に印刷できることを確認するために、テスト印刷を行います。テスト印刷はプリンター本体の動作確認です。パソコンとの接続テストではありません。

ここではシステム設定リストの印刷を例に説明します。

補足

- ❒ プリンターの動作中、本体内部で「シャカシャカ」という音がすることがありますが、異常ではありません。これは一時的な現象で、1000枚程度印刷すると音がしなくなります。

1 **【メニュー】キーを押します。**



ZDJS001J

メニュー画面が表示されます。

```
&lt;メニュー&gt;
 ヨウシセッテイ
```

2 **【▲】【▼】キーを押し、「テストインサツ」を表示させ、【OK】キーを押します。**

```
&lt;メニュー&gt;
 テストインサツ
```

テスト印刷する内容を選択する画面が表示されます。

3 **【▲】【▼】キーを押し、「システムセッテイリスト」を表示させ、【OK】キーを押します。**

```
&lt;テストインサツ&gt;
 1.システムセッテイリスト
```

次の画面が表示され、システム設定リストが印刷されます。

```
インサツチュウデス
```

補足

- ❒ 正常に印刷できないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されていないか確認してください。表示されている場合は、使用説明書＜保守・運用編＞「こんなときには」を参照して、エラーの対処をしてください。

4 **オプション構成を確認します。**

補足

- ❒ システム設定リストの詳細については、使用説明書＜システム設定編＞「操作パネルを使用する」を参照してください。

5 **【オンライン】キーを押します。**

通常の画面に戻ります。

パソコンとプリンターを接続する

ネットワークに接続する

HUBなどのネットワーク機器を準備してから、本機に Ethernet 用インターフェースケーブルを接続します。

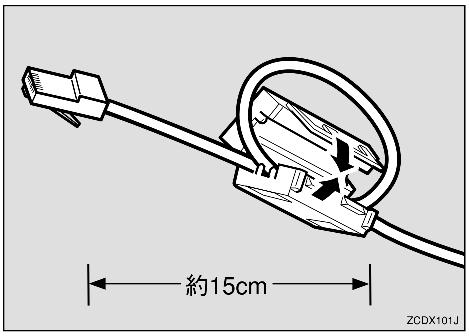
イーサネットボードには 10BASE-T または 100BASE-TXのケーブルを接続します。

重要

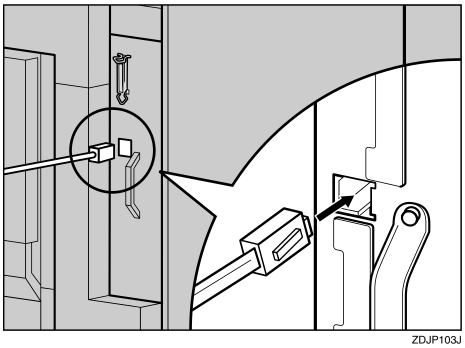
❒ インターフェースケーブルには、シールドケーブルをお使いください。シールドケーブル以外のものを使うと、電波障害を起こすことがあります。

1 **本機の電源を切ります。**

2 **本機には Ethernet 用インターフェースケーブルに取り付けるコアが同梱されています。ケーブルのプリンター本体側のコネクターから約15cmの位置に、図のような1重の輪を作り、コアを取り付けます。**



3 **プリンター本体右側面の Ethernet 用インターフェースコネクターに Ethernet 用インターフェースケーブルのコネクターを接続します。**

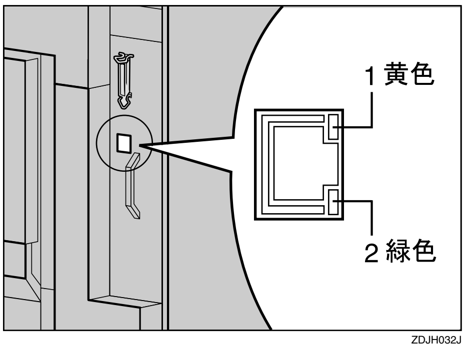


4 **HUB（ハブ）などのネットワーク機器にケーブルのもう一方のコネクターを接続します。**

参照

ネットワーク環境の設定については、使用説明書<システム設定編>を参照してください。

LEDの見かた



1. **100BASE-TXの動作時は点灯し、10BASE-Tの動作時は消灯します。**
2. **ネットワークに正常に接続していると、点灯します。**

3

パラレル接続する

パソコンとプリンターをパラレル接続するには、インターフェースケーブルを使用します。インターフェースケーブルはプリンターに同梱されていません。接続するパソコンによって使用するケーブルが異なりますので、ご使用のパソコンをご確認の上、インターフェースケーブルを用意してください。

DOS/V機、PC98-NXシリーズ		タイプ4Bケーブル *1
		タイプ4Sケーブル *1
		USB変換プリンターケーブル *1
PC9800シリーズ	パソコンにインターフェースケーブルが付属しているとき	付属品を使用する
	インターフェースケーブルが付属していないとき	パソコン側がハーフピッチ36ピンのときはタイプ1Bケーブル *1
PC98ノート		NEC専用のインターフェースケーブル（NEC製「PC-9801N-19」または「LXT3」）

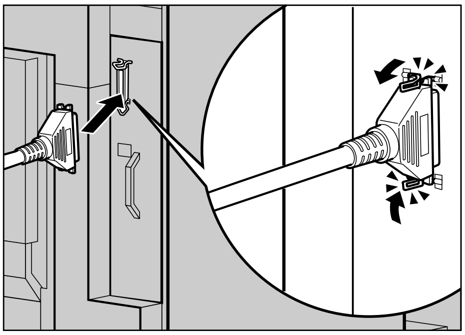
*1 **リコーで取り扱っているインターフェースケーブルです。使用説明書<システム設定編>「付録」を参照してください。**

重要

❒ インターフェースケーブルには、シールドケーブルをお使いください。シールドケーブル以外のものを使うと、電波障害を起こすことがあります。

1 本機とパソコンの電源を切ります。

2 プリンター本体右側面のパラレルインターフェースコネクターにインターフェースケーブルのコネクターを接続し、両側の金具で固定します。



ZDJH033J

3 パソコンのインターフェースコネクターにインターフェースケーブルのもう一方のコネクターを接続し、固定します。

参照

パラレル接続して印刷する場合の設定については、使用説明書<プリンタークライアント編>を参照してください。

操作パネルから設定する

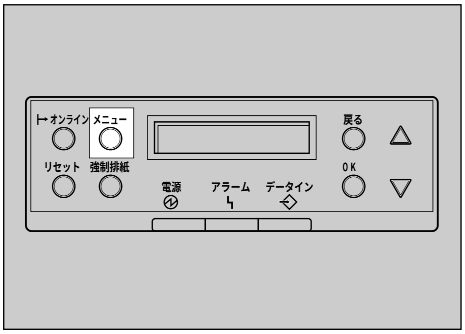
使用するネットワーク環境に応じて、必要な項目を操作パネルで設定します。

ネットワーク設定メニューで設定できる項目と工場出荷時の値は、以下のとおりです。

項目名	工場出荷時
DHCP	Off
IPアドレス	011.022.033.044
サブネットマスク	0.0.0.0
ゲートウェイアドレス	0.0.0.0
NWフレームタイプ	自動選択
有効プロトコル	すべて有効 • TCP/IP • NetWare • NetBEUI • AppleTalk
イーサネット速度 [*1]	自動設定

[*1] **使用説明書<システム設定編>「操作パネルを使用する」を参照してください。**

1 操作パネルの【メニュー】キーを押します。



ZDJS001J

メニュー画面が表示されます。

2 【▲】または【▼】キーを押して「インターフェースセッテイ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<メニュー>
 インターフェースセッテイ
```

インターフェース設定項目を選択する画面が表示されます。

3 使用するプロトコルを有効にします。

補足

❒ 工場出荷時の設定はすべて有効に設定されています。

❒ ご使用にならないプロトコルは無効にしておくことをお勧めします。

❶ **【▲】または【▼】キーを押して「ネットワークセッテイ」を表示させ、【OK】キーを押します。**

```
<インターフェースセッテイ>
3.ネットワークセッテイ
```

❷ **【▲】または【▼】キーを押して「ユウコウプロトコル」を表示させ、【OK】キーを押します。**

```
<ネットワークセッテイ>
6.ユウコウプロトコル
```

❸ **【▲】または【▼】キーを押して使用するプロトコルを表示させ、【OK】キーを押します。**

```
<ユウコウプロトコル>
1.TCP/IP
```

ここでは TCP/IP を有効にする例で説明します。

❹ **【▲】または【▼】キーを押して「ユウコウ」を表示させ、【OK】キーを押します。**

```
<TCP/IP>
*ユウコウ
```

約2秒後、有効プロトコルを設定する画面に戻ります。

❺ **使用するプロトコルを続けて設定します。**

❻ **有効にするプロトコルの設定が終了したら、【戻る】キーを押します。**

ネットワークの設定項目を選択する画面が表示されます。

3

3

補足

- ❒ NetWare 5.1JのピュアIP環境でご使用になる場合は、TCP/IP プロトコルを有効に設定してください。

4 **TCP/IP プロトコルを使用するときは、プリンターに割り当てる IP アドレスを設定します。**

補足

- ❒ 設定するIPアドレスは、ネットワーク管理者に確認してください。

❶ **【▲】または【▼】キーを押して「IPアドレス」を表示させ、【OK】キーを押します。**

```
<ﾈｯﾄﾜｰｸｾｯﾃｲ>
2.IPｱﾄﾞﾚｽ
```

現在設定されているIPアドレスが表示されます。

補足

- ❒ 変更の必要がないときは、**【OK】**キーを押すと次のフィールドに移動します。
- ❒ **【▲】**または**【▼】**キーを押し続けると、値が10ずつ増減します。

❷ **【▲】または【▼】キーを押して、カーソルのあるフィールドの値を変更します。**

```
<IPｱﾄﾞﾚｽ>
199.  0.  0.  0
```

❸ **【OK】キーを押します。**

フィールドに値が入力され、次のフィールドにカーソルが移動します。

```
<IPｱﾄﾞﾚｽ>
199.  0.  0.  0
```

❹ **❷～❸を繰り返し、すべてのフィールドに値を入力して、【OK】キーを押します。**

補足

- ❒ 1つ前のフィールドに移動するときは、**【戻る】**キーを押します。

5 **TCP/IP を使用するときは、IP アドレスの設定と同様の手順で「サブネットマスク」～「ゲートウェイアドレス」までの項目を設定します。**

6 **TCP/IP プロトコルで DHCP を使用するときは、DHCPの設定をします。**

❶ **【▲】または【▼】キーを押して「DHCP」を表示させ、【OK】キーを押します。**

```
<ﾈｯﾄﾜｰｸｾｯﾃｲ>
1.DHCP
```

❷ **【▲】または【▼】キーを押して「On」を表示させ、【OK】キーを押します。**

```
<DHCP>
*On
```

約 2 秒後、ネットワークの設定項目を選択する画面に戻ります。

参照

DHCPを使用するときは、使用説明書＜システム設定編＞「付録」を参照してください。

7 **NetWareのフレームタイプを選択します。**

選択できるフレームタイプは、以下のとおりです。

- ジドウセンタク（工場出荷時）
- ETHERNET802.3
- ETHERNET802.2
- ETHERNET Ⅱ
- ETHERNETSNAP

補足

- ❒ 「自動選択」では、起動時に最初に検知したフレームタイプに設定されます。したがって、複数のフレームタイプが使用可能なネットワークでは目的のフレームタイプに設定されないことがあります。その場合は、使用したいフレームタイプを選択してください。

❶ **【▲】キーまたは【▼】キーを押して「NWフレームタイプ」を表示させ、【OK】キーを押します。**

```
<ﾈｯﾄﾜｰｸｾｯﾃｲ>
5.NWﾌﾚｰﾑﾀｲﾌﾟ
```

現在の設定が表示されます。

❷ **【▲】キーまたは【▼】キーを押して、使用するフレームタイプを表示させ、【OK】キーを押します。**

```
<NWﾌﾚｰﾑﾀｲﾌﾟ >
*ｼﾞﾄﾞｳｾﾝﾀｸ
```

約2秒後、ネットワークの設定項目を選択する画面に戻ります。

8 すべての設定が終了したら、【オンライン】キーを押します。

通常の画面に戻り、設定した項目が有効になります。

```
ｲﾝｻﾂﾃﾞｷﾏｽ
RPCS
```

9 システム設定リストを印刷して、設定した内容を確認します。

参照

システム設定リストの印刷方法については、P.24「テスト印刷する」を参照してください。

これ以降の設定については、使用説明書＜システム設定編＞「操作パネルを使用する」を参照してください。

アドレスについて

❖ **サブネットマスク**

IP アドレスの一部をネットワークアドレスとして使用するためのマスク値です。

❖ **ゲートウェイアドレス**

別のネットワークのワークステーションとのやり取り（印刷や情報の取得）を行うとき、ゲートウェイとなるホストやルーターのアドレスです。

補足

❒ 設定するアドレスは、ネットワーク管理者に確認してください。

❒ 設定するアドレスがわからないときは、工場出荷時の設定のままご使用ください。

プリンタードライバーをインストールする

同梱のCD-ROMから簡単にソフトウエアをインストールすることができます。

［おすすめインストール］ボタンをクリックすると、RPCS プリンタードライバーがパソコンにインストールされ、IPSiO CX8200/8200M/7200が使用できる状態になります。

ネットワーク接続の場合、Ridoc IO Naviもインストールされます。

必要な条件は以下のとおりです。

- OSがWindows 95/98/Me、Windows 2000、Windows XPまたはWindows NT4.0である

また、イーサネット接続の場合に必要な条件は以下のとおりです。

- イーサネットケーブルまたは無線LANで本機とネットワークが接続されている
- TCP/IPプロトコルが設定されている
- 本機とパソコンにIPアドレスが設定されている。

おすすめインストール

1 パソコンのCD-ROMドライブに同梱のCD-ROMを挿入します。

インストーラーが起動し、次の画面が表示されます。



2 ［おすすめインストール］をクリックします。

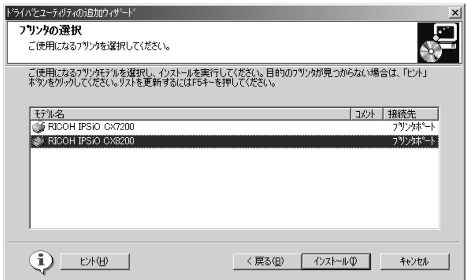


［使用許諾］ダイアログが表示されます。

3 ソフトウエア使用許諾契約のすべての項目をお読みください。同意する場合は、［次へ］をクリックします。



ダイアログに［モデル名］が表示されます。



4 **ご使用のプリンター名が表示されていることを確認して、［インストール］をクリックします。**

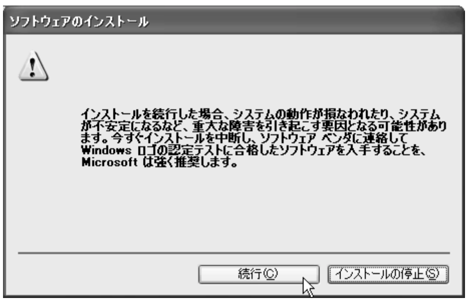
次の画面が表示され、プリンタードライバーがインストールされます。



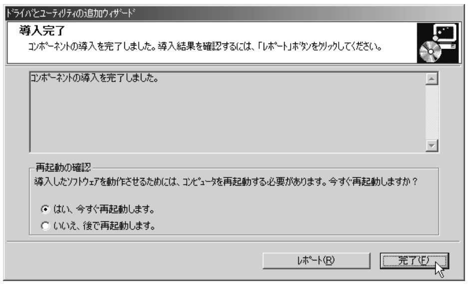
導入完了ダイアログ画面が表示されます。

補足

- ❒ TCP/IPの場合、［接続先］にIPアドレスが表示されているプリンターを選択します。
- ❒ パラレル接続の場合、［接続先］にプリンターポートが表示されているプリンターを選択します。
- ❒ IPSiO CX7200をご使用の場合は、IPSiO CX7200のプリンタードライバーを選択してください。IPSiO CX8200とIPSiO CX8200Mは、同じプリンタードライバーを使用します。IPSiO CX8200Mをご使用の場合は、「IPSiO CX8200」を選択してください。
- ❒ TCP/IPの場合で、［接続］にIPアドレスが表示されているプリンターを選択すると、Ridoc IO Naviもインストールされます。
- ❒ インストールの途中で「デジタル署名が見つかりませんでした」という画面や下のような画面が表示されることがあります。その場合は、［はい］または［続行］をクリックしてインストールを続行してください。



5 **［完了］をクリックします。**



補足

- ❒ ダイアログに［再起動の確認］が表示されているときは、［はい、今すぐ再起動します。］をクリックします。すぐに再起動しないときは［いいえ、後で再起動します。］をクリックします。

6 **［終了］をクリックします。**



これでインストールは終了です。

お客さま登録

インターネットでお客さま登録をすることができます。

補足

- ❒ IPSiO　CX8200Mをご使用のお客様は登録の必要はありません。
- ❒ インターネットに接続している場合に利用できます。

3

1 ［お客様登録の受付］をクリックします。



ご使用のブラウザが起動し、お客様登録のページが表示されます。

2 ページ内の指示に従って登録します。

3 登録終了後、ブラウザを終了します。

4 ［終了］をクリックします。



これでお客さま登録は終了です。

4. オプションを取り付ける

本章に記載されているオプションの取り付け作業はIPSiO　CX8200/7200をご使用のお客様が対象となります。IPSiO CX8200M（M-PaC 保守契約機）のオプション取り付け作業は、販売担当者またはサービス担当者が行います。

オプションの構成

⚠注意



- オプションの取り付け、取り外しは、プリンターの電源スイッチが切れていて、プリンター本体が常温であることを確認してから行ってください。やけどの原因になります。

オプションを取り付けるとプリンターの性能をさらに高め、機能を拡張することができます。各オプションの仕様については、使用説明書＜システム設定編＞「付録」を参照してください。

プリンター本体に複数のオプションを取り付ける場合は、以下の順に取り付けることをお勧めします。

❖ オプション取り付けの流れ

1 500枚/1000枚/2000枚給紙テーブルを取り付ける ▼	給紙テーブルをプリンター本体の底部に取り付けます。 500枚/1000枚/2000枚給紙テーブルのうち、どれか1つを取り付けることができます。 2000枚給紙テーブルを取り付けた場合最大3200枚の用紙を同時にセットできます。*1
2 SDRAMモジュールを取り付ける ▼	コントローラーボード内のSDRAMモジュール用スロットに取り付けます。
3 拡張エミュレーションモジュールを取り付ける ▼	コントローラーボード内の拡張エミュレーションモジュール用スロットに取り付けます。
4 拡張1394ボード/拡張USB2.0ボード/拡張無線LANボード/ワイヤレスインターフェースボードを取り付ける ▼	コントローラーボードに拡張1394ボード/拡張USB2.0ボード/拡張無線LANボード/ワイヤレスインターフェースボードを取り付けます。 拡張1394ボード、拡張USB2.0ボード、拡張無線LANボードおよびワイヤレスインターフェースボードは、同時に取り付けることはできません。 拡張無線LANボードと標準のEthernetインターフェースを同時に使うことはできません。

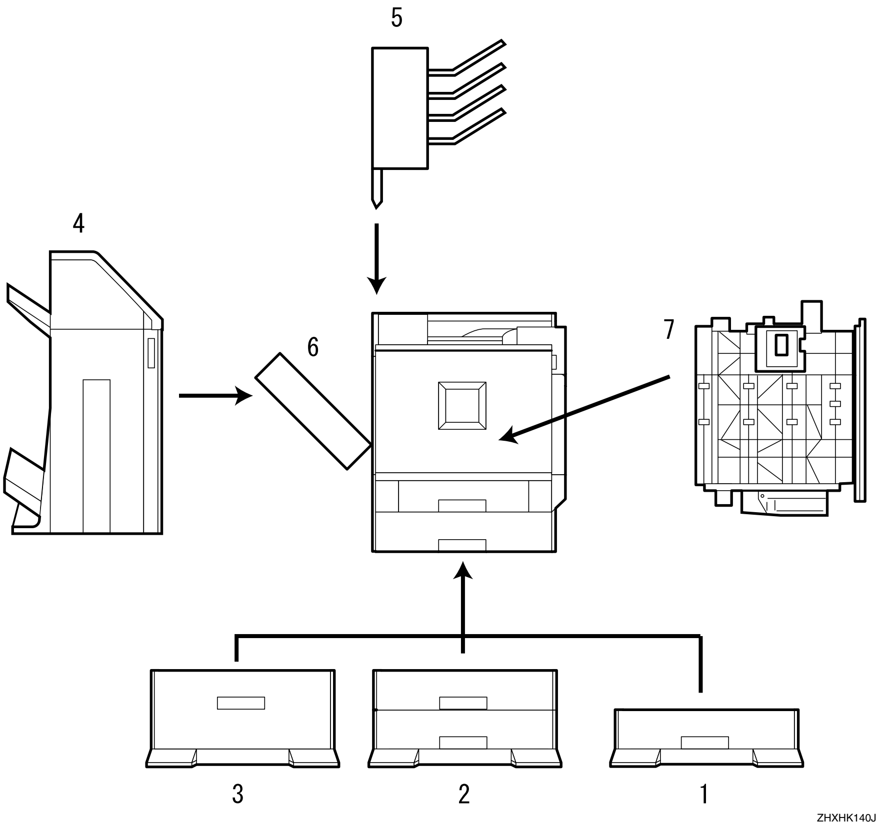
5 アカウント拡張モジュールを取り付ける ▼	コントローラーボードのアカウント拡張モジュール用スロットに取り付けます。
6 拡張HDDを取り付ける ▼	コントローラーボードの拡張HDD用スロットに取り付けます。
7 両面印刷ユニットを取り付ける ▼	両面反転ユニットをプリンター本体の左側面に、両面搬送ユニットをプリンター本体の内部に取り付けます。
8 2000枚フィニッシャーを取り付ける ▼	プリンター本体の左側面に取り付けます。 オプションの給紙テーブルと両面印刷ユニットの両方を取り付けなければ、2000枚フィニッシャーを取り付けることはできません。 4ビンプリントポストを取り付ける場合は、2000枚フィニッシャーを取り付けることはできません。
9 4ビンプリントポストを取り付ける	プリンター本体の上部のカバーを取り外して取り付けます。 2000枚フィニッシャーを取り付けている場合は、4ビンプリントポストを取り付けることはできません。

*1 **手差しトレイを含みます。**

オプションを取り付ける位置は、次のとおりです。

4

❖ 外部



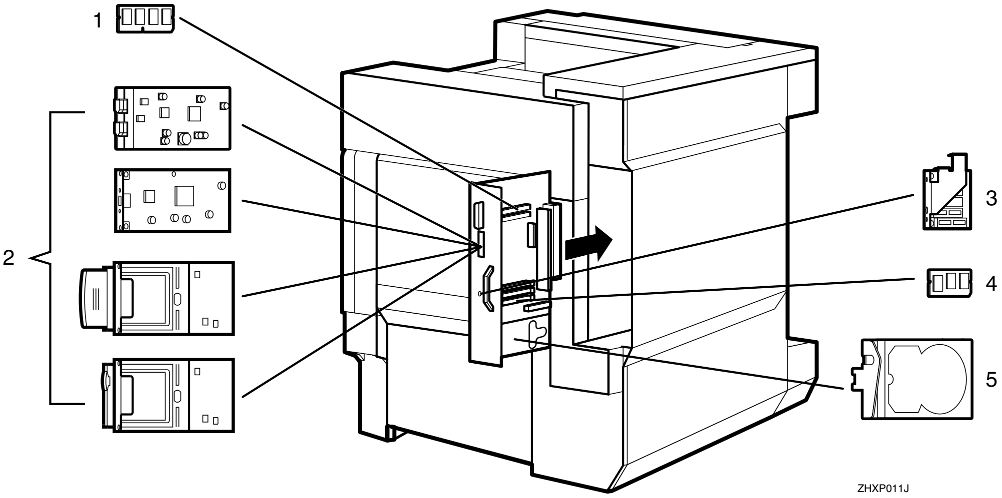
1. **500枚給紙テーブル**
   最大550枚（550枚×1段）の用紙をセットできます。
   ⇒ P.38 「500枚給紙テーブルを取り付ける」
2. **1000枚給紙テーブル**
   最大1100枚（550枚×2段）の用紙をセットできます。
   ⇒ P.40「1000枚給紙テーブルを取り付ける」
3. **2000枚給紙テーブル**
   最大2000枚（2000枚×1段）の用紙をセットできます。
   ⇒ P.43「2000枚給紙テーブルを取り付ける」
4. **2000枚フィニッシャー**
   複数部の印刷用紙を仕分けることができます。ステープルしたり、パンチ穴をあけることもできます。プリンター本体の左側面に取り付けます。
   ⇒ P.81「2000枚フィニッシャーを取り付ける」
5. **4ビンプリントポスト**
   個人あるいは部署単位などで排紙先を分けることができます。プリンター本体の上部に取り付けます。
   ⇒ P.87 「4ビンプリントポストを取り付ける」
6. **両面印刷ユニット（反転ユニット）**
   両面印刷時に紙を反転させるためのユニットです。プリンター本体の左側面に取り付けます。
   ⇒ P.74 「両面印刷ユニットを取り付ける」
7. **両面印刷ユニット（搬送ユニット）**
   両面印刷時に紙を搬送するためのユニットです。プリンター本体の内部に取り付けます。
   ⇒ P.74 「両面印刷ユニットを取り付ける」

4

重要

- ❒ 2000枚フィニッシャーを取り付ける場合は、必ずオプションの給紙テーブルと両面印刷ユニットの両方を取り付けてください。
- ❒ 2000枚フィニッシャーと4ビンプリントポストを同時に取り付けることはできません。

❖ 内部



1. **SDRAMモジュール**

コントローラーボードのスロットに、3種類（64、128、256Mバイト）のモジュールのうち1枚を取り付けます。

⇒ P.46 「SDRAMモジュールを取り付ける」

2. **拡張1394ボード/拡張USB2.0ボード/拡張無線LANボード/ワイヤレスインターフェースボード**

⇒ P.50 「拡張1394ボードを取り付ける」

⇒ P.55 「拡張USB2.0ボードを取り付ける」

⇒ P.58「拡張無線LANボードを取り付ける」

⇒ P.64 「ワイヤレスインターフェースボードを取り付ける」

3. **アカウント拡張モジュール**

⇒ P.68「アカウント拡張モジュールを取り付ける」

4. **拡張エミュレーション**

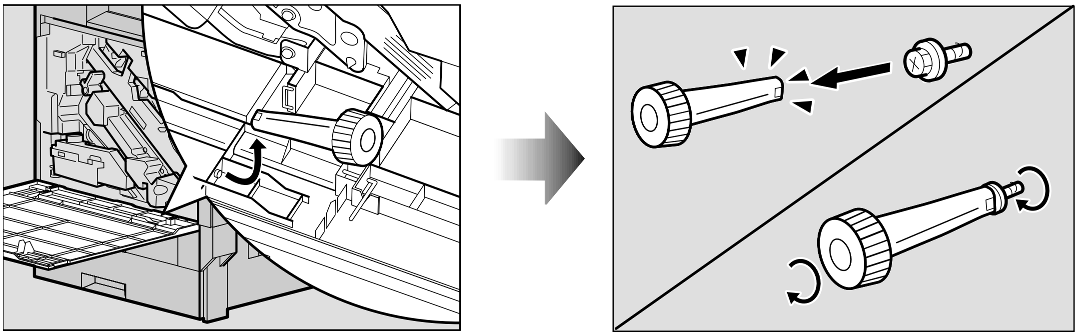
⇒ P.48「拡張エミュレーションモジュールを取り付ける」

5. **拡張HDD**

⇒ P.71 「拡張HDDを取り付ける」

専用ねじ回しの使い方

オプションの取り付けに使用する専用ねじ回しが、プリンター本体の前カバーに収納されています。ねじを専用ねじ回しに押し込むと、ねじを落とさずに作業することができます。



ZHXH170J

補足

- ❒ 使用後の専用ねじ回しは、プリンター本体の前カバーに保管しておいてください。

給紙テーブルを取り付ける

重要

- ❒ 複数のオプションを取り付けるときは、最初に給紙テーブルを取り付けてください。
- ❒ 給紙テーブルの取り付け作業は、4人で行います。人員を確保してから、作業を開始してください。

⚠注意

- プリンター本体は約 85kg あります。機械を移動するときは、両側面にある取っ手を4人で持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。

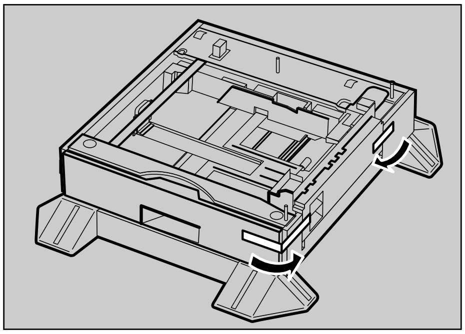
500枚給紙テーブルを取り付ける

⚠注意

- 500枚給紙テーブルは約17kgあります。給紙テーブルを移動するときは、両側面の下部を持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。

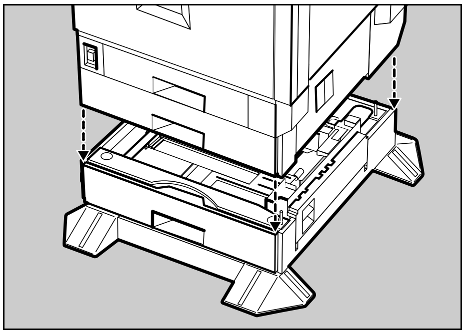
1 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

2 固定用テープを取り除きます。



ZDJP004J

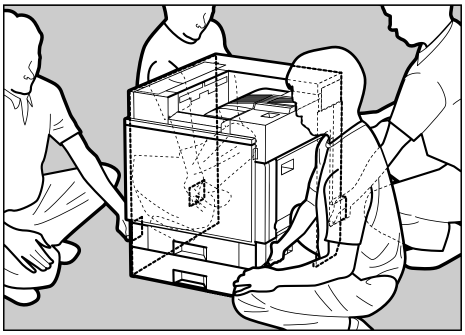
3 プリンター本体と 500 枚給紙テーブルの前後左右4個所の角を合わせて、給紙テーブルの上にプリンター本体をゆっくりと載せます。



ZDJP006J

重要

- ❒ プリンター本体は側面の取っ手を持ち、4人で移動させてください。

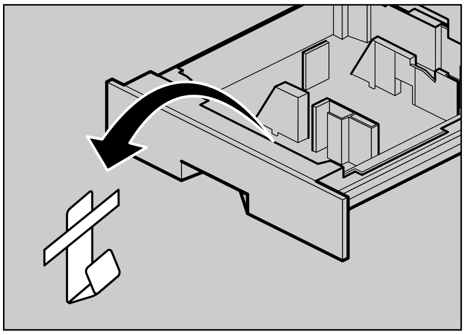


ZDJPK007J

4 500枚給紙テーブルのトレイを開けます。

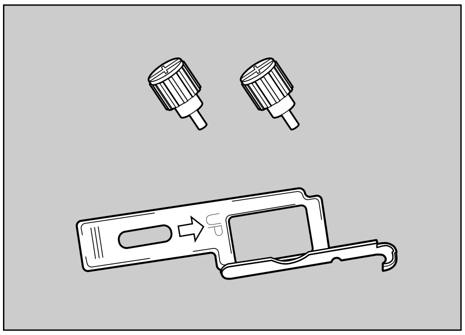
❶ 用紙（1枚）と用紙を固定しているテープ（1本）を取り除きます。

❷ トレイの内側(図の位置)に固定されている固定用テープ（1本）とダンボール（1枚）を取り除きます。



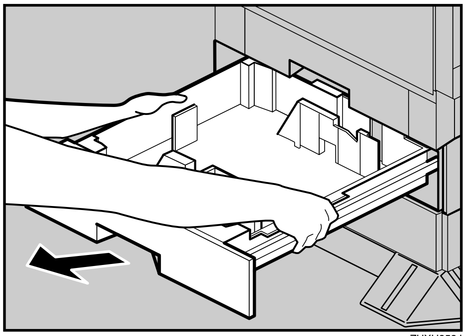
ZDJX801J

5 同梱品を取り出し、つまみねじ（2本）、取り付け金具（1個）がそろっていることを確認します。確認後、500枚給紙テーブルのトレイをしっかりと閉めます。



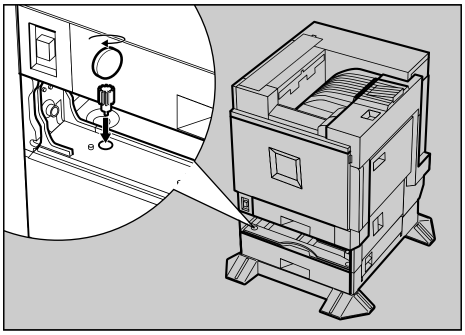
ZDJP005J

6 給紙トレイ2（標準）をゆっくりと引き出し、少し持ち上げて引き抜きます。



ZHXH852J

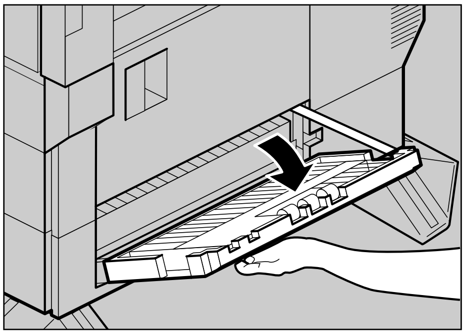
7 つまみねじ（1本）で固定します。コインを使って、しっかり固定してください。



ZDJPK009J

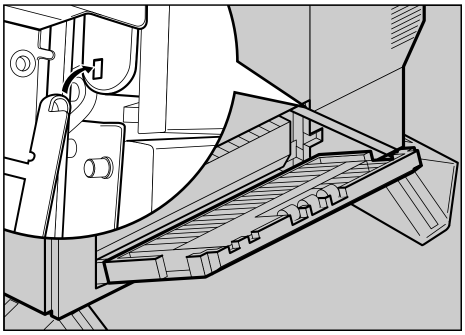
8 給紙トレイ2（標準）をゆっくりと奥まで押し込みます。

9 500枚給紙テーブルの右カバーを開けます。



ZHXH860J

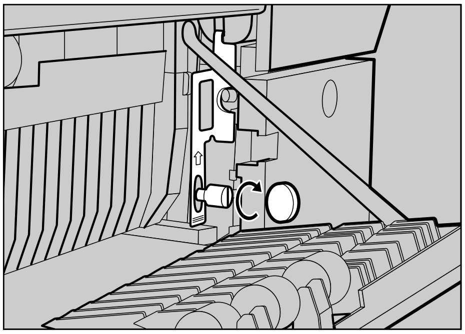
10 図の位置にある穴に、取り付け金具のフックを引っ掛けます。



ZHXH870J

4

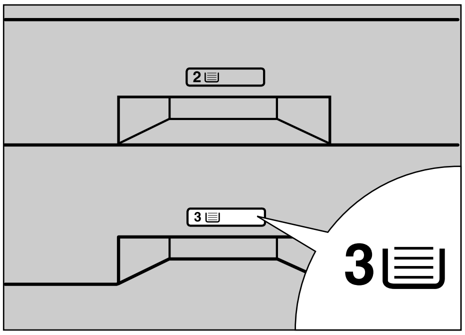
11 つまみねじ（1本）で、取り付け金具を固定します。コインを使って、しっかり固定してください。



ZDJP012J

12 500枚給紙テーブルの右カバーを閉めます。

13 給紙トレイ番号「3」のシールを、500枚給紙テーブル前面の取っ手の上に貼り付けます。



ZDJP126J

補足

- ❒ 500枚給紙テーブルが正しく取り付けられたかどうかは、本書に記載されているトナーや用紙セットなどの設置が終了した後、電源を入れてシステム設定リストを印刷して確認します。システム設定リストの「システム構成情報」の項目で確認することができます。500枚給紙テーブルが正しく取り付けられているときは、「オプション機器」の欄に「500枚給紙テーブル」と記載されます。
- ❒ 正しく取り付けられていない場合は、手順**1**からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。

参照

システム設定リストを印刷する方法については、P.24「テスト印刷する」を参照してください。

用紙をセットする方法については P.20「用紙をセットする」を参照してください。

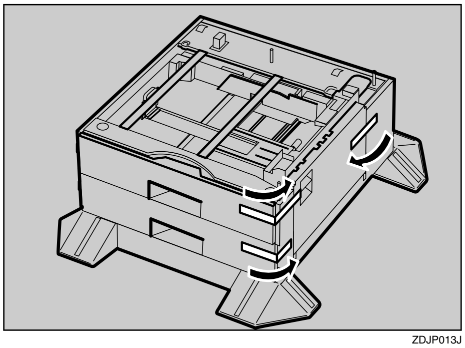
1000枚給紙テーブルを取り付ける

⚠注意

- 1000枚給紙テーブルは約22kgあります。給紙テーブルを移動するときは、両側面の下部を持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。

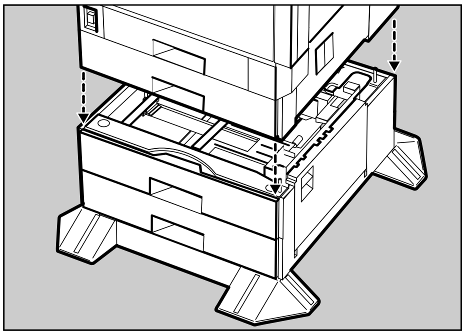
1 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

2 固定用テープを取り除きます。



ZDJP013J

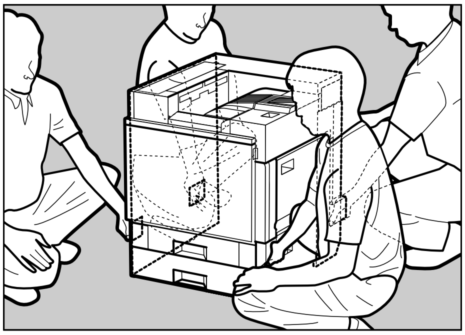
3 **プリンター本体と1000枚給紙テーブルの前後左右4個所の角を合わせて、給紙テーブルの上にプリンター本体をゆっくりと載せます。**



ZDJP014J

重要

- ❒ プリンター本体は側面の取っ手を持ち、4人で移動させてください。

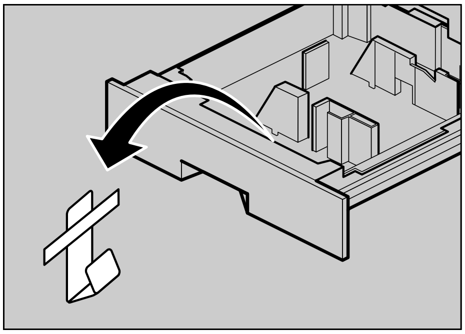


ZDJPK007J

4 **1000枚給紙テーブルのトレイを開けます。**

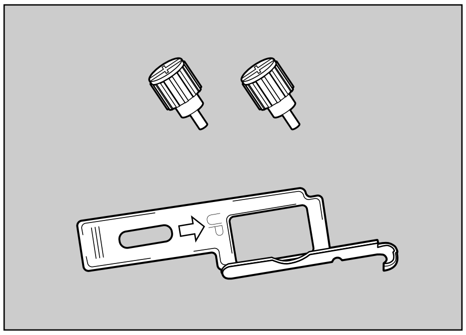
❶ **上下それぞれのトレイから、用紙を固定しているテープ（1本）と用紙（1枚）を取り除きます。**

❷ **上下それぞれのトレイから、トレイの内側（図の位置）にある固定用テープ（1本）とダンボール（1枚）を取り除きます。**



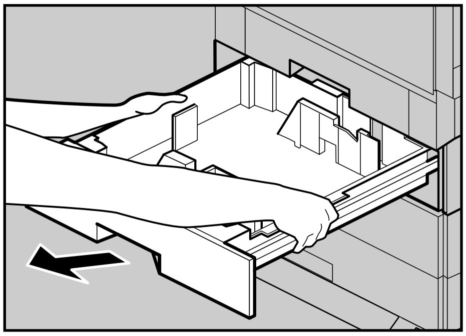
ZDJX801J

5 **同梱品を取り出し、つまみねじ（2本）、取り付け金具（1個）がそろっていることを確認します。確認後、1000枚給紙テーブルの上下のトレイをしっかりと閉めます。**



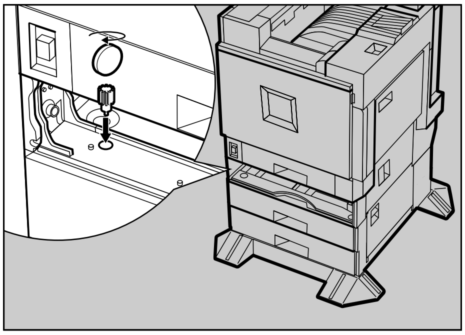
ZDJP005J

6 **給紙トレイ2（標準）をゆっくりと引き出し、少し持ち上げて引き抜きます。**



ZHXH853J

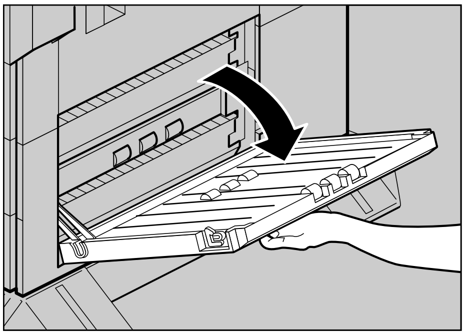
7 つまみねじ（1本）で固定します。コインを使って、しっかり固定してください。



ZDJPK015J

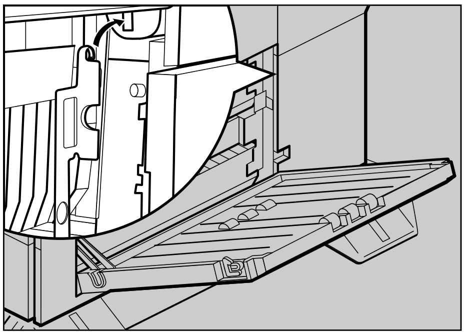
8 給紙トレイ2（標準）をゆっくりと奥まで押し込みます。

9 1000 枚給紙テーブルの右カバーを開けます。



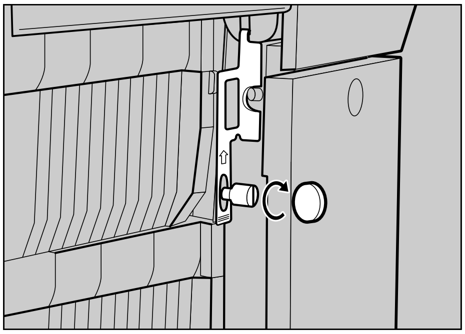
ZHXH050N

10 図の位置にある穴に、取り付け金具のフックを引っ掛けます。



ZHXH060N

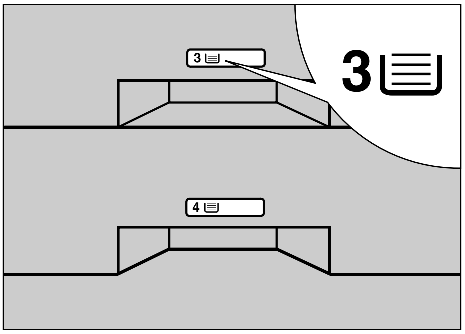
11 つまみねじ（1本）で、取り付け金具を固定します。コインを使って、しっかり固定してください。



ZDJP018J

12 1000 枚給紙テーブルの右カバーを閉めます。

13 給紙トレイ番号「3」「4」のシールを、1000枚給紙テーブル前面の取っ手の上に貼り付けます。



ZDJP127J

補足

- ❒ 1000枚給紙テーブルが正しく取り付けられたかどうかは、本書に記載されているトナーや用紙セットなどの設置が終了した後、電源を入れて、システム設定リストを印刷して確認します。システム設定リストの「システム構成情報」の項目で確認することができます。1000枚給紙テーブルが正しく取り付けられているときは、「オプション機器」の欄に「1000枚給紙テーブル」と記載されます。
- ❒ 正しく取り付けられていない場合は、手順1からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。

参照

システム設定リストを印刷する方法については、P.24「テスト印刷する」を参照してください。

用紙をセットする方法については、P.20「用紙をセットする」を参照してください。

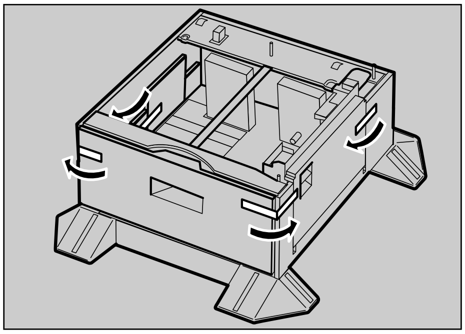
2000枚給紙テーブルを取り付ける

⚠注意

- 2000枚給紙テーブルは約24kgあります。給紙テーブルを移動するときは、両側面の下部を持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。

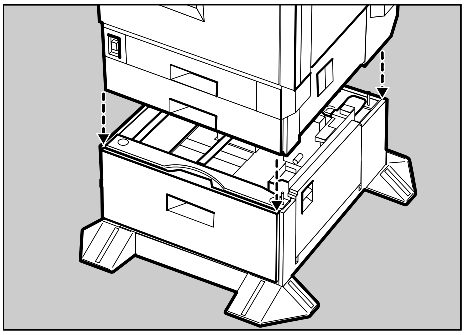
1 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

2 固定用テープを取り除きます。



ZDJP019J

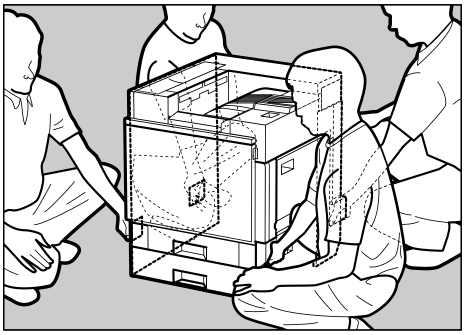
3 プリンター本体と2000枚給紙テーブルの前後左右4個所の角を合わせて、給紙テーブルの上にプリンター本体をゆっくりと載せます。



ZDJP020J

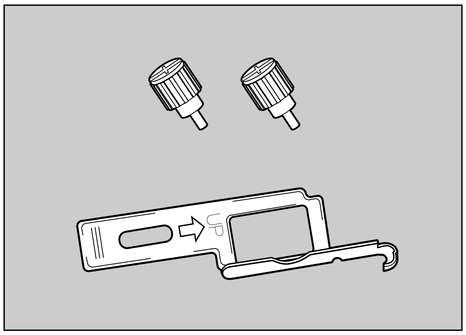
重要

❒ プリンター本体は側面の取っ手を持ち、4人で移動させてください。



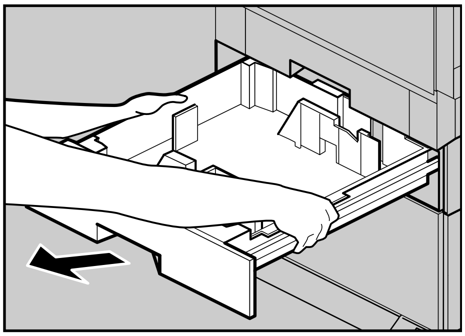
ZDJPK007J

4 同梱品を取り出し、つまみねじ（2本）、取り付け金具（1個）がそろっていることを確認します。確認後、2000枚給紙テーブルのトレイをしっかりと閉めます。



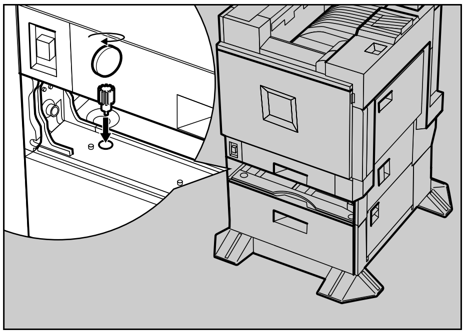
ZDJP005J

5 給紙トレイ2（標準）をゆっくりと引き出し、少し持ち上げて引き抜きます。



ZHXH851J

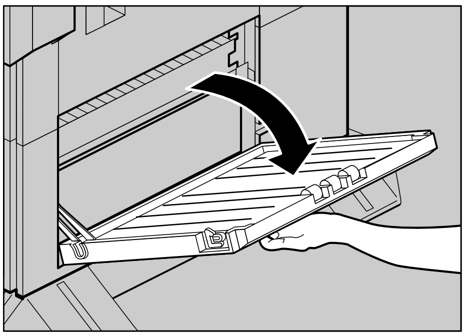
6 つまみねじ（1本）で固定します。コインを使って、しっかり固定してください。



ZDJPK021J

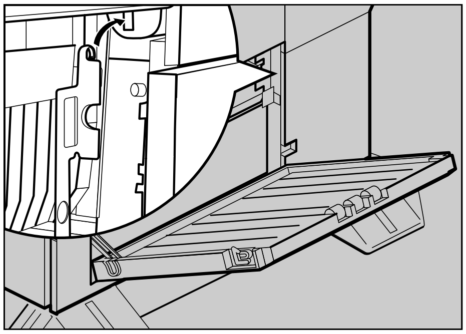
7 給紙トレイ2（標準）をゆっくりと奥まで押し込みます。

8 2000 枚給紙テーブルの右カバーを開けます。



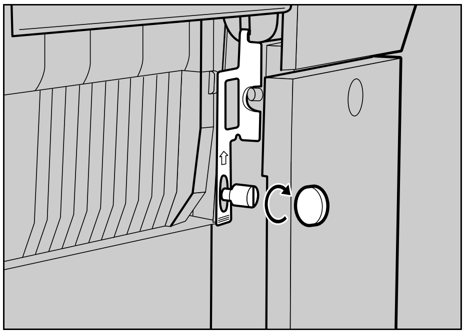
ZHXH070N

9 図の位置にある穴に、取り付け金具のフックを引っ掛けます。



ZHXH080N

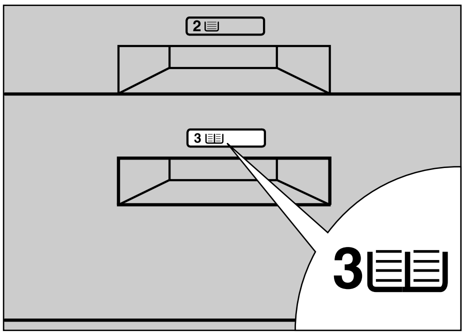
10 つまみねじ（1本）で、取り付け金具を固定します。コインを使って、しっかり固定してください。



ZDJP024J

11 2000 枚給紙テーブルの右カバーを閉めます。

12 給紙トレイ番号「3」のシールを、2000枚給紙テーブル前面の取っ手の上に貼り付けます。



ZDJP128J

補足

- ❒ 2000枚給紙テーブルが正しく取り付けられたかどうかは、本書に記載されているトナーや用紙セットなどの設置が終了した後、電源を入れてシステム設定リストを印刷して確認します。システム設定リストの「システム構成情報」の項目で確認することができます。2000枚給紙テーブルが正しく取り付けられているときは、「オプション機器」の欄に「2000枚給紙テーブル」と記載されます。
- ❒ 正しく取り付けられていない場合は、手順1からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。

参照

システム設定リストを印刷する方法については、P.24「テスト印刷する」を参照してください。

用紙をセットする方法については　P.20「用紙をセットする」を参照してください。

SDRAMモジュールを取り付ける

重要

- ❒ SDRAM モジュールに触れる前に金属製の物に触れて、身体に帯びた静電気を除いてください。
- ❒ SDRAM モジュールに物理的衝撃を与えないでください。

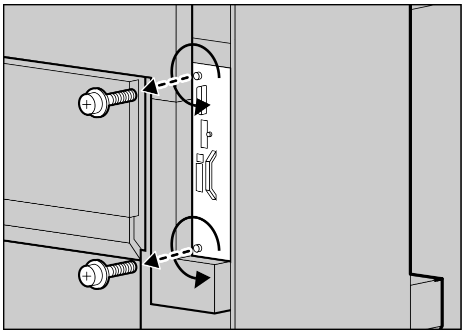
1 本機の電源を切ります。

2 プリンター本体の前カバーをゆっくりと開け、緑色の専用ねじ回しを取り出し、前カバーを閉めます。

参照

詳しくは、P.37「専用ねじ回しの使い方」を参照してください。

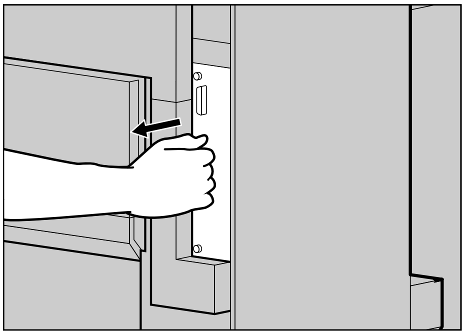
3 専用ねじ回しを使って、プリンター本体の背面にあるコントローラーボードを固定している2本のねじを外します。



ZDJP025J

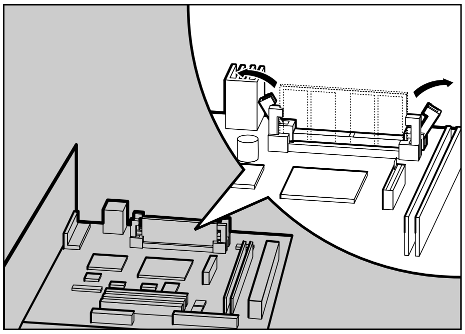
取り外したねじは、コントローラーボードを固定するときに使用します。

4 取っ手を持ち、コントローラーボードをゆっくりと引き抜きます。



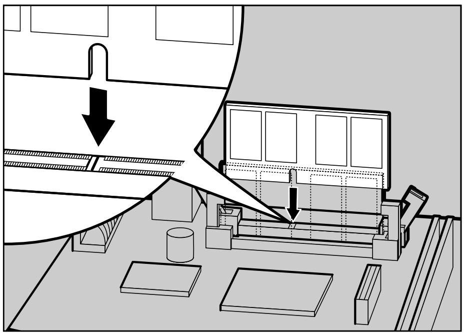
ZDJP025J

5 空いているスロットの左右にあるロックを開きます。



ZDJP027J

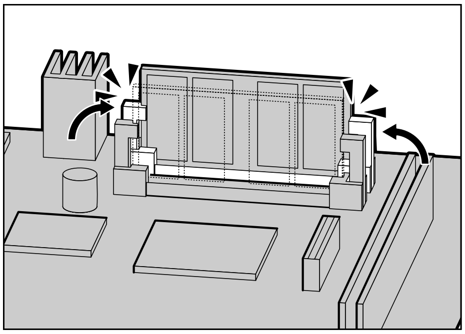
6 SDRAM モジュールの切り欠きとスロットの凸部分を合わせて、SDRAM モジュールを垂直に差し込みます。



ZDJP028J

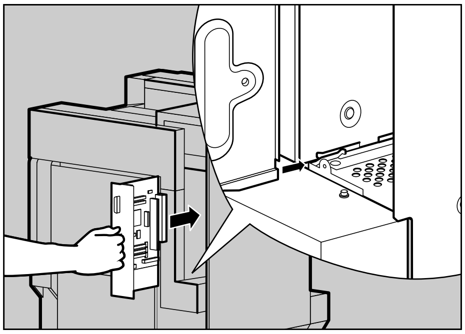
4

7 左右のロックにはさまれるまで、SDRAMモジュールをしっかり真上から押し込みます。



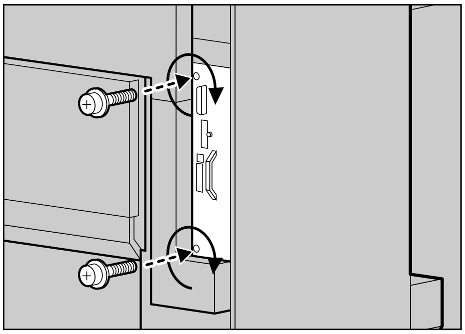
ZDJP029J

8 コントローラーボードを上下のレールに合わせて、突き当たるまでゆっくりと押し込みます。



ZDJP030J

9 専用ねじ回しを使ってねじを2本締め、コントローラーボードを固定します。



ZDJP031J

補足

- ❒ 使用後の専用ねじ回しは、プリンター本体の前カバーに保管しておいてください。
- ❒ SDRAMモジュールが正しく取り付けられたかどうかは、本書に記載されているトナーや用紙セットなどの設置が終了した後、電源を入れてシステム設定リストを印刷して確認します。システム設定リストの「システム構成情報」の項目で確認することができます。SDRAMモジュールが正しく取り付けられているときは、「搭載メモリ」の欄に搭載しているメモリの合計容量が記載されます。
- ❒ 正しく取り付けられていない場合は、取り付け手順の 1 からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。

参照

システム設定リストを印刷する方法については、P.24「テスト印刷する」を参照してください。

拡張エミュレーションモジュールを取り付ける

重要

- ❒ 拡張エミュレーションモジュールに触れる前に金属製の物に触れて、身体に帯びた静電気を除いてください。
- ❒ 拡張エミュレーションモジュールに物理的衝撃を与えないでください。

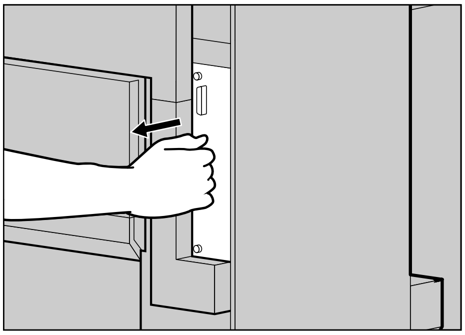
1 本機の電源を切ります。

2 プリンター本体の前カバーをゆっくりと開け、緑色の専用ねじ回しを取り出し、前カバーを閉めます。

参照

詳しくは、P.37「専用ねじ回しの使い方」を参照してください。

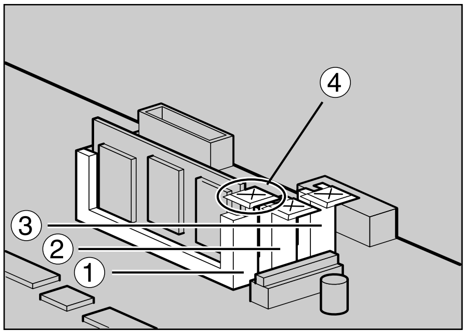
3 取っ手を持ち、コントローラーボードをゆっくりと引き抜きます。



ZDJP025J

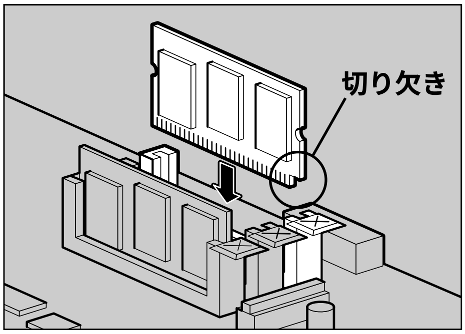
拡張エミュレーションモジュール用のスロットは3つあります。図のように、ボタン（④）を右側にして一番手前のスロット（①）は使用されています。新しい拡張エミュレーションモジュールは、一番奥のスロット（③）にセットしてください。

モノクロエミュレーションモジュールは、③のスロットが PS3 モジュールなどで使用されている場合に、中央のスロット（②）にセットすることができます。



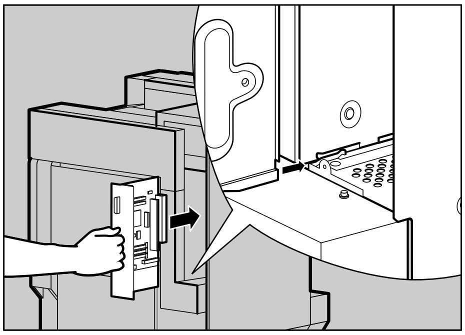
ZHXP104J

4 拡張エミュレーションの切り欠きが、スロットのボタン側にくるように持ち、一番奥のスロットに垂直に差し込みます。スロットのボタンが上がり、しっかり固定されるまで押し込みます。



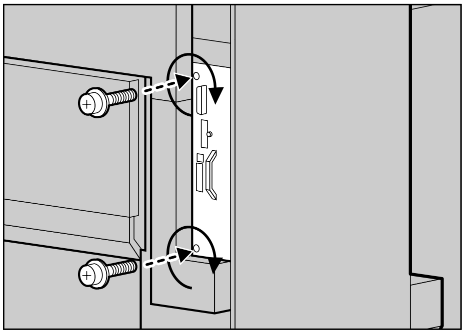
ZDJP032J

5 コントローラーボードを上下のレールに合わせて、突き当たるまでゆっくりと押し込みます。



ZDJP030J

6 専用ねじ回しを使って2本のねじを締め、コントローラーボードを固定します。



ZDJP031J

補足

- ❒ 使用後の専用ねじ回しは、プリンター本体の前カバーに保管しておいてください。
- ❒ 拡張エミュレーションモジュールが正しく取り付けられたかどうかは、本書に記載されているトナーや用紙セットなどの設置が終了した後、電源を入れてシステム設定リストを印刷して確認します。システム設定リストの「システム構成情報」の項目で確認することができます。拡張エミュレーションモジュールが正しく取り付けられているときは、「搭載エミュレーション」の欄に名称が記載されます。
- ❒ 正しく取り付けられていない場合は、取り付け手順の1からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。

参照

システム設定リストを印刷する方法については、P.24「テスト印刷する」を参照してください。

4

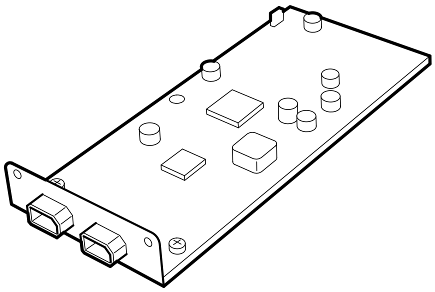
拡張1394ボードを取り付ける

重要

- ❒ 拡張1394ボードを取り付けたプリンターで印刷できるOSはWindows 2000、Windows XP、Windows Meです。Windows95/98では、拡張1394ボードを取り付けたプリンターでの印刷はできません。プラグ＆プレイの画面が表示されたときは、[キャンセル]をクリックしてください。
- ❒ 拡張1394ボードに触れる前に金属製の物に触れて、身体に帯びた静電気を除いてください。
- ❒ 拡張1394ボードに物理的衝撃を与えないでください。
- ❒ インターフェースケーブルは、拡張1394ボードに同梱のケーブルをご使用ください。

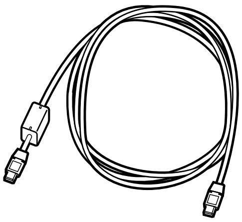
1 同梱品を確認します。

❖ **拡張1394ボード**

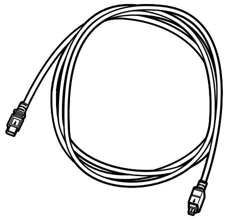


ZHBP400E

❖ **インターフェースケーブル（6ピン×6ピン）**



❖ **インターフェースケーブル（6ピン×4ピン）**



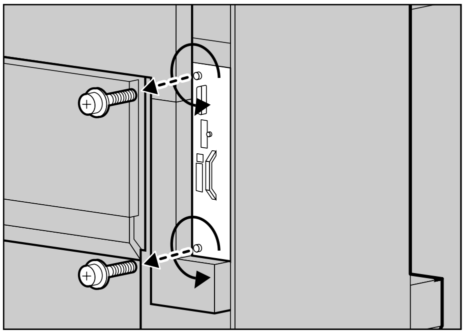
2 本機の電源を切ります。

3 プリンター本体の前カバーをゆっくりと開け、緑色の専用ねじ回しを取り出し、前カバーを閉めます。

参照

詳しくは、P.37「専用ねじ回しの使い方」を参照してください。

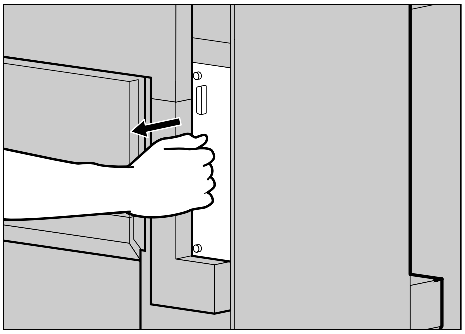
4 専用ねじ回しを使って、プリンター本体の背面にあるコントローラーボードを固定している2本のねじを外します。



ZDJP025J

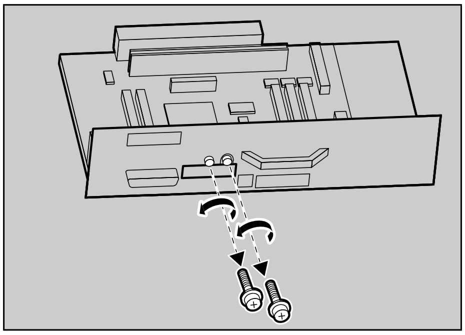
取り外したねじはコントローラーボードを固定するときに使用します。

5 取っ手を持ち、コントローラーボードをゆっくりと引き抜きます。



ZDJP025J

6 専用ねじ回しを使って、ねじを外してから、拡張1394ボード取り付け部のカバーを外します。

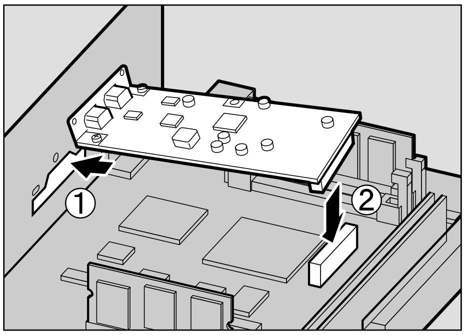


ZHXP140J

補足

- 取り外したねじは手順8で使います。

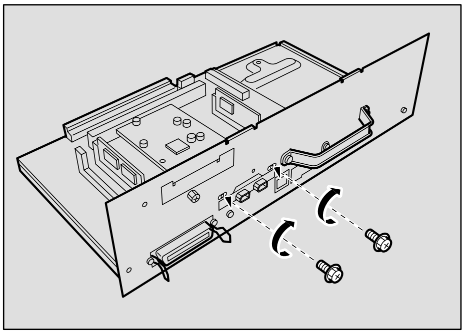
7 拡張1394ボードをコントローラーボードに取り付けます。拡張1394ボードの先端部を取り付け部に差し込み（①）、矢印の方向に押し込んで（②）、コントローラーボードに接続します。



ZHXP040J

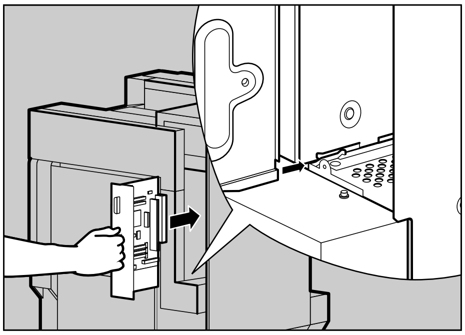
拡張1394ボードを奥まで押し込んで、コントローラーボードとしっかり接続していることを確認してください。

8 専用ねじ回しを使って手順6で取り外した2本のねじを締め、拡張1394ボードを固定します。



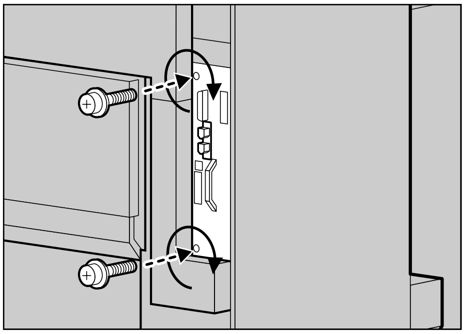
ZHXP131J

9 コントローラーボードを上下のレールに合わせて差し込み、突き当たるまでゆっくりと押し込みます。



ZDJP030J

10 専用ねじ回しを使ってねじを2本締め、コントローラーボードを固定します。



ZDJP803J

補足

- ❒ 使用後の専用ねじ回しは、プリンター本体の前カバーに保管しておいてください。
- ❒ 拡張 1394 ボードが正しく取り付けられたかどうかは、本書に記載されているトナーや用紙セットなどの設置が終了した後、電源を入れてシステム設定リストを印刷して確認します。システム設定リストの「システム構成情報」の項目で確認することができます。拡張1394ボードが正しく取り付けられているときは、「コントローラオプション」の欄に「IEEE1394」と記載されます。
- ❒ 正しく取り付けられていない場合は､取り付け手順の1からやり直してください｡それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。

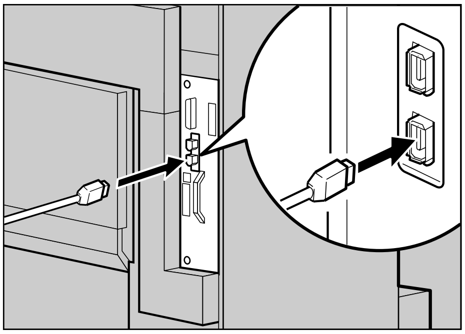
参照

システム設定リストを印刷する方法については、P.24「テスト印刷する」を参照してください。

取り外した部品は、販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。なお、お客様で処理される場合は、一般のプラスチック廃棄物と同様に処理してください。

拡張1394ボードにケーブルを接続する

1 拡張 1394 ボードのコネクターに IEEE1394 インターフェースケーブルの一方のコネクターを接続します。



ZDJP500J

補足

- ❒ コア付きのインターフェースケーブルを使うときは、コアに近い方のコネクターを拡張 1394 ボードのコネクターに接続してください。
- ❒ 拡張 1394 ボードのコネクターは上下どちらでも接続可能です。

2 パソコンにケーブルのもう一方を接続します。

IEEE 1394を使用するときの設定

IEEE 1394を使用するときに、プリンターの操作パネルから必要な項目を設定します。

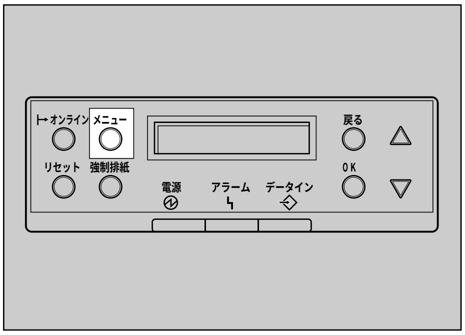
設定できる項目と工場出荷時の値は次のとおりです。

項目名	工場出荷時
1.IPアドレス	000.000.000.000
2.サブネットマスク	000.000.000.000
3.IP over 1394	ユウコウ
4.SCSI print	ユウコウ
5.SCSIprntソウホウコウ	スル

ご使用になる接続方法によって、操作パネルからの設定手順が異なります。次の手順番号にしたがって設定してください。

IP over 1394	1～7▶12～13
SCSI print	1～3▶8～13

1 操作パネルの【メニュー】キーを押します。



ZESS001J

メニュー画面が表示されます。

2 【▲】または【▼】キーを押して、「インターフェースセッテイ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<メニュー>
 インターフェースセッテイ
```

インターフェース設定画面が表示されます。

3 【▲】または【▼】キーを押して、「IEEE 1394セッテイ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<インターフェースセッテイ>
5.IEEE 1394セッテイ
```

IEEE 1394設定画面が表示されます。

4 【▲】または【▼】キーを押して、「IP over 1394」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<IEEE 1394セッテイ>
3.IP over 1394
```

IP over 1394設定画面が表示されます。

5 【▲】または【▼】キーを押して、有効か無効かを表示させ、【OK】キーを押します。

```
<IP over 1394>
*ユウコウ
```

設定が確定し、約2秒後に4の画面に戻ります。

6 プリンターに割り当てる IP アドレスを設定します。

制限

- ❒ ネットワーク設定と同じIPアドレス、または同じサブネットにあるIPアドレスを設定しないでください。

補足

- ❒ 設定するアドレスはネットワーク管理者に確認してください。

❶ **【▲】または【▼】キーを押して、「IPアドレス」を表示させ、【OK】キーを押します。**

```
<IEEE 1394セッテイ>
1.IPアドレス
```

現在設定されているIPアドレスが表示されます。

4

❷ **【▲】または【▼】キーを押して、最初のフィールドに値を入力し、【OK】キーを押します。**

<IPｱﾄﾞﾚｽ>
192.000.000.000

補足

- ❒ 変更の必要がないときは【**OK**】キーを押すと次のフィールドに移動します。
- ❒ 【**▲**】または【**▼**】キーを押し続けると、値が10ずつ変わります。
- ❒ ひとつ前のフィールドに移動するときは【**戻る**】キーを押します。

❸ **他のフィールドも同様に設定し、【OK】キーを押します。**

<IPｱﾄﾞﾚｽ>
192.168.000.010

設定が確定し、約2秒後に❶の画面に戻ります。

7 同様の手順で「サブネットマスク」を設定します。

8 必要に応じて「SCSI print」と「SCSIprnt ソウホウコウ」を設定します。

補足

- ❒ 工場出荷時の設定は「SCSI print」が「ユウコウ」、「SCSIprntソウホウコウ」が「スル」です。

9 【▲】または【▼】キーを押して、「SCSI print」を表示させ、【OK】キーを押します。

<IEEE 1394ｾｯﾃｲ>
4.SCSI print

10 【▲】または【▼】キーを押して、有効か無効かを表示させ、【OK】キーを押します。

11 同様の手順で「SCSIprntソウホウコウ」を設定します。

12 【オンライン】キーを押します。

通常の画面に戻ります。

13 システム設定リストを印刷して、設定した内容を確認します。

参照

システム設定リストを印刷する方法については、P.24「テスト印刷する」を参照してください。

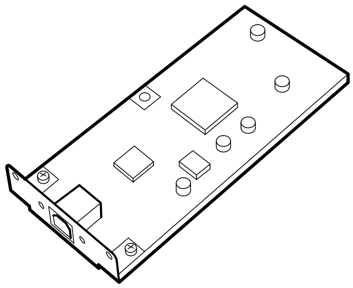
拡張USB2.0ボードを取り付ける

重要

- ❒ 拡張USB2.0ボードを取り付けたプリンターでUSB接続は、Windows 98 SE/Me、Windows2000/XP、MacOS 9.x、MacOS X Classicに対応しています。
  - Windows 98 SE/Meの場合、「USB印刷サポート」をインストールしてください。Windows 98 SE/Meのサポート速度はUSB1.1相当です。
  - Macintoshでは本体標準のUSBポートのみ対応しています。
  - MacintoshでのサポートEE速度はUSB1.1相当です。
- ❒ 拡張USB2.0ボードに触れる前に金属製の物に触れて、身体に帯びた静電気を除いてください。
- ❒ 拡張USB2.0ボードに物理的衝撃を与えないでください。
- ❒ USB ケーブルはご使用になるパソコンに合わせて別途お買い求めください。

1 同梱品を確認します。

❖ **拡張USB2.0ボード**



ZHXP100J

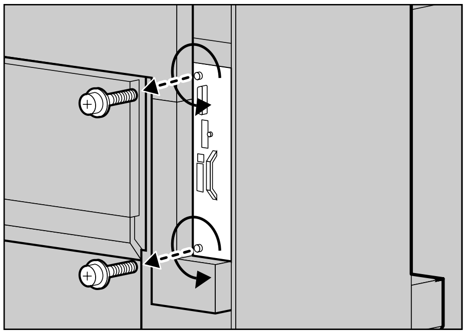
2 本機の電源を切ります。

3 プリンター本体の前カバーをゆっくりと開け、緑色の専用ねじ回しを取り出し、前カバーを閉めます。

参照

詳しくは、P.37「専用ねじ回しの使い方」を参照してください。

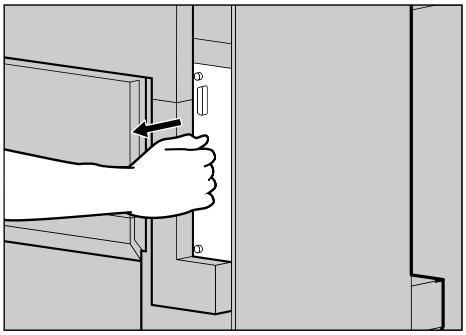
4 専用ねじ回しを使って、プリンター本体の背面にあるコントローラーボードを固定している2本のねじを外します。



ZDJP025J

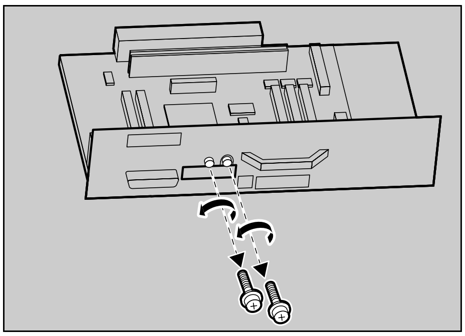
取り外したねじはコントローラーボードを固定するときに使用します。

5 取っ手を持ち、コントローラーボードをゆっくりと引き抜きます。



ZDJP025J

6 専用ねじ回しを使って、ねじを外してから、拡張USB2.0ボード取り付け部のカバーを外します。

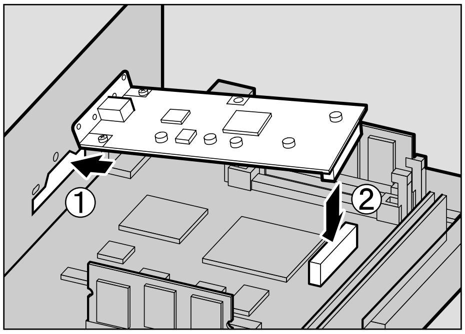


ZHXP140J

補足

- ❒ 取り外したねじは手順8で使います。

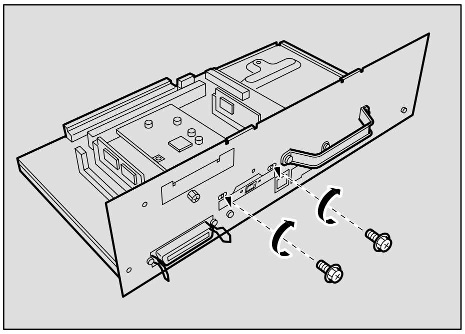
7 拡張USB2.0ボードをコントローラーボードに取り付けます。拡張USB2.0ボードの先端部を取り付け部に差し込み（①）、矢印の方向に押し込んで（②）、コントローラーボードに接続します。



ZHXP020J

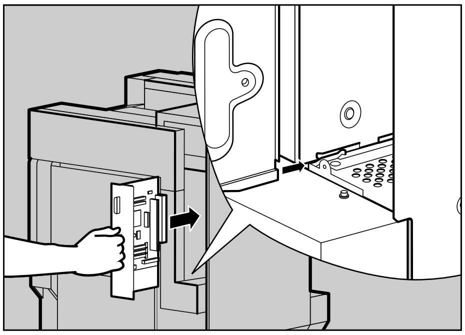
拡張USB2.0ボードを奥まで押し込んで、コントローラーボードとしっかり接続していることを確認してください。

8 専用ねじ回しを使って手順6で取り外した2本のねじを締め、拡張USB2.0ボードを固定します。



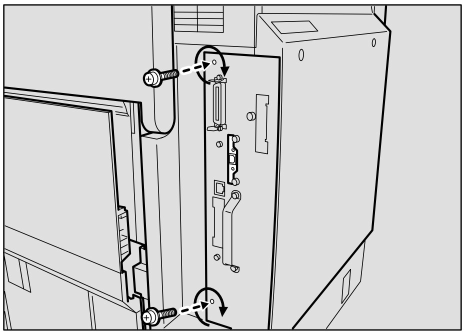
ZHXP132J

9 コントローラーボードを上下のレールに合わせて差し込み、突き当たるまでゆっくりと押し込みます。



ZDJP030J

10 専用ねじ回しを使ってねじを2本締め、コントローラーボードを固定します。



ZHXH881J

補足

- ❒ 使用後の専用ねじ回しは、プリンター本体の前カバーに保管しておいてください。
- ❒ 拡張USB2.0ボードが正しく取り付けられたかどうかは、本書に記載されているトナーや用紙セットなどの設置が終了した後、電源を入れてシステム設定リストを印刷して確認します。システム設定リストの「システム構成情報」の項目で確認することができます。拡張USB2.0ボードが正しく取り付けられているときは、「コントローラオプション」の欄に「USB」と記載されます。
- ❒ 正しく取り付けられていない場合は、取り付け手順の1からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。

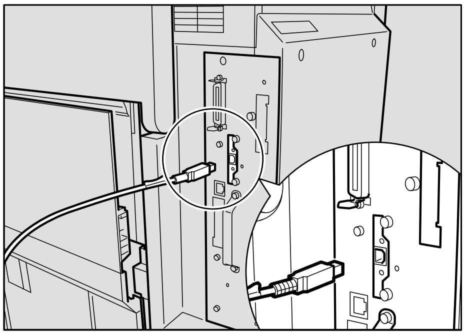
参照

システム設定リストを印刷する方法については、P.24「テスト印刷する」を参照してください。

取り外した部品は、販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。なお、お客様で処理される場合は、一般のプラスチック廃棄物と同様に処理してください。

拡張USB2.0ボードにケーブルを接続する

1 拡張USB2.0ボードのコネクターに、USBケーブルの小さい方のコネクターを接続します。



2 もう一方をパソコンの USB インターフェース、USBハブなどに接続します。

拡張無線LANボードを取り付ける

重要

- ❒ 拡張無線 LAN ボードに触れる前に金属製の物に触れて、身体に帯びた静電気を除いてください。
- ❒ 拡張無線 LAN ボードに物理的衝撃を与えないでください。

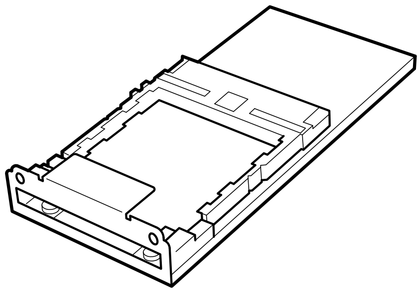
制限

- ❒ 拡張無線 LAN ボードと標準の Ethernet インターフェースを同時に使うことはできません。
- ❒ 電波状態が悪く印刷に支障がある場合は、別途に外部アンテナを増設してください。

1 同梱品を確認します。

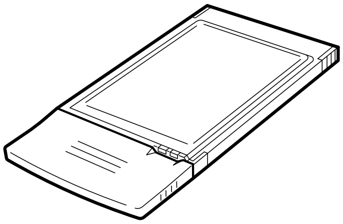
❖ **拡張無線LANボード**

インターフェースユニット



ZHBP410E

❖ **カード**



ZHXP240J

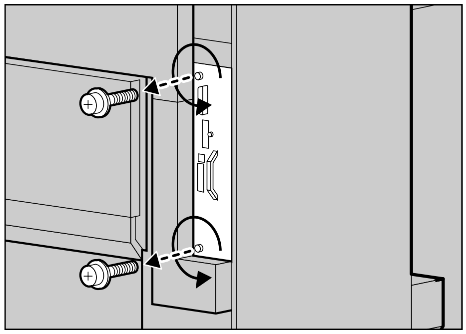
2 本機の電源を切ります。

3 プリンター本体の前カバーをゆっくりと開け、緑色の専用ねじ回しを取り出し、前カバーを閉めます。

参照

詳しくは、P.37「専用ねじ回しの使い方」を参照してください。

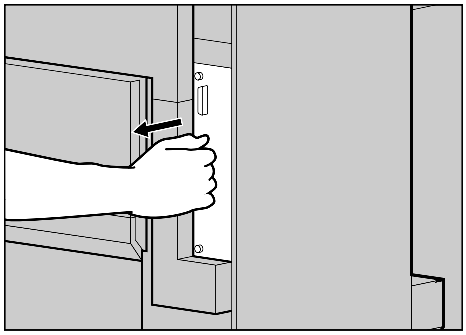
4 専用ねじ回しを使って、プリンター本体の背面にあるコントローラーボードを固定している2本のねじを外します。



ZDJP025J

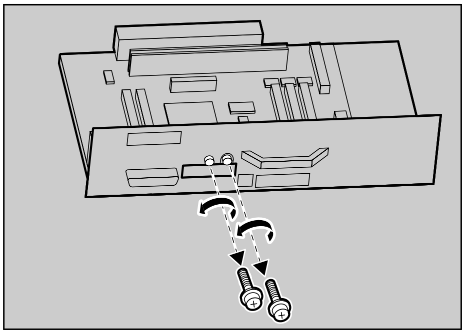
取り外したねじはコントローラーボードを固定するときに使用します。

5 取っ手を持ち、コントローラーボードをゆっくりと引き抜きます。



ZDJP025J

6 **専用ねじ回しを使って、ねじを外してから、拡張無線 LAN ボード取り付け部のカバーを外します。**

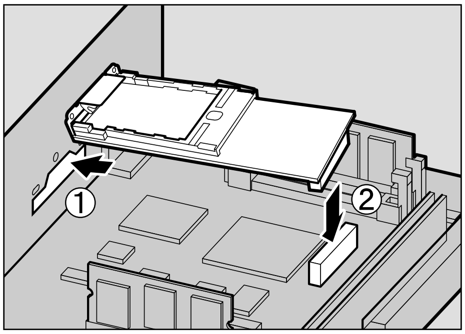


ZHXP140J

補足

❒ 取り外したねじは手順 **8** で使います。

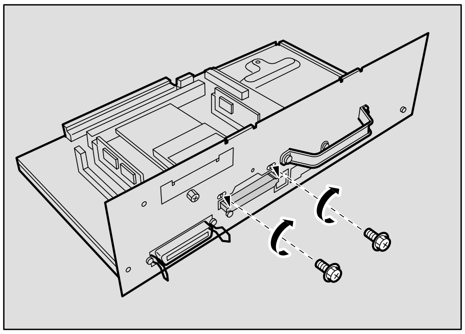
7 **拡張無線 LAN ボードをコントローラーボードに取り付けます。拡張無線LANボードの先端部を取り付け部に差し込み（①）、矢印の方向に押し込んで（②）、コントローラーボードに接続します。**



ZHXP030J

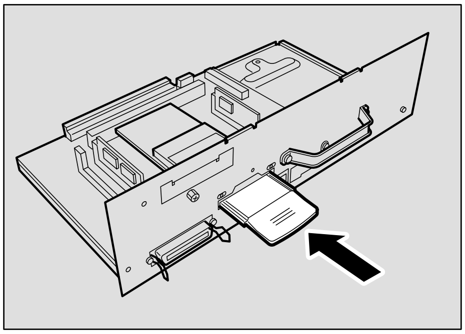
拡張無線LANボードを奥まで押し込んで、コントローラーボードとしっかり接続していることを確認してください。

8 **専用ねじ回しを使って手順 6 で取り外した2本のねじを締め、拡張無線LANボードを固定します。**



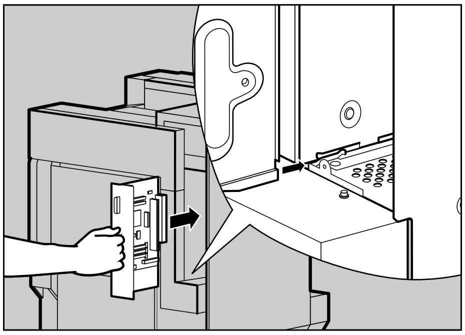
ZHXP130J

9 **拡張無線LANボードにカードを差し込み、突き当たるまでゆっくりと差し込みます。ラベル面を下（黒いアンテナ部分に凹凸のある方を上）にして、差し込みます。**



ZHXP050J

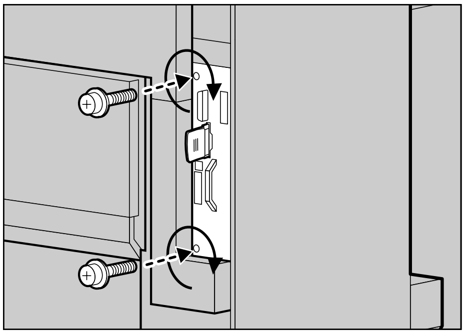
10 **コントローラーボードを上下のレールに合わせて差し込み、突き当たるまでゆっくりと押し込みます。**



ZDJP030J

4

11 **専用ねじ回しを使ってねじを2本締め、コントローラーボードを固定します。**



ZHXP200J

補足

- ❒ 使用後の専用ねじ回しは、プリンター本体の前カバーに保管しておいてください。
- ❒ 拡張無線LANボードが正しく取り付けられたかどうかは、本書に記載されているトナーや用紙セットなどの設置が終了した後、電源を入れてシステム設定リストを印刷して確認します。システム設定リストの「システム構成情報」の項目で確認することができます。拡張無線LANボードが正しく取り付けられているときは、「コントローラオプション」の欄に「IEEE 802.11b」と記載されます。
- ❒ 正しく取り付けられていない場合は、取り付け手順の**1**からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。

参照

システム設定リストを印刷する方法については、P.24「テスト印刷する」を参照してください。

取り外した部品は、販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。なお、お客様で処理される場合は、一般のプラスチック廃棄物と同様に処理してください。

無線LANを使用するときの設定

IEEE 802.11bを使用するときに必要な項目を設定します。

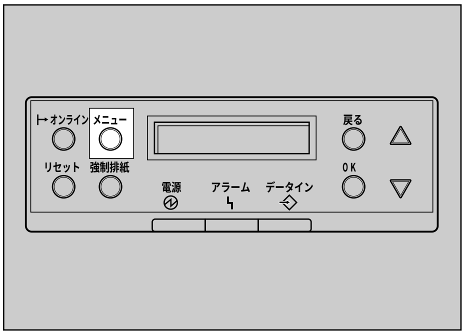
設定できる項目と工場出荷時の値は次のとおりです。

項目名	工場出荷時
1.ツウシンモード	802.11Ad hoc
2.チャンネル	(1〜14)　11
3.ツウシンソクド	ジドウセッテイ
4.SSID	入力値設定なし
5.WEPセッテイ	ムコウ

補足

- ❒ 無線LANを使用するには、「I/F選択」でIEEE802.11bを選択したあと、ネットワーク設定の「IP アドレス」「サブネットマスク」「ゲートウェイアドレス」「DHCP」「NW フレームタイプ」「有効プロトコル」を設定する必要があります。詳しくは、P.27「操作パネルから設定する」を参照してください。

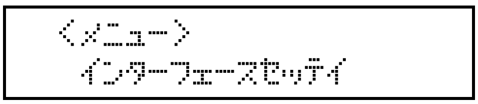
1 **操作パネルの【メニュー】キーを押します。**



ZESS001J

メニュー画面が表示されます。

2 **【▲】または【▼】キーを押して、「インターフェースセッテイ」を表示させ、【OK】キーを押します。**



インターフェース設定画面が表示されます。

3 【▲】または【▼】キーを押して、「IEEE 802.11b」を表示させ、【OK】キーを押します。

<ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽｾｯﾃｲ>
6. IEEE 802.11b

IEEE 802.11b設定画面が表示されます。

4 【▲】または【▼】キーを押して、「ツウシンモード」を表示させ、【OK】キーを押します。

<IEEE 802.11b>
1.ﾂｳｼﾝﾓｰﾄﾞ

ツウシンモード設定画面が表示されます。

5 【▲】または【▼】キーを押して、通信モードを選択し、【OK】キーを押します。

<ﾂｳｼﾝﾓｰﾄﾞ>
*802.11ｱﾄﾞﾎｯｸ

設定が確定し、約2秒後に4の画面に戻ります。

6 通信モードで「802.11 アドホック」または、「アドホック」を選択した場合は、通信に使用するチャンネルを設定します。

補足

- ❒ 設定するチャンネルはネットワーク管理者に確認してください。

7 【▲】または【▼】キーを押して、「チャンネル」を表示させ、【OK】キーを押します。

<IEEE 802.11b>
2.ﾁｬﾝﾈﾙ

現在設定されているチャンネルが表示されます。

8 【▲】または【▼】キーを押して、チャンネル数値を入力し、【OK】キーを押します。

<ﾁｬﾝﾈﾙ>
(1-14)　　14

9 同様の手順で「ツウシンソクド」を設定します。

10 通信モードで「802.11アドホック」「インフラストラクチャー」を選択した場合は、通信に使用するSSIDを設定します。

補足

- ❒ 設定する SSID はネットワーク管理者に確認してください。

❶【▲】または【▼】キーを押して、「SSID」を表示させ、【OK】キーを押します。

<IEEE 802.11b>
4.SSID

SSID設定画面が表示されます。

<SSID>
ﾆｭｳﾘｮｸ

補足

- ❒ SSIDを設定済の場合、SSIDを確認することができます。【▲】または【▼】キーを押して「カクニン」を表示させ、【OK】キーを押します。

❷【OK】キーを押します。

SSID入力画面が表示されます。

SSID:　　　　[0]

補足

- ❒ 上段右端[ ]内の数字は、入力済の桁数を表しています。

❸【▲】または【▼】キーで文字を選択して、【OK】キーを押します。

SSID　　　[1]
A

カーソル（▦）が次の桁に移ります。

SSID　　　[1]
A▦

❹ **続けて文字列を入力します。**

補足

❒ SSIDで使用できる文字は半角英数字と表示可能な半角記号で32バイトまでです。大文字と小文字も区別されます。

❒ **【戻る】**キーを押すと、一つ前の桁に戻ります。

❺ **文字列の入力が完了したら、【OK】キーを押します。**

設定が確定し、10-❶の画面に戻ります。

11 ネットワーク内でWEPキーを使用している場合は、通信に使用するWEPキーの設定と、WEPを有効にします。

補足

❒ 設定するWEPキーはネットワーク管理者に確認してください。

❶ **【▲】または【▼】キーを押して、「WEPセッテイ」を表示させ、【OK】キーを押します。**

```
<IEEE 802.11b>
5.WEPｾｯﾃｲ
```

次の画面が表示されます。

```
<WEPｾｯﾃｲ>
*ﾑｺｳ
```

❷ **【▲】または【▼】キーを押して「ユウコウ」を表示させ、【OK】キーを押します。**

```
<WEPｾｯﾃｲ>
*ﾕｳｺｳ
```

次の画面が表示されます。

```
<WEPｷｰﾍﾝｺｳ>
 ｽﾙ
```

補足

❒ WEPセッテイを"ユウコウ"にした場合、必ずWEPキーの入力が必要です。WEPキーを未入力の場合には、必ず入力してください。

❒ 既に入力済みで設定の切替を行なう場合には、**【▲】**または**【▼】**キーを押して、"シナイ"を表示させて、**【OK】**キーを押してください。

❸ **【OK】キーを押します。**

WEPキー入力画面が表示されます。

```
WEPｷｰ          [ 0]
```

補足

❒ 上段右端[ ]内の数字は、入力済の桁数を表しています。

❹ **【▲】または【▼】キーで文字を選択して、【OK】キーを押します。**

```
WEPｷｰ          [ 1]
A
```

カーソル（▒）が次の桁に移ります。

```
WEPｷｰ          [ 1]
A▒
```

続けて文字列を入力します。

補足

❒ 64bit WEPを使用する場合は、16進数10桁の文字列が使用できます。128bit WEPを使用する場合には、16進数26桁の文字列が使用できます。

❒ 入力できる桁数は、10桁か26桁に限られます。それ以外の桁数で入力を完了させると、以下のメッセージがパネルに表示されます。

```
ｹﾀｽｳｶﾞ ﾀﾀﾞｼｸｱﾘﾏｾﾝ
        10ﾏﾀﾊ26ｹﾀ
```

❒ **【戻る】**キーを押すと、一つ前の桁に戻ります。

❺ **文字列の入力が完了したら、【OK】キーを押します。**

設定が確定し、11-❶の画面に戻ります。

12 【オンライン】キーを押します。

通常の画面に戻ります。

13 システム設定リストを印刷して、設定した内容を確認します。

4

ワイヤレスインターフェースボードを取り付ける

重要

- ❒ ワイヤレスインターフェースボードを取り付けたプリンターで印刷できるのは、Bluetooth™を搭載したパソコンです。
- ❒ ワイヤレスインターフェースボードに触れる前に金属製の物に触れて、身体に帯びた静電気を除いてください。
- ❒ ワイヤレスインターフェースボードに物理的衝撃を与えないでください。

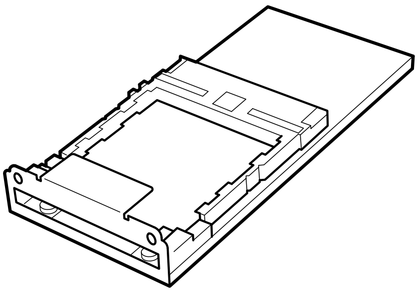
参照

詳細は、ワイヤレスインターフェースボードに付属の使用説明書を参照してください。

1 同梱品を確認します。

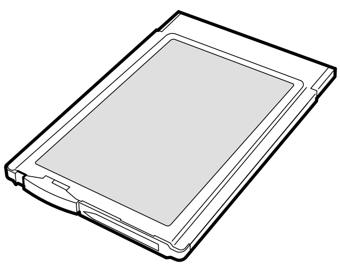
❖ **ワイヤレスインターフェースボード**

インターフェースユニット



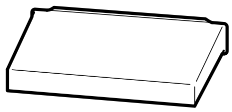
ZHBP410E

❖ **カード**



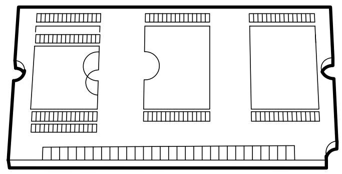
ZHBP510E

❖ **アンテナキャップ**



ZHBPA921E

❖ **DIMM（本機では使用しません）**



ZHBP520E

補足

- ❒ ワイヤレスインターフェースボードにはDIMMが同梱されていますが、本機では使用しません。販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。

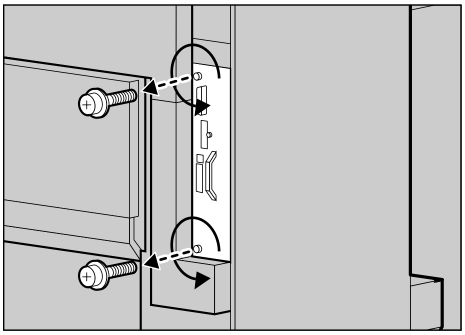
2 本機の電源を切ります。

3 プリンター本体の前カバーをゆっくりと開け、緑色の専用ねじ回しを取り出し、前カバーを閉めます。

参照

詳しくは、P.37「専用ねじ回しの使い方」を参照してください。

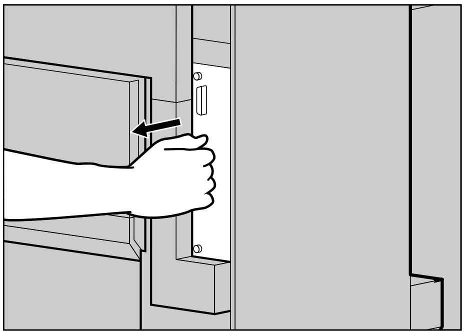
4 専用ねじ回しを使って、プリンター本体の背面にあるコントローラーボードを固定している2本のねじを外します。



ZDJP025J

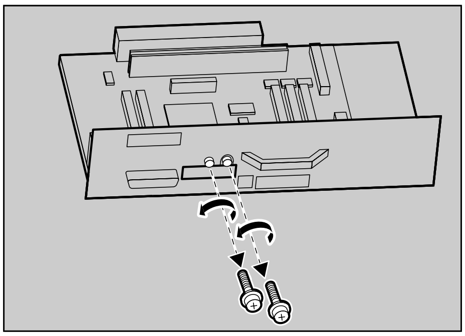
取り外したねじはコントローラーボードを固定するときに使用します。

5 取っ手を持ち、コントローラーボードをゆっくりと引き抜きます。



ZDJP025J

6 専用ねじ回しを使って、ねじを外してから、ワイヤレスインターフェースボード取り付け部のカバーを外します。

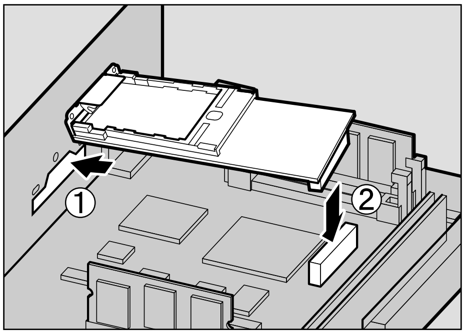


ZHXP140J

補足

- ❒ 取り外したねじは手順8で使います。

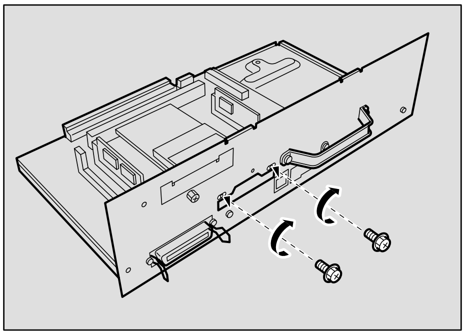
7 ワイヤレスインターフェースボードをコントローラーボードに取り付けます。ワイヤレスインターフェースボードの先端部を取り付け部に差し込み（①）、矢印の方向に押し込んで（②）、コントローラーボードに接続します。



ZHXP030J

ワイヤレスインターフェースボードを奥まで押し込んで、コントローラーボードとしっかり接続していることを確認してください。

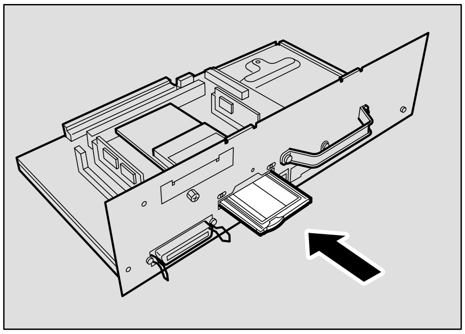
8 専用ねじ回しを使って手順 6 で取り外した2本のねじを締め、ワイヤレスインターフェースボードを固定します。



ZHXP120J

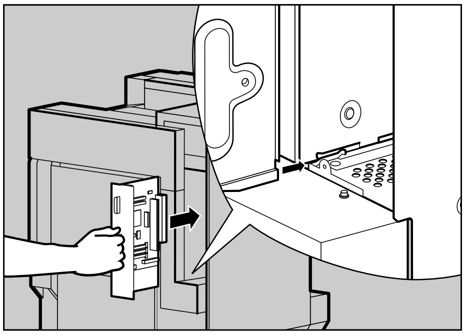
4

9 **ラベルの「INSERT」と書かれた面を上にして、カードをワイヤレスインターフェースボードに突き当たるまでゆっくりと押し込みます。**



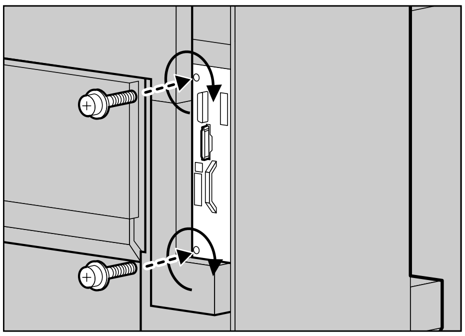
ZHXP060J

10 **コントローラーボードを上下のレールに合わせて差し込み、突き当たるまでゆっくりと押し込みます。**



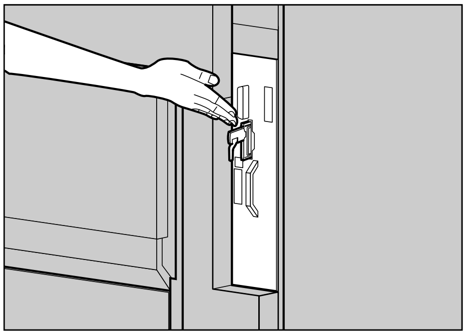
ZDJP030J

11 **専用ねじ回しを使ってねじを2本締め、コントローラーボードを固定します。**

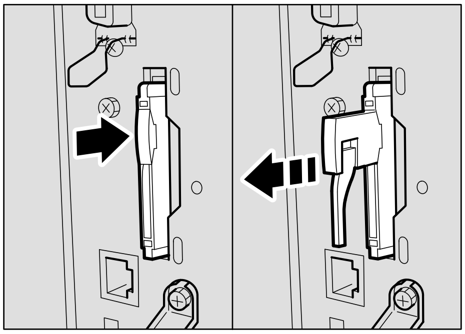


ZHXP220J

12 **アンテナを押して、ポップアップさせます。**



ZHXP230J



ZHXP030N

13 **アンテナにキャップを取り付けます。**

補足

- ❒ 使用後の専用ねじ回しは、プリンター本体の前カバーに保管しておいてください。
- ❒ ワイヤレスインターフェースボードが正しく取り付けられたかどうかは、本書に記載されているトナーや用紙セットなどの設置が終了した後、電源を入れてシステム設定リストを印刷して確認します。システム設定リストの「システム構成情報」の項目で確認することができます。ワイヤレスインターフェースボードが正しく取り付けられているときは、「コントローラオプション」の欄に「BTボード」と記載されます。
- ❒ 正しく取り付けられていない場合は、取り付け手順の**1**からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。

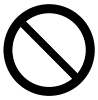
参照

システム設定リストを印刷する方法については、P.24「テスト印刷する」を参照してください。

取り外した部品は、販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。なお、お客様で処理される場合は、一般のプラスチック廃棄物と同様に処理してください。

アカウント拡張モジュールを取り付ける

⚠警告



- IC2(リチウム電池)を火中に投入しないでください。破裂して、やけどの原因になります。

補足

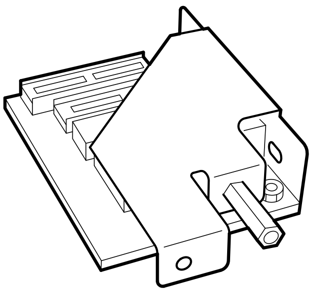
- ❒ 不要になったアカウント拡張モジュールは、販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。
- ❒ アカウント拡張モジュールのIC2には、リチウム電池が内蔵されています。お客様で処理される場合は、基板とIC2を分離し、各自治体の規則に従って処理してください。

重要

- ❒ アカウント拡張モジュールに触れる前に金属製の物に触れて、身体に帯びた静電気を除いてください。
- ❒ アカウント拡張モジュールに物理的衝撃を与えないでください。

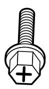
1 同梱品を確認します。

❖ **アカウント拡張モジュール**

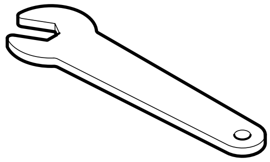


ZHXP250J

❖ **ねじ(1本)**

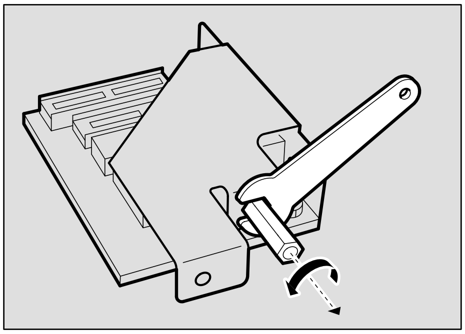


❖ **工具**



ZHXP380J

2 同梱の工具を使って、アカウント拡張モジュールからスペーサネジ(①)を取り外します。



ZHXP252J

補足

- ❒ 取り外したスペーサネジは本機では使用しません。

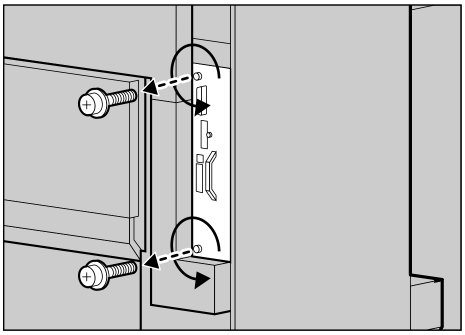
3 本機の電源を切ります。

4 プリンター本体の前カバーをゆっくりと開け、緑色の専用ねじ回しを取り出し、前カバーを閉めます。

参照

詳しくは、P.37「専用ねじ回しの使い方」を参照してください。

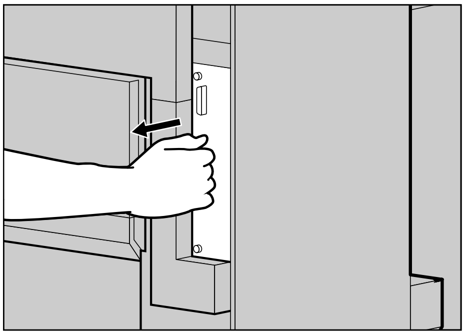
5 専用ねじ回しを使って、プリンター本体の背面にあるコントローラーボードを固定している2本のねじを外します。



ZDJP025J

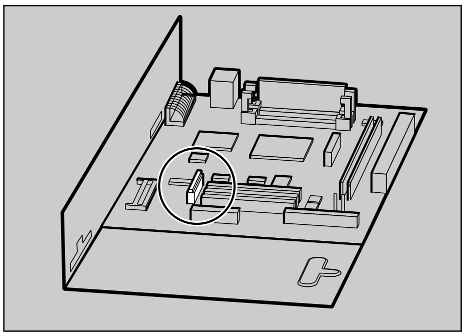
取り外したねじは、コントローラーボードを固定するときに使用します。

6 取っ手を持ち、コントローラーボードをゆっくりと引き抜きます。



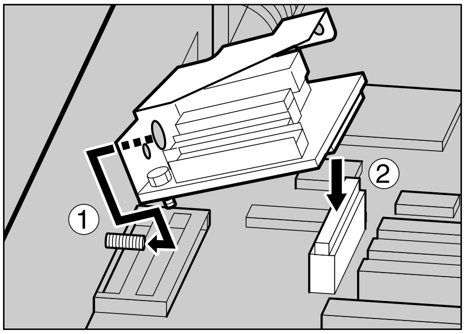
ZDJP025J

アカウント拡張モジュールは、図の位置に取り付けます。



ZDJP702J

7 アカウント拡張モジュールをコントローラーボードに取り付けます。コントローラーボードのカバー側からネジが出ている場合は、アカウント拡張モジュールの穴に入れ（①）、接続部を合わせて矢印の方向に押し込みます（②）。



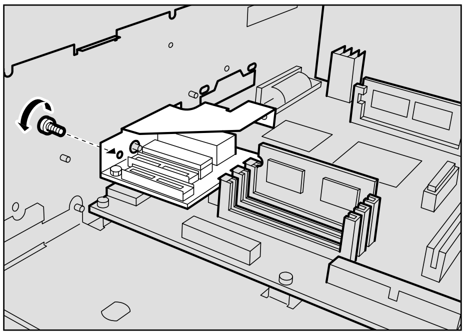
ZHXP280J

アカウント拡張モジュールを奥まで押し込んで、コントローラーボードとしっかり接続していることを確認してください。

補足

❒ アカウント拡張モジュールが取り付けづらいときは、コントローラーボードのカバー部を軽く外側に押しながら取り付けてください。

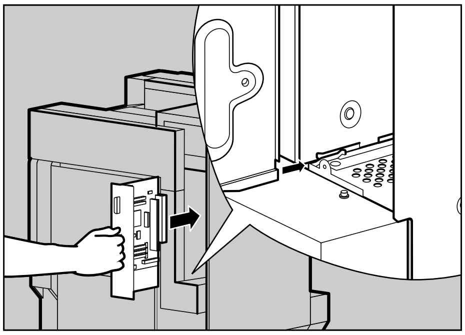
8 アカウント拡張モジュールとコントローラーボードの ねじ穴を合わせます。同梱のねじを専用ねじ回しを使って締め、アカウント拡張モジュールを固定します。



ZHXP270J

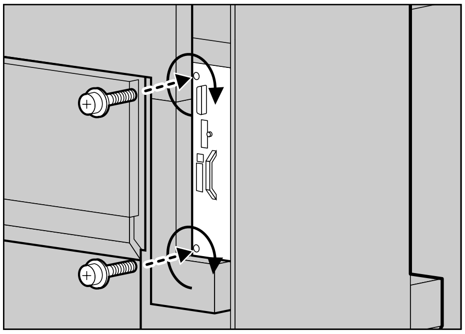
4

9 コントローラーボードを上下のレールに合わせて差し込み、突き当たるまでゆっくりと押し込みます。



ZDJP030J

10 専用ねじ回しを使ってねじを2本締め、コントローラーボードを固定します。



ZDJP031J

補足

- ❒ 使用後の専用ねじ回しは、プリンター本体の前カバーに保管しておいてください。
- ❒ アカウント拡張モジュールが正しく取り付けられたかどうかは、本書に記載されているトナーや用紙セットなどの設置が終了した後、電源を入れてシステム設定リストを印刷して確認します。システム設定リストの「システム構成情報」の項目で確認することができます。アカウント拡張モジュールが正しく取り付けられているときは、「コントローラーオプション」の欄に「アカウントモジュール」と記載されます。
- ❒ 正しく取り付けられていない場合は、取り付け手順の1からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。

参照

システム設定リストを印刷する方法については、P.24「テスト印刷する」を参照してください。

取り外した部品は、販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。なお、お客様で処理される場合は、一般のプラスチック廃棄物と同様に処理してください。

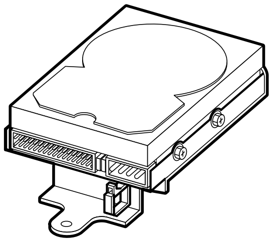
拡張HDDを取り付ける

重要

- ❒ 拡張HDDに触れる前に金属製の物に触れて、身体に帯びた静電気を除いてください。
- ❒ 拡張HDDに物理的衝撃を与えないでください。

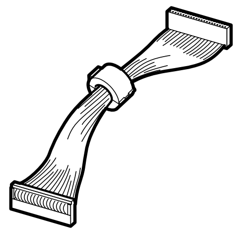
1 同梱品を確認します。

❖ **拡張HDD**



ZHXP291J

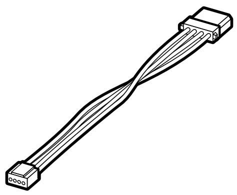
❖ **コネクター**



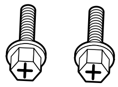
補足

- ❒ コネクターの形状は、図と異なる場合があります。

❖ **電源ケーブル**



❖ **ねじ（2本）**



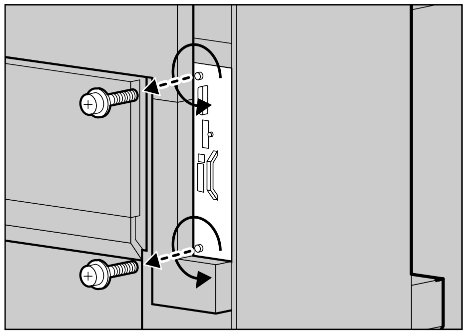
2 本機の電源を切ります。

3 プリンター本体の前カバーをゆっくりと開け、緑色の専用ねじ回しを取り出し、前カバーを閉めます。

参照

詳しくは、P.37「専用ねじ回しの使い方」を参照してください。

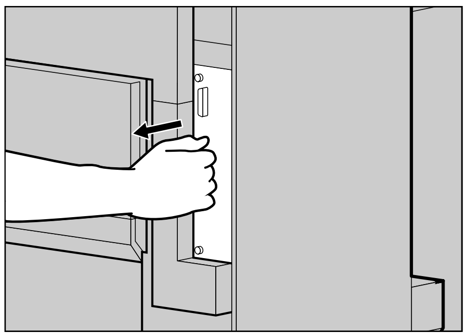
4 専用ねじ回しを使って、プリンター本体の背面にあるコントローラーボードを固定している2本のねじを外します。



ZDJP025J

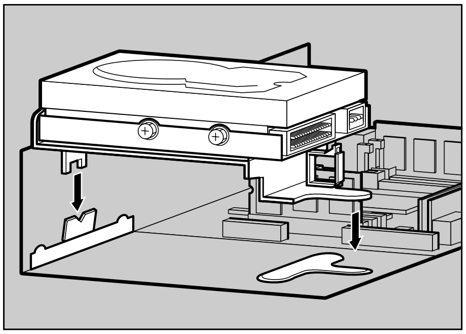
取り外したねじは、コントローラーボードを固定するときに使用します。

5 取っ手を持ち、コントローラーボードをゆっくりと引き抜きます。



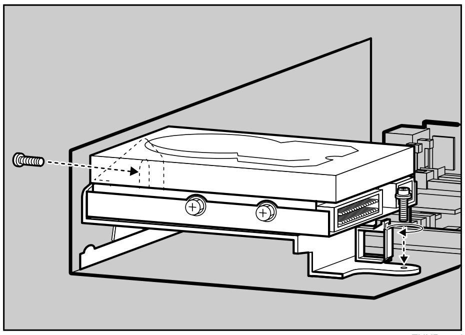
ZDJP025J

6 拡張HDDをコントローラーボードに取り付けます。



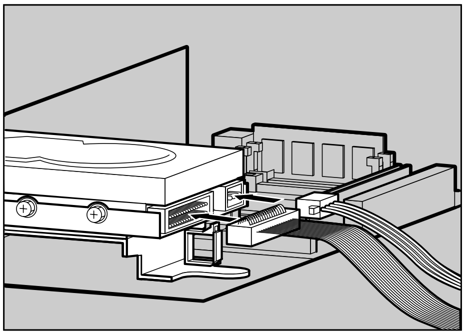
ZHXP301J

7 専用ねじ回しを使って2本のねじを締め、コントローラーボードと拡張HDDを固定します。



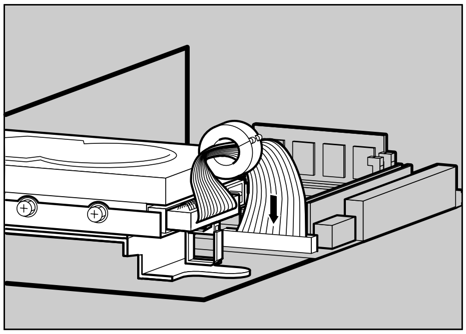
ZHXP311J

8 拡張HDDに電源ケーブルとコネクターを接続します。



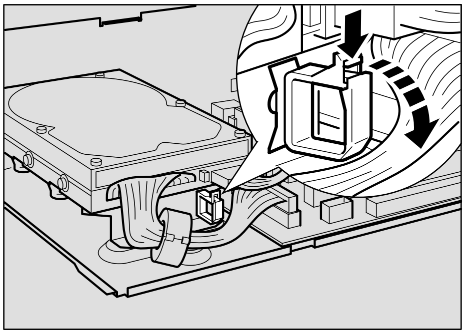
ZHXP321J

9 コントローラーボードにコネクターを接続します。



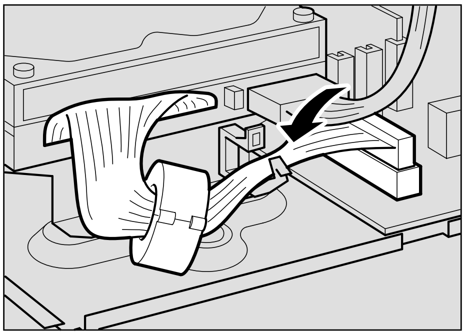
ZHXP082J

10 図のように拡張HDDの電源ケーブルの接続部の下側についている白色のクランプをはずして開きます。



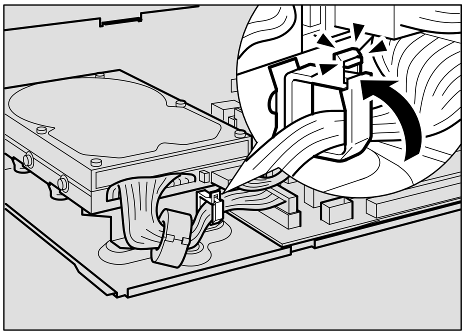
ZHXP350J

11 図のようにコネクターをクランプに通してまとめます。



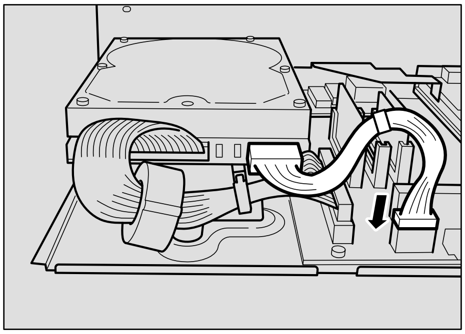
ZHXP360J

12 クランプのフックを矢印の方向に戻し、カチッと音がするまで差し込みます。



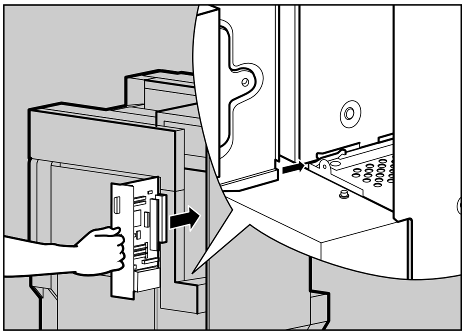
ZHXP370J

13 コントローラーボードに電源ケーブルを接続します。



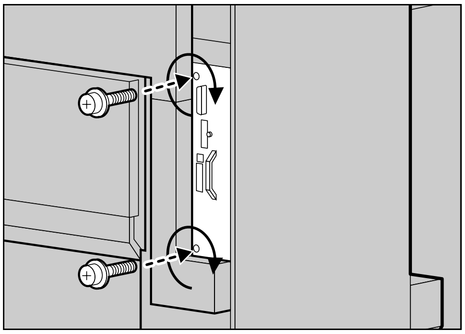
ZHXP340J

14 コントローラーボードを上下のレールに合わせて差し込み、突き当たるまでゆっくりと押し込みます。



ZDJP805J

15 専用ねじ回しを使ってねじを2本締め、コントローラーボードを固定します。



ZDJP031J

プリンターの電源を入れると、拡張HDDの初期化（フォーマット）が自動的に開始されます。

補足

- ❒ 拡張HDDが正しく取り付けられたかどうかは、本書に記載されているトナーや用紙セットなどの設置が終了した後、電源を入れてシステム設定リストを印刷して確認します。システム設定リストの「システム構成情報」の項目で確認することができます。拡張HDDが正しく取り付けられているときは、「コントローラオプション」の欄に「ハードディスク」と記載されます。
- ❒ 正しく取り付けられていない場合は、取り付け手順1からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。
- ❒ 使用後の専用ねじ回しは、プリンター本体の前カバーに保管しておいてください。

重要

- ❒ 取り付けた拡張HDDを使用するには、プリンタードライバーの設定が必要です。

4

両面印刷ユニットを取り付ける

操作の前に

オプションの給紙テーブルは、両面印刷ユニットを取り付ける前に取り付けてください。

⚠注意



- 機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

⚠注意

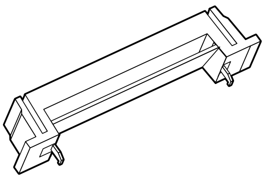


- 両面反転ユニットは固定されるまで手を離さないでください。落下してけがの原因になります。

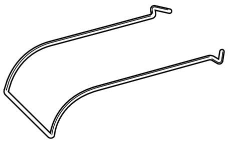
両面反転ユニットの受け台を取り付ける

1 同梱品を確認します。

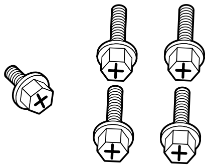
❖ **受け台**



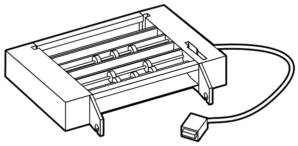
❖ **用紙ガイド**



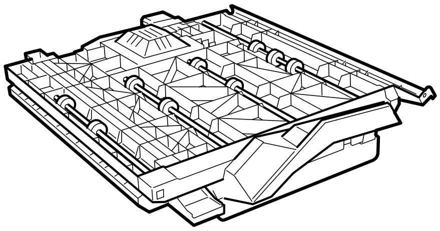
❖ **短いねじ（1本）、長いねじ（4本）**



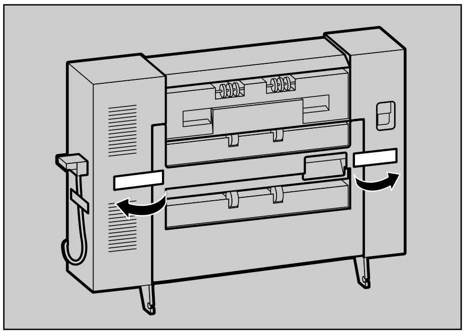
❖ **両面反転ユニット**



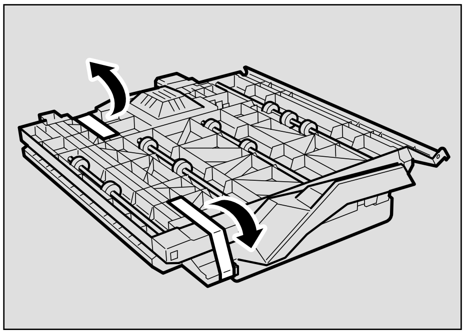
❖ **両面搬送ユニット**



2 各同梱品の固定用テープと固定材を取り除きます。



ZDJP711J



ZHXH221J

補足

- ❒ 両面反転ユニットの補助バーを固定しているテープは、P.77「両面反転ユニットを取り付ける」の手順3で外します。
- ❒ 両面反転ユニットのケーブルを固定しているテープは、P.77「両面反転ユニットを取り付ける」の手順7で外します。

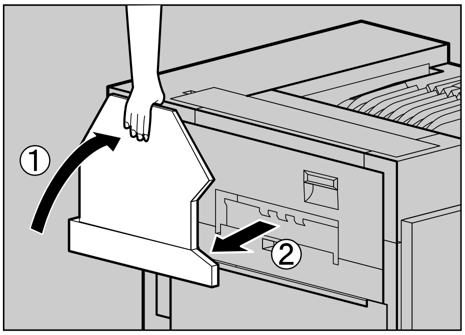
3 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

4 プリンター本体の前カバーをゆっくりと開け、緑色の専用ねじ回しを取り出し、前カバーを閉めます。

参照

詳しくは、P.37「専用ねじ回しの使い方」を参照してください。

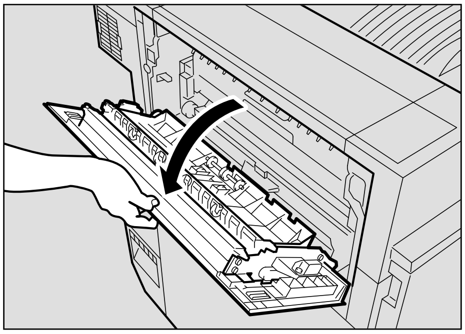
5 排紙トレイを矢印の方向に引き上げて(①)、取り外します(②)。



ZDJP038J

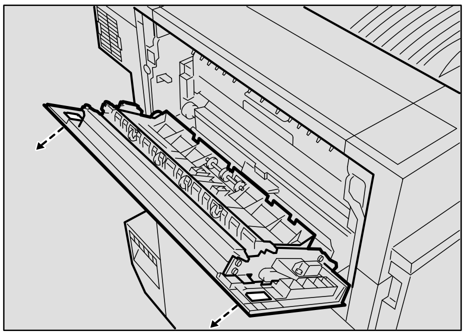
6 プリンター本体の左上カバーについている小さいカバーを2個取り外します。

❶ プリンター本体の左上カバー上部の取っ手を持ち、ゆっくりと開けます。



ZHXH230J

❷ 2 個のカバーの端にあるツメをつまんで、矢印の方向に押して取り外します。



ZHXH241J

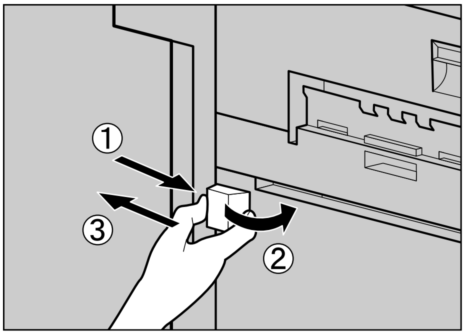
❸ プリンター本体の左上カバーを閉めます。

補足

- ❒ 取り外した 2 個のカバーは使用しません。

4

7 プリンター本体の左側面についている保護カバーを取り外します。保護カバーの両側面をつかみ、カバーの左側面を押しながら（①）、矢印の方向に開き（②）、外します（③）。

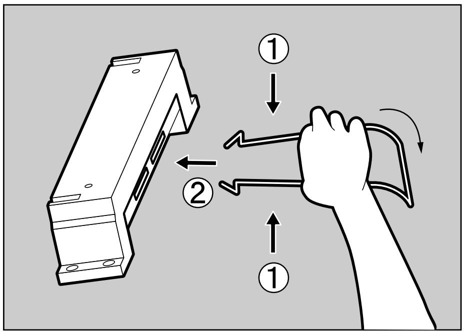


ZDJP041J

補足

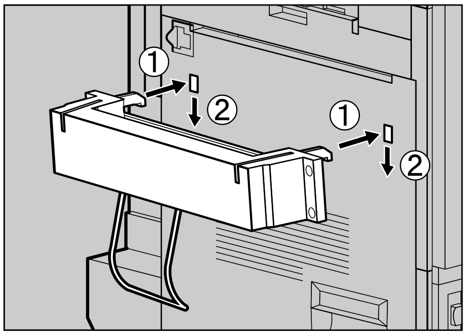
❒ 取り外した保護カバーは使用しません。

8 用紙ガイドを受け台にセットします。図のように用紙ガイドの下方に曲がるように持ち、軽くつかんだまま（①）、受け台の穴に差し込みます（②）。



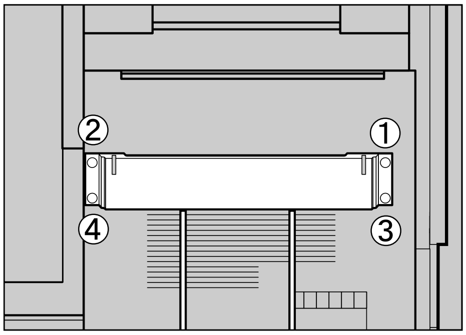
ZDJP042J

9 受け台のツメをプリンター本体の左側面にある穴に差して（①）、下へ押します（②）。



ZDJP043J

10 同梱されている長いねじ 4 本で受け台を固定します。専用ねじ回しを使って、図の①⇒②⇒③⇒④の順番にねじを締めます。

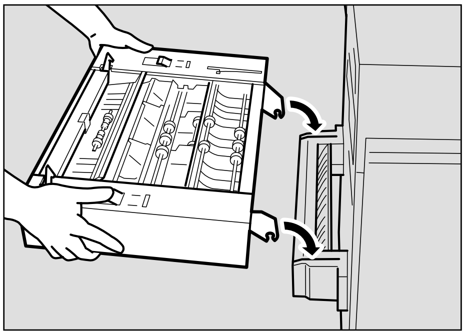


ZDJP044J

これで受け台の取り付けが完了しました。次に、両面反転ユニットを取り付けます。

両面反転ユニットを取り付ける

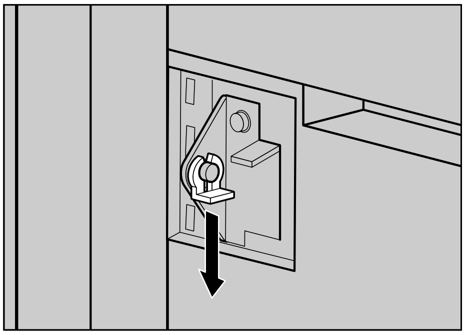
1 **両面反転ユニットを両手で水平に持ち、フックを受け台の溝に差し込みます。このとき、フックの先端を図のように合わせ、ゆっくりと差し込みます。差し込んだ後も、両面反転ユニットから手を離さないでください。**



ZHXH250J

両面反転ユニットのフックが、受け台の溝の中にあるバーにかみ合います。

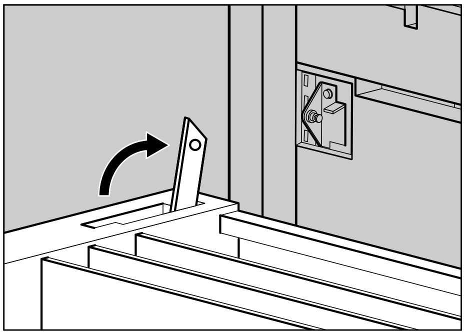
2 **両面反転ユニットを支えながら、プリンター本体側の取り付け金具のストッパーを取り外します。**



ZDJP046J

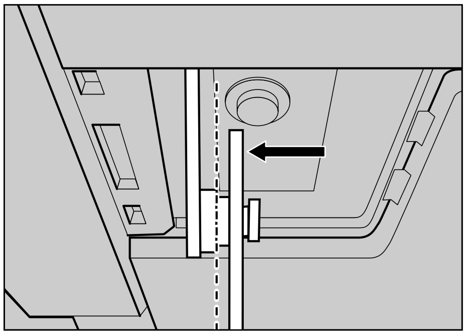
ここで外したストッパーは、後の手順で使用します。なくさないようにしてください。

3 **両面反転ユニットを支えながら、左側の溝を固定しているテープ（1本）を取り外し、中にある補助バーつまんで立てます。**



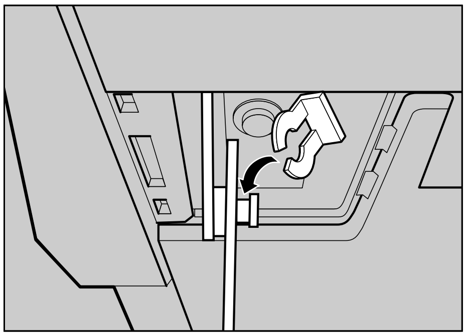
ZDJP047J

4 **補助バーの穴をプリンター本体側の取り付け金具に引っ掛け、図の点線の位置まで移動させます。**



ZDJP048J

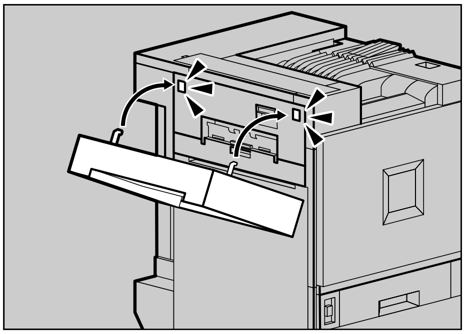
5 **手順 2 で外したストッパーを取り付けます。**



ZDJP049J

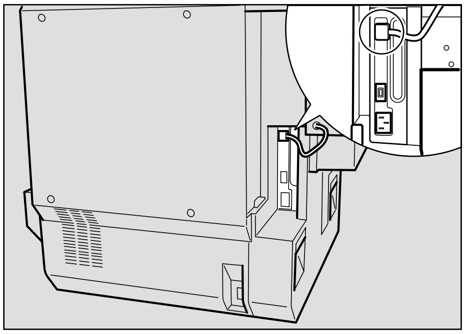
補助バーとストッパーがしっかり取り付けられていることを確認してください。

6 **両面反転ユニットをゆっくりと起こして、プリンター本体に密着させます。**



ZDJP050J

7 **両面反転ユニットのケーブルを固定しているテープを取り外し、ケーブルをプリンター本体背面の上段のコネクターに接続します。**

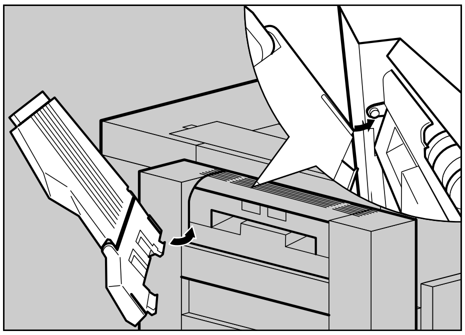


ZHXH260J

これで両面反転ユニットが取り付けが完了しました。排紙トレイを取り付けた後に、両面搬送ユニットを取り付けます。

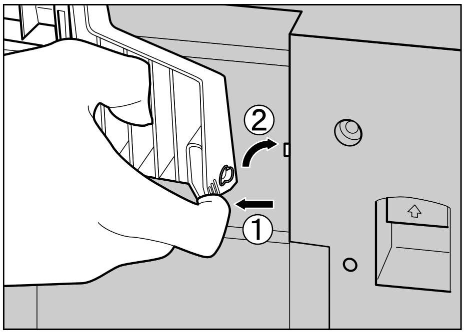
8 **排紙トレイを取り付けます。**

❶ **排紙トレイを立てて両手で持ち、左側から差し込みます。**



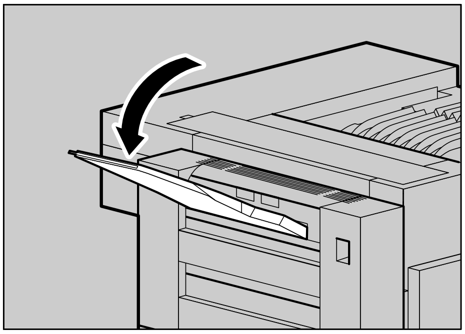
ZHXH270J

❷ **指で排紙トレイの右端を軽く押しながら（①）、差し込みます（②）。**



ZDJP053J

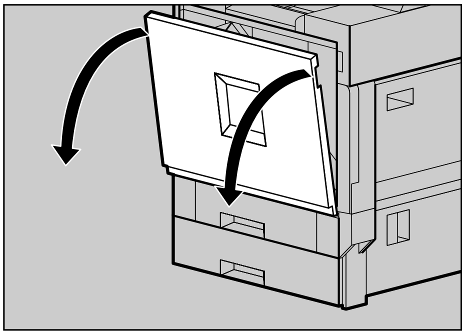
❸ **排紙トレイをゆっくり倒します。**



ZHXH280J

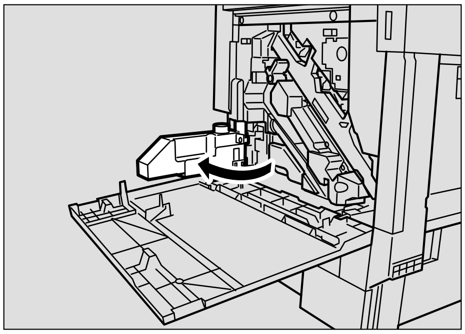
両面搬送ユニットを取り付ける

1 **プリンター本体の前カバーの左右 2 個所を引いて、ゆっくりと開けます。**



ZDJH007J

2 **廃オイルボトルを図の矢印の方向にゆっくりと開きます。**



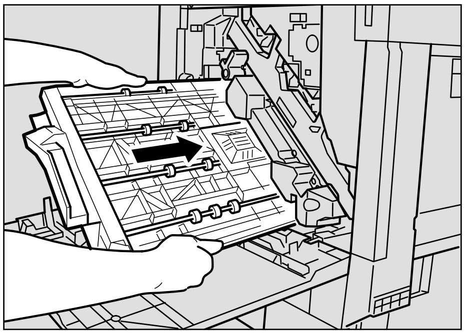
ZHXH150J

⚠注意



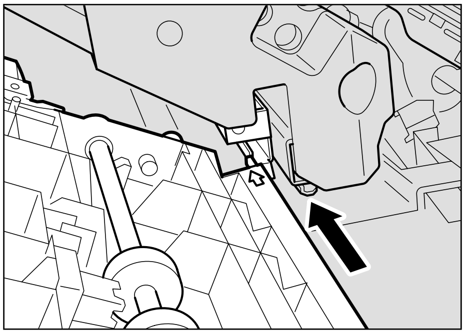
- 廃オイルボトルに火気を近づけないでください。発火して火災ややけどの原因になります。

3 **両面搬送ユニットを両手で持ち、下のレールに載せてゆっくりと奥に突き当たるまで差し込みます。**



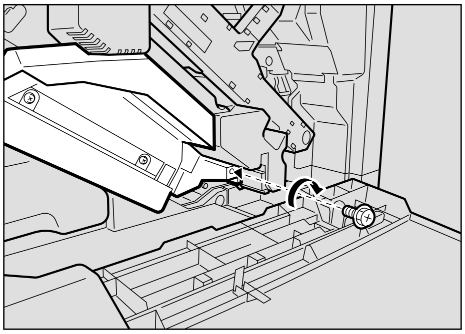
ZHXH290J

下のレールは図の位置にあります。



ZHXH300J

4 **専用ねじ回しを使って、短いねじ1本で両面搬送ユニットを固定します。**



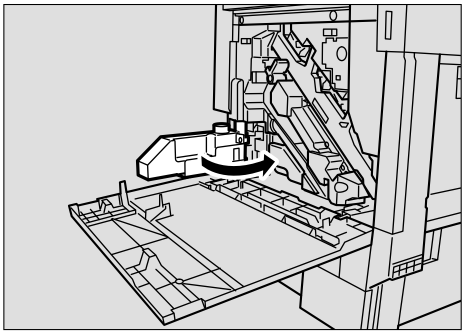
ZHXH310J

これで、両面搬送ユニットの取り付けが完了しました。

補足

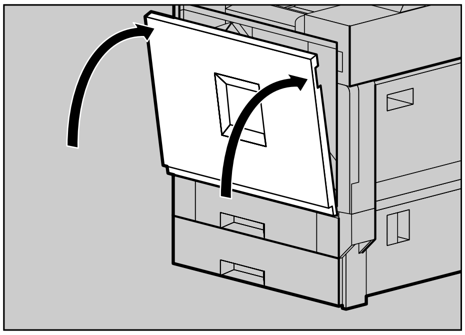
❒ 使用後の専用ねじ回しは、プリンター本体の前カバーに保管しておいてください。

5 廃オイルボトルを図の矢印の方向にゆっくりと閉じます。



ZHXH160J

6 プリンター本体の前カバーの左右 2 個所を押して、ゆっくりと閉めます。



ZDJH041J

補足

- ❒ 両面印刷ユニットが正しく取り付けられたかどうかは、本書に記載されているトナーや用紙セットなどの設置が終了した後、電源を入れて、システム設定リストを印刷して確認します。システム設定リストの「システム構成情報」の項目で確認することができます。両面印刷ユニットが正しく取り付けられているときは、「オプション機器」の欄に「両面印刷ユニット」と記載されます。
- ❒ 正しく取り付けられていない場合は、P.74 「両面反転ユニットの受け台を取り付ける」、P.77 「両面反転ユニットを取り付ける」、P.79 「両面搬送ユニットを取り付ける」を参照して、それぞれ取り付け手順 1 からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。

参照

システム設定リストを印刷する方法については、P.24 「テスト印刷する」を参照してください。

取り外した部品は、販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。なお、お客様で処理される場合は、一般のプラスチック廃棄物と同様に処理してください。

2000枚フィニッシャーを取り付ける

操作の前に

2000枚フィニッシャーを取り付けるときは、先に給紙テーブルを取り付けてください。

コントローラーボードに取り付けるオプション類は、2000枚フィニッシャーをプリンター本体に接続する前に取り付けてください。

⚠注意

- 2000枚フィニッシャーは約55kgあります。
- 2000枚フィニッシャーを移動するときは、両側面の中央部分を持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理して持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。

重要

- ❒ オプションの給紙テーブルと両面印刷ユニットの両方を取り付けなければ、2000枚フィニッシャーを取り付けることはできません。
- ❒ 4ビンプリントポストと2000枚フィニッシャーを同時に取り付けることはできません。

1000枚給紙テーブルが取り付けられている場合を例に説明します。

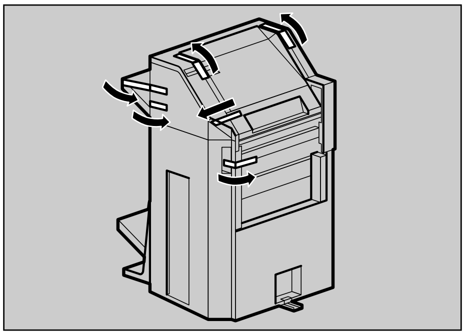
1 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

2 固定用テープ、固定材、登録表を取り外します。

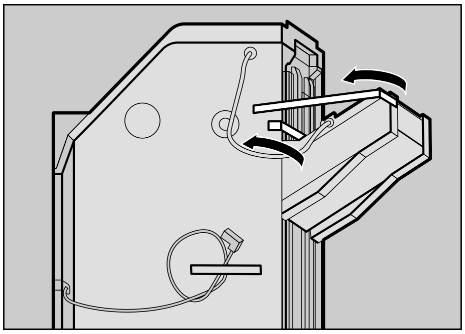
補足

- ❒ ケーブルを固定しているテープは手順19で取り外します。

❖ **前面/側面**

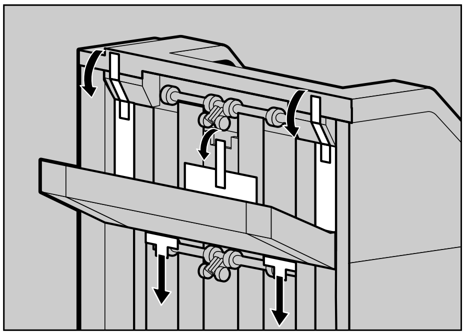


ZDJP059J

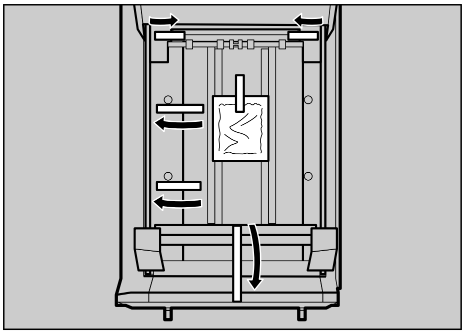


ZDJP062J

❖ 背面

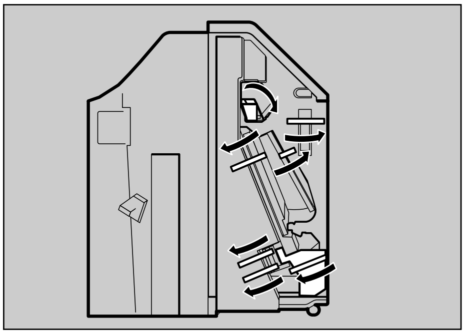


ZDJP950J



ZDJP060J

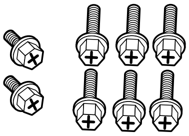
❖ 内部



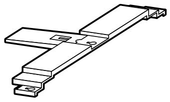
ZDJP061J

3 同梱品を確認します。

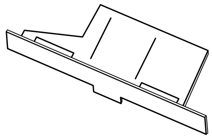
❖ 短いねじ（2本）、長いねじ（6本）



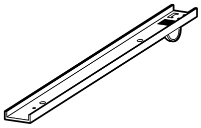
❖ 接続金具



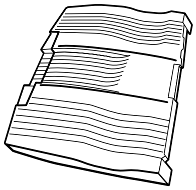
❖ 固定金具



❖ レール



❖ 2000枚フィニッシャー用排紙トレイ（2枚）



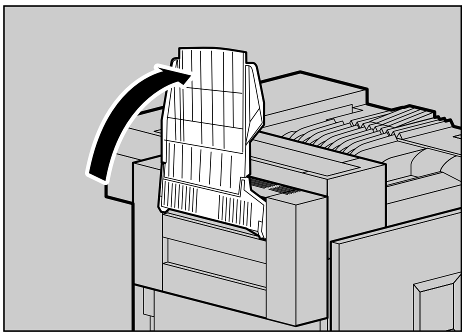
4 プリンター本体の前カバーをゆっくりと開け、緑色の専用ねじ回しを取り出し、前カバーを閉めます。

参照

詳しくは、P.37「専用ねじ回しの使い方」を参照してください。

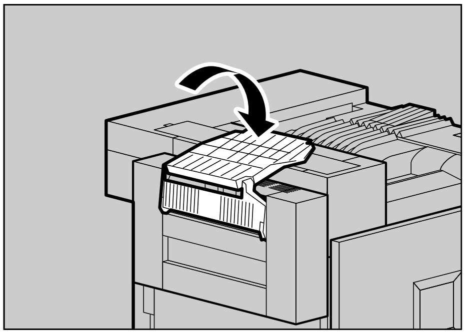
5 プリンター本体の排紙トレイを起こします。

❶ 排紙トレイを垂直に起こします。



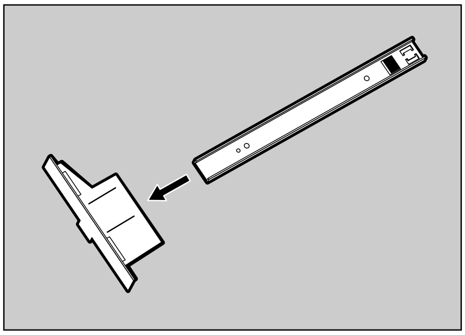
ZHXH330J

❷ プリンター本体に沿って、排紙トレイを折り曲げます。



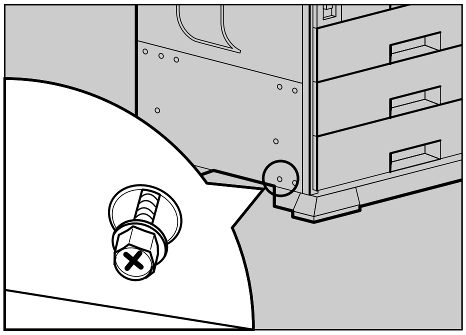
ZHXH340J

6 タイヤが1個ついたレールを、固定金具に差し込みます。



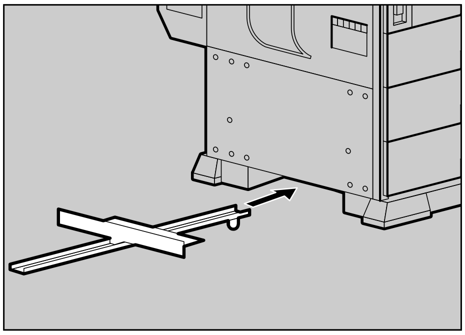
ZDJP066J

7 プリンター本体の図の位置に、同梱されている長いねじ1本を仮留めします。手で3、4回転させます。



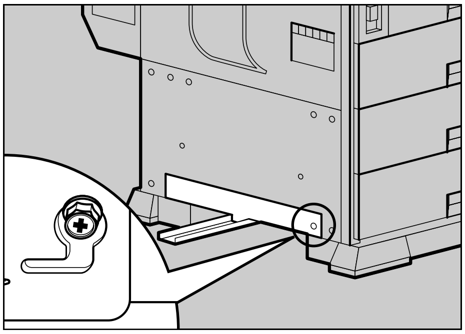
ZDJP067J

8 手順6で組み立てたレールを、プリンター本体の底部に差し込みます。



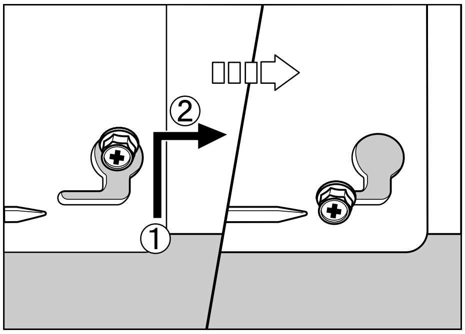
ZDJP068J

9 手順7で仮留めしたねじに、固定金具の穴を引っ掛けます。



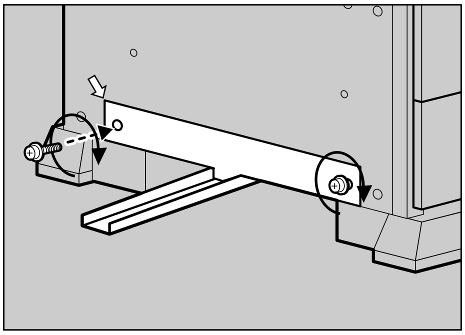
ZDJP069J

10 両手で固定金具を持ち、上（①）、右（②）の方向に動かしてセットします。



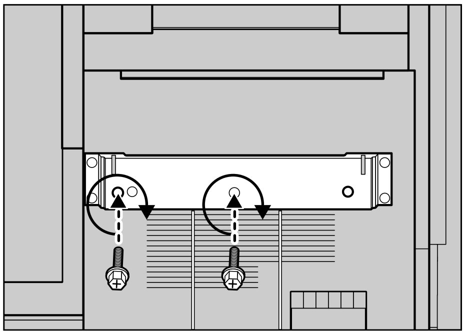
ZDJP070J

11 固定金具の左角とプリンター本体の矢印を合わせ、専用ねじ回しを使って、同梱されている長いねじで固定金具の左側を留めます。手順7で仮留めした右側のねじも最後まで締めます。



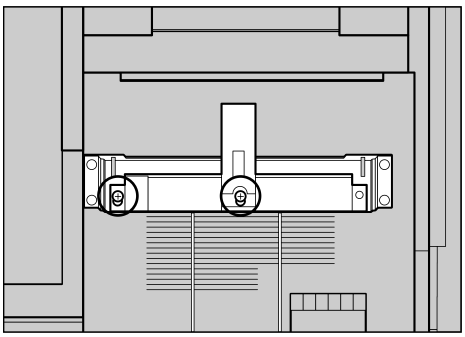
ZDJP071J

12 両面反転ユニットの図の位置に、同梱されている長いねじ2本を仮留めします。手で3、4回転させます。



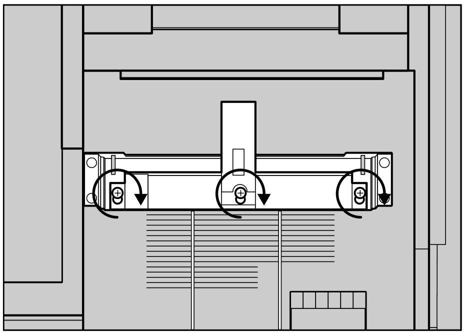
ZDJP072J

13 接続金具を、手順 12 で仮留めしたねじに引っ掛けます。



ZDJP073J

14 専用ねじ回しを使って、長いねじで接続金具の右側を留めます。手順12で仮留めした2本のねじも最後まで締めます。

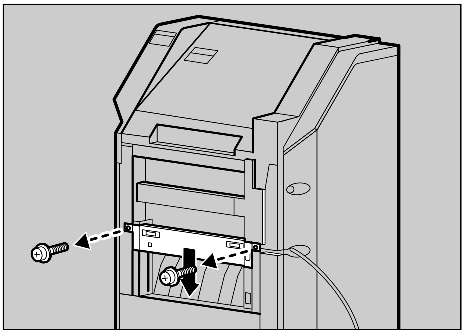


ZDJP074J

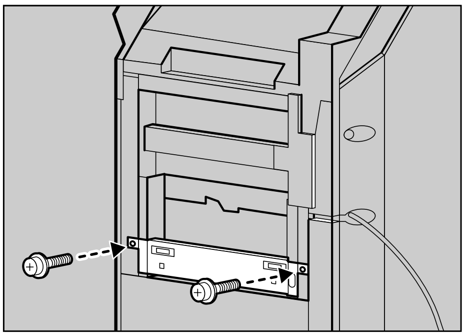
補足

- ❒ 1000枚/2000枚給紙テーブルを取り付けている場合は、手順16へ進んでください。

15 500枚給紙テーブルを取り付けている場合は、2000枚フィニッシャー側の接続金具の位置を下段に変更します。専用ねじ回しを使ってねじを2本外し、接続金具を下に移動させて、再度ねじで固定します。



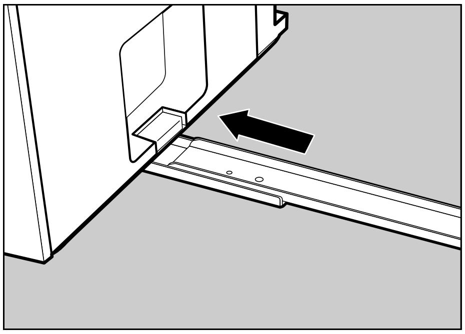
ZDJP075J



ZDJP076J

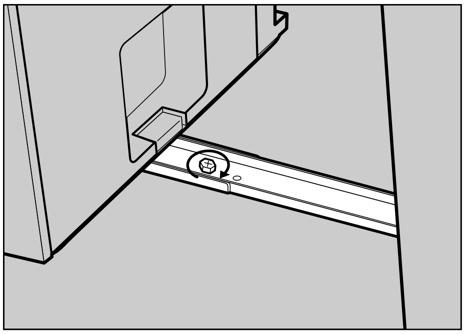
4

16 2000 枚フィニッシャーのレールにプリンター本体のレールを載せ、突き当たるまで差し込みます。



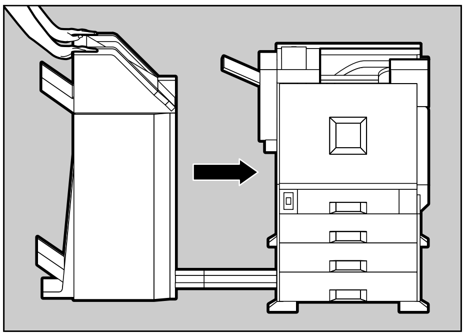
ZDJP077J

17 専用ねじ回しを使って、長いねじでレールを固定します。



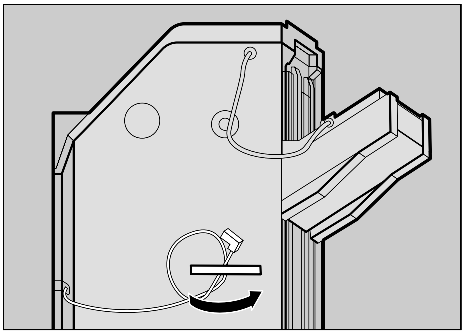
ZDJP078J

18 2000 枚フィニッシャーをプリンター本体に向かって、両手でゆっくりとまっすぐに押し、カチッと音がするまで押し込みます。



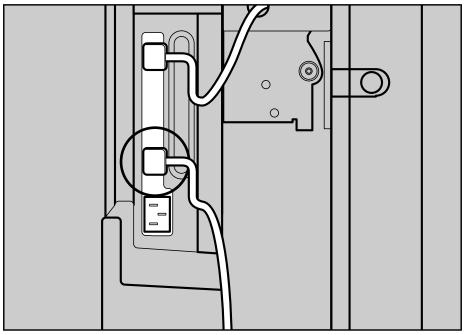
ZHXH350J

19 2000 枚フィニッシャーのケーブルを固定しているテープを取り外します。



ZDJP080J

20 2000 枚フィニッシャーのケーブルを、プリンター本体背面の下段のコネクターに接続します。

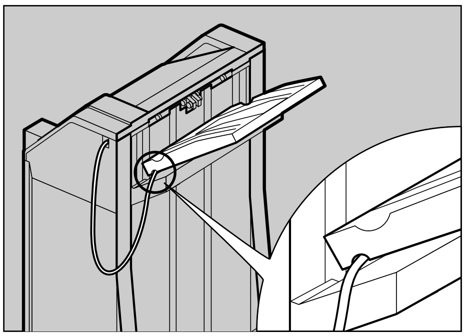


21 2000 枚フィニッシャー用排紙トレイ 2 枚を、2000 枚フィニッシャーに取り付けます。

補足

❒ 排紙トレイは2枚とも同じものです。

❶ **2000枚フィニッシャー用排紙トレイの左側面の切り欠きを、2000枚フィニッシャーから出ているケーブルに合わせます。**

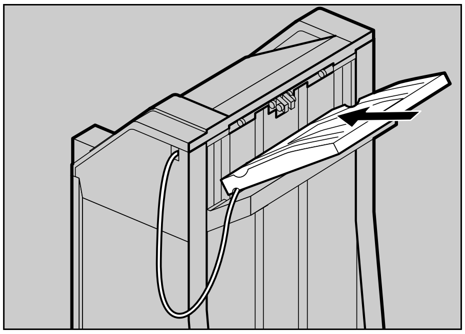


ZDJP082J

4

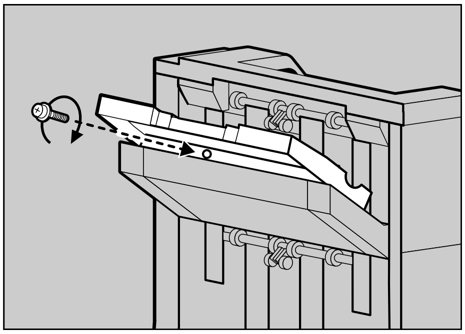
下側に取り付けるときは、この手順は必要ありません。

❷ 2000枚フィニッシャー用排紙トレイを寝かせたまま、傾斜に沿って滑らせるように奥まで差し込みます。



ZDJP083J

❸ 専用ねじ回しを使って、短いねじで排紙トレイを固定します。



ZDJP084J

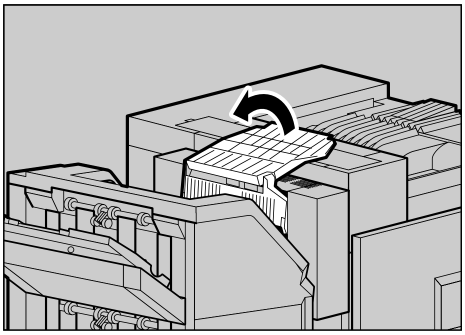
❹ 手順❷〜❸と同じ方法で、下側にもう1枚の2000枚フィニッシャー用排紙トレイを取り付けます。

補足

❒ 使用後の専用ねじ回しは、プリンター本体の前カバーに保管しておいてください。

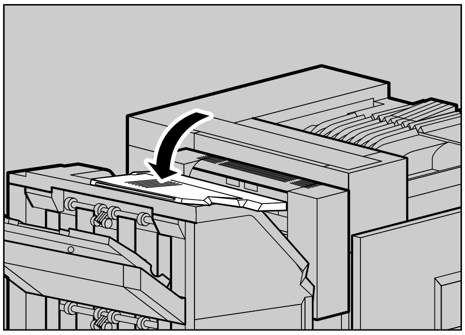
22 両面ユニットに取り付けられているプリンター本体の排紙トレイを元に戻します。

❶ 先端部分を起こします。



ZHXH360J

❷ ゆっくりと倒します。



ZHXH370J

補足

❒ フィニッシャーが正しく取り付けられたかどうかは、本書に記載されているトナーや用紙セットなどの設置が終了した後、電源を入れて、システム設定リストを印刷して確認します。システム設定リストの「システム構成情報」の項目で確認することができます。フィニッシャーが正しく取り付けられているときは、「オプション機器」の欄に「2000枚フィニッシャー」と記載されます。

❒ 正しく取り付けられていない場合は、取り付け手順の**1**からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。

参照

システム設定リストを印刷する方法については、P.24「テスト印刷する」を参照してください。

4ビンプリントポストを取り付ける

操作の前に

4 ビンプリントポストを取り付けるときは、先に給紙テーブルを取り付けてください。

⚠注意

- 4 ビンプリントポストは約7kgあります。
- 4 ビンプリントポストを移動するときは、両側面の中央部分を持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理して持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。

⚠注意

- 4 ビンプリントポストを取り付けるときは、必ず両側面を持ってください。底部を持つと手をはさむおそれがあり、けがの原因になります。

重要

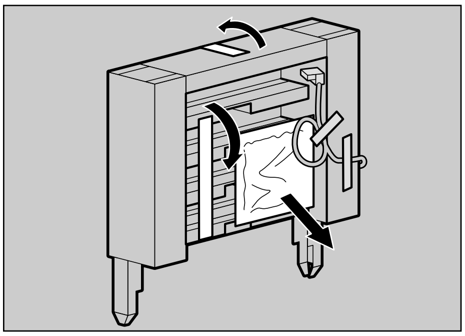
❒ 4ビンプリントポストと2000枚フィニッシャーを同時に取り付けることはできません。

1 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

2 固定用テープを取り外します。

補足

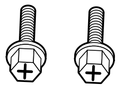
❒ ケーブルを固定しているテープは、手順14で取り外します。



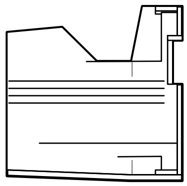
ZDJP087J

3 同梱品を確認します。

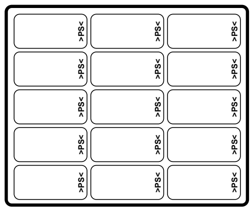
❖ **ねじ（2本）**



❖ **排紙ビン（4枚）**



❖ **シール**



4 プリンター本体の前カバーをゆっくりと開け、緑色の専用ねじ回しを取り出し、前カバーを閉めます。

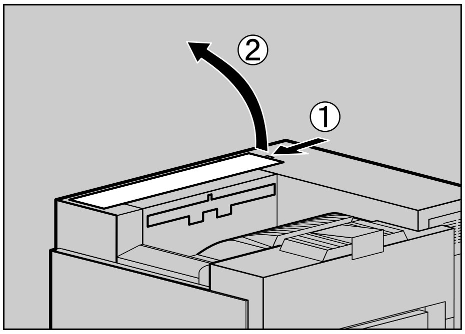
参照

詳しくは、P.37「専用ねじ回しの使い方」を参照してください。

5 プリンター本体の上部にあるカバーを外します。レバーを引き（①）、そのまま持ち上げ（②）、取り外します。

4

4ビンプリントポストを取り付けるための差込口があります。

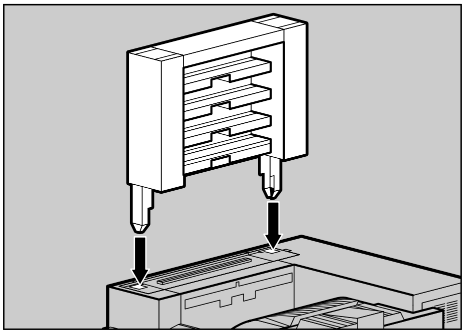


ZDJP089J

補足

- ❒ 取り外したカバーは使用しません。

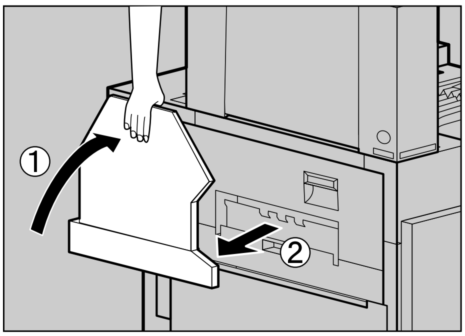
6 4ビンプリントポストの両側面を両手で持ち、プリンター本体の左側に立ちます。差し込み口に合うようにゆっくりと降ろし、カチッと音がするまで差し込みます。



ZDJP090J

両面ユニットを取り付けているときは、手順8に進みます。

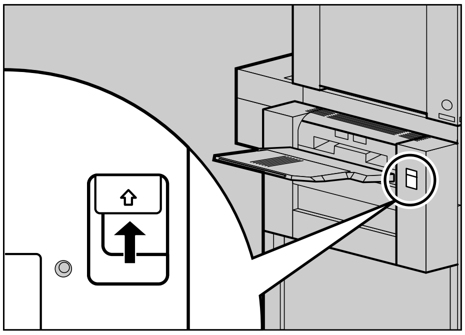
7 排紙トレイを矢印の方向に引き上げて（①）、取り外します（②）。



ZDJP777J

8 両面印刷ユニットを取り付けているときは、両面反転ユニットを開きます。

❶ ロック解除ボタンを押し上げ、そのまま押さえます。



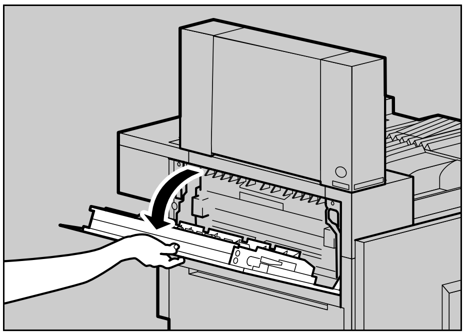
ZHXH380J

❷ 両面反転ユニットを、止まるまでゆっくりと倒します。



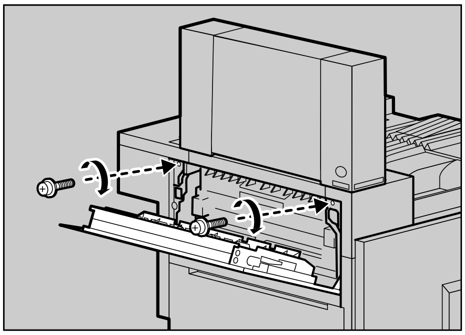
ZDJP093J

9 プリンター本体の左上カバー上部の取っ手を持ち、ゆっくりと開けます。



ZHXH390J

10 専用ねじ回しを使って、同梱されている2本のねじで 4 ビンプリントポストを固定します。



ZHXH400J

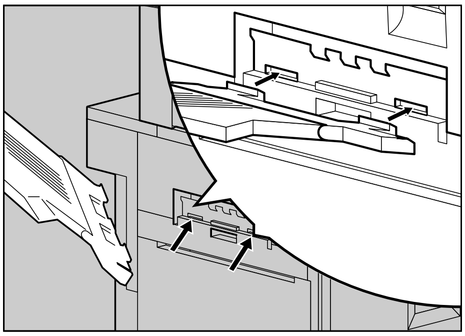
補足

- ❒ 使用後の専用ねじ回しは、プリンター本体の前カバーに保管しておいてください。

11 プリンター本体の左上カバーを閉めます。

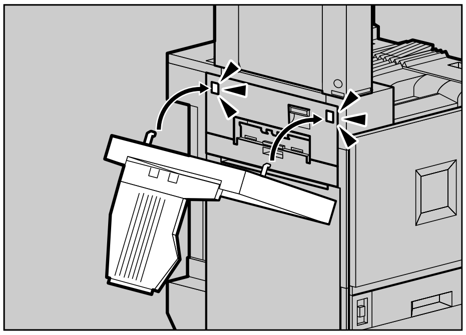
両面印刷ユニットを取り付けているときは、手順13に進みます。

12 排紙トレイをプリンター本体に取り付けます。排紙トレイのフックを本体のスリットに差し込み、ゆっくり倒します。



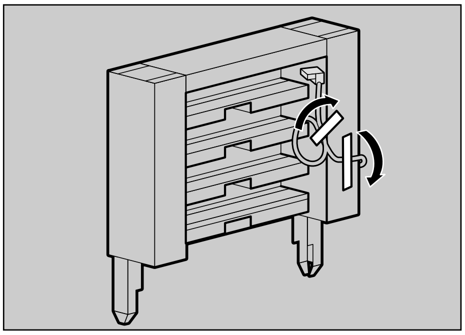
ZDJP096J

13 両面印刷ユニットを取り付けているときは、両辺反転ユニットを元の位置に戻します。カチッと音がするまで、ゆっくりと起こします。



ZDJP098J

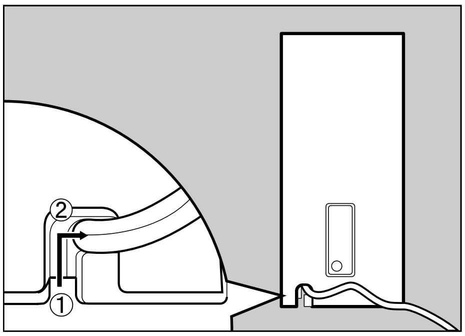
14 4ビンプリントポストのケーブルの固定テープを取り外します。



ZDJP994J

15 4ビンプリントポストのケーブルが図の位置にセットされていることを確認します。

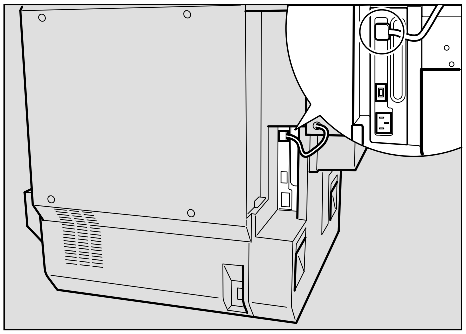
セットされていない場合は、①、②の手順でセットしてください。



ZDJP091J

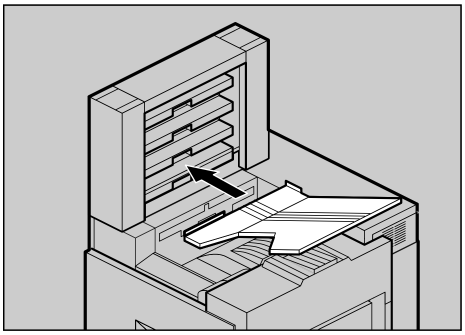
4

16 4ビンプリントポストのケーブルを、プリンター本体背面の下段のコネクターに接続します。



ZHXH260J

17 一番下の段に排紙ビンを差し入れます。



ZDJP099J

18 下から順番に、残り3つの排紙ビンを取り付けます。

補足

- ❒ 排紙先が個人や部署などで決まっている場合は、同梱されているシールに名称を記入して、4 ビンプリントポストの側面に貼り付けてご利用ください。
- ❒ 4 ビンプリントポストが正しく取り付けられたかどうかは、本書に記載されているトナーや用紙セットなどの設置が終了した後、電源を入れてシステム設定リストを印刷して確認します。システム設定リストの「システム構成情報」の項目で確認することができます。4 ビンプリントポストが正しく取り付けられているときは、「オプション機器」の欄に「4 ビンプリントポスト」と記載されます。
- ❒ 正しく取り付けられていない場合は、取り付け手順の1からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。

参照

システム設定リストを印刷する方法については、P.24「テスト印刷する」を参照してください。

取り外した部品は、販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。なお、お客様で処理される場合は、一般のプラスチック廃棄物と同様に処理してください。

索引

アルファベット索引

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

わ行

商標

- Ethernetは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
- EtherTalk，Macintosh，TrueTypeは、米国Apple Computer,Inc.の各国での登録商標です。
- IBM，DOS/Vは、米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Microsoft，Windows，WindowsNTは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- NECは、日本電気株式会社の登録商標です。
- PC98-NXシリーズ，PC-9800シリーズ，PC-9821シリーズは、日本電気株式会社の製品です。
- PostScriptは、AdobeSystems Incorporated（アドビシステムズ社）の各国での登録商標または商標です。
- Bluetoothは、米国内におけるBluetooth-SIG Inc.の商標または登録商標です。
- その他の製品名、名称は、各社の商標または登録商標です。

* Windows® 95の製品名は、Microsoft® Windows® 95です。
* Windows® 98の製品名は、Microsoft® Windows® 98です。
* Windows® Meの製品名は、Microsoft® Windows® Millennium Edition（Windows Me）です。
* Windows® 2000の製品名は以下のとおりです
　Microsoft® Windows® 2000 Professional
　Microsoft® Windows® 2000 Server
　Microsoft® Windows® 2000 Advanced Server
* Windows XPの製品名は以下のとおりです。
　Microsoft® Windows® XP Home Edition
　Microsoft® Windows® XP Professional
* Windows NT® 4.0の製品名は以下のとおりです。
　Microsoft® Windows NT® Server 4.0
　Microsoft® Windows NT® Workstation 4.0

機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。

おことわり

1. 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
2. 本製品（ハードウェア、ソフトウェア）および使用説明書（本書・付属説明書）を運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。
3. 本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。

株式会社リコー
東京都港区南青山1-15-5 リコービル 〒107-8544
(03) 3479-3111 (代表)

お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についての消耗品のご注文や修理、製品の操作方法に関するお問い合わせはお買い上げの販売店または最寄りのサービス実施店にご相談ください。修理については、修理範囲(サービスの内容)、修理費用の目安、修理期間、手続きなどをご要望に応じて説明いたします。
転居の際は、販売店またはサービス実施店にご相談ください。転居先の最寄りの販売店、サービス実施店をご紹介いたします。

プリンター機能の操作方法に関するお問い合わせは、
「リコープリンターコールセンター、IPSiO(イプシオ)ダイヤル」にご連絡ください。

FreeDial 0120-56-1240(コールはイプシオ)

- 受付時間:9〜12時、13〜17時(土、日、祝祭日、リコーの休業日を除く)

最新プリンタードライバー情報

最新版のプリンタードライバーをインターネットのリコーホームページから入手することができます。

- インターネット/リコーホームページ:http://www.ricoh.co.jp/

リコーは環境保全を経営の優先課題のひとつと考え、リサイクル推進にも注力しております。本製品には、新品と同一の当社品質基準に適合した、リサイクル部品を使用している場合があります。

リコーは環境に配慮し、説明書の印刷に大豆から作られたインキの使用を推進しています。
この説明書はエコマーク商品に認定された再生紙を使用し、リサイクルに配慮し製本しています。この説明書が不要になったときは、資源回収、リサイクルに出しましょう。

Printed in Japan
2002年12月 G080-8502A

IPSiO CX8200/8200M/7200 セットアップガイド